



平成30年度

県中地方の農林水産業と 事業概要



福島県県中農林事務所

【 目 次 】

I	県中地方の地域概要と平成 30 年度県中農林事務所の主要施策	
1	地域概況	1
2	「ふくしま農林水産業新生プラン」における県中地方の振興方向	2
3	平成 30 年度県中農林事務所の重点施策・重点事業一覧	8
II	平成 30 年度県中農林事務所の活動実績	
1	News Topics 2018	9
2	県中地方計画の実現に向けた平成 30 年度取組事例	8 5
3	事業実績（平成 30 年度）	
(1)	企画部	1 2 3
(2)	農業振興普及部・田村農業普及所・須賀川農業普及所	1 2 3
(3)	農村整備部	1 2 4
(4)	森林林業部	1 2 5
4	災害の状況（平成 30 年度）	
(1)	平成 30 年度の農林業災害の状況	1 2 6
5	市町村農林水産概要	
(1)	農林統計一覧	1 2 8
(2)	農業従事者の推移（販売農家）	1 2 9
(3)	新規就農者の確保状況	1 3 0
(4)	認定農業者の年次別認定状況	1 3 0
(5)	家族協定締結・エコファーマー認定件数	1 3 1
(6)	第三者認証 GAP の取得件数	1 3 2
(7)	経営耕地面積規模別農家数	1 3 3
(8)	品目別栽培農家数及び家畜飼養農家数	1 3 4
(9)	農業産出額	1 3 5
(10)	主要農作物の作付面積	1 3 6
(11)	中山間地域等直接支払事業	1 3 7
(12)	環境保全型農業直接支払交付金	1 3 8
(13)	多面的機能支払交付金	1 3 9
(14)	直播栽培の年次別実施状況	1 4 0
(15)	耕作放棄地面積の状況	1 4 1
(16)	ほ場整備の年次別実施状況	1 4 2
(17)	農業集落排水処理施設普及状況	1 4 3

(18) 森林環境基金・交付金事業の取組状況	144
(19) ふくしま森林再生事業取組状況	145
(20) 民有林林道の現況	146
(21) 水産業の概要	147

Ⅲ 県中農林事務所の組織体制と管内関係機関

1 県中農林事務所の組織体制及び業務内容	148
2 管内関係機関・団体の一覧	
(1) 企画部	150
(2) 農業振興普及部	151
(3) 農村整備部	152
(4) 森林林業部	153
(5) 田村農業普及所	153
(6) 須賀川農業普及所	153
(7) 市町村	154
(8) 国機関	155

I 県中地方の地域概要と平成30年度県中農林事務所の主要施策

1 地域概況

当地方は県の中央に位置し、郡山市、須賀川市、田村市など3市6町3村、総面積は241千haと県全体の17.5%を占めています。(平成17年3月に田村郡5町村が合併して田村市に、同年4月には岩瀬郡2町村が須賀川市と合併)

総面積のうち耕地面積は38千haで県の26%を占め、森林面積は142千haで県の15%を占めています。

人口(福島県統計課資料「福島県の推計人口」から抜粋)は、平成30年12月1日現在529,522人で、本県人口(1,860,551人)の28.5%を占めています。

地形は、東部の阿武隈高地の山間地、中部の阿武隈川流域に広がる安積平野、西部の火山の多い奥羽・那須山脈に連なる山岳地帯と猪苗代湖周辺からなり、地形的・地質的に変化に富んでいます。

気候も多様性に富み、東部では太平洋型気候にかかる区域を含み、中部平坦地は内陸性気候、さらに西部は日本海型気候の特徴をそれぞれ示しています。

交通面では、東北新幹線、東北自動車道、あぶくま高原自動車道、福島空港など高速交通体系の要衝となっており、商工業が盛んで産業の集積も進んでいます。

農業生産面では、水稻・野菜を主体とする郡山地域、畜産・工芸作物・野菜を主体とする田村地域、水稻・野菜・畜産を主体とする須賀川・岩瀬・石川地域の3つの地域に大別され、それぞれの地域の気象や地形にマッチした作物が栽培されており、米、きゅうり、果樹など全国に誇れる産地が数多くあります。

また、流通・販売面では、これらの青果物等の流通拠点として郡山市総合地方卸売市場が設置されています。

林業では、阿武隈高地を中心に、優良な木材を生産する意欲が高い地域であり、管内には木材市場、木材加工工場、製材工場が多数立地するほか、しいたけ生産者の所得向上を目指したJA全農福島菌床しいたけイノベーションセンターが平成30年10月に郡山市に設置されています。



市町村別地域概要

市町村名	総面積 H28 (km ²)	総人口 H30.5.1 (人)	耕地面積 (H29)			森林面積 (H28) (km ²)	販売農家 H27 (戸)	農業産出額 (H18) (1000万円)
			田 (km ²)	畑 (km ²)	計 (km ²)			
郡山市	757.20	332,807	100.00	24.20	124.00	399.42	4,372	1,624
須賀川市	279.43	76,101	58.80	13.60	72.40	119.21	2,813	1,229
田村市	458.30	36,654	29.40	28.50	57.80	303.03	2,436	907
鏡石町	31.30	12,311	10.80	2.77	13.50	3.44	374	247
天栄村	225.52	5,336	10.30	1.83	12.20	192.21	506	149
石川町	115.71	14,944	13.10	8.48	21.60	58.97	892	284
玉川村	46.67	6,554	5.93	3.38	9.31	21.49	551	255
平田村	93.42	6,069	8.55	6.51	15.10	58.37	626	455
浅川町	37.43	6,222	7.21	1.87	9.08	15.75	402	180
古殿町	163.29	4,916	5.16	9.48	8.64	135.09	452	115
三春町	72.76	17,710	6.47	5.52	12.00	23.40	675	157
小野町	125.18	9,898	8.70	6.11	14.80	86.27	667	207
県中計	2,406.25	529,522	264.42	112.25	370.43	1,416.67	14,766	5,809
県全体	13,783.90	1,860,551	997.00	420.00	1,417.00	9,742.23	52,270	20,770
県中シェア(%)	17.5	28.5	26.5	26.7	26.1	14.5	28.2	28.0

※ 総面積：第132回福島県統計年鑑 総人口：「福島県の推計人口(H30.12.1)」 森林面積：H29福島県森林林業統計書

※ 販売農家数：2015年世界農林業センサス 耕地面積・農業産出額：農林水産省作物統計調査(H29)による推定値

2 「ふくしま農林水産業新生プラン」における県中地方の振興方向

第6章 地方の振興方向

第2節 県中地方

～食の絆で地域と共に発展する県中地方の農林業～

1 地方の特色

県中地方は、県の中央に位置し、阿武隈川流域には日本三大疏水の一つである安積疏水で潤う安積平野が広がっています。東部は阿武隈高地、西部は猪苗代湖や奥羽山脈に至る山間地となっています。

東北自動車道と磐越自動車道が交わり、さらに平成23年3月にはあぶくま高原道路が全線開通するなど、高速交通網の要衝となっております。また、福島空港により国内外とも直接結ばれています。総人口及び製造品出荷額、年間商品販売額がいずれも県内トップにあり、本県経済の中心的な役割を果たしています。県中地方の農業産出額は627億円（平成18年）で、そのうち米が39%を占め、畜産28%、野菜21%と続きます。郡山地域、田村地域、須賀川地域の3つに大別され、米を中心に畜産、野菜、葉たばこを組み合わせる特色ある農業が、それぞれ展開されています。

2 現状と課題

(1) 東日本大震災からの復興と放射性物質による影響の低減

- 地震によって、農地や林地、藤沼ダムをはじめとする農業用施設等に甚大な被害が発生しており、早期に復旧を図るとともに防災対策を進めていく必要があります。
- 原発事故による放射性物質に広く汚染された農用地、農業水利施設、森林等の早急な除染、農林産物への影響の低減対策及び汚染されたたい肥や資材等の適正な処理が必要となっています。
- 原発事故発生後、農林産物のモニタリング検査体制を構築し、放射性物質の基準値を超える品目については、出荷制限等の措置を講じていますが、健康に対する不安から県産の食品購入を控える消費者もおり、信頼を回復する取組が必要となっています。
- 放射性物質による健康への影響に対する不安や風評被害から県産農林産物の買い控えや取引価格の低迷など、生産・販売面で影響が出ており、安全性のPRや販売促進に向けた取組が必要となっています。

(2) 担い手育成と農林業の活性化

- 農林業従事者の高齢化が急速に進んでいることから、新規就業者を確保し、認定農業者等を中心とした担い手を育成するとともに、収益性の高い経営実現を図る必要があります。
- 原発事故による生産意欲の低下や生産・販売面で大きな影響が見られていることから、被災農家を支援していく必要があります。
- 主力品目であるきゅうり等園芸作物について、労働力不足を補う体制づくりを進める必要があります。
- 農産物直売所等様々な場で女性や高齢者が活躍しており、その能力を発揮し、多彩な

取組をいきいきと実践していけるよう支援していく必要があります。

- 米に依存した生産構造からの転換を進め、水田のフル活用や収益性の高い作目の導入等を進めていく必要があります。
- きゅうりやピーマン等、全国有数の産地として確固たる地位を占めている主力品目にあっては、産地体制の一層の強化を図る必要があります。
- ぶどう、アスパラガス、りんどうなどは、栽培面積が拡大し、新たな産地として評価が高まってきていることから、競争力強化に向けて生産体制の整備を図る必要があります。
- 阿武隈高地の中山間地域を中心に酪農及び肉用牛の生産が行われていますが、原発事故により生産・販売面で大きな影響を受けており、経営安定に向けた取組が求められています。
- 田村地域を中心に県内随一の葉たばこ産地が形成されていますが、従事者の高齢化等に加え、廃作や放射性物質による農地の汚染により、作付面積が減少しており、葉たばこ廃作地の有効活用が課題となっています。
- 原発事故に伴う警戒区域等の設定や摂取制限等の対象となったため、イノシシ等野生鳥獣の駆除圧が低下し、生息域が拡大しており、農作物の被害防止対策を進める必要があります。
- 阿武隈高地や奥羽山脈には豊富な人工林があり、今後、その多くが主伐¹期を迎えることから、適正な資源管理と利用拡大が課題となっています。
- シイタケ原木の一大産地であった阿武隈高地の広葉樹林の再生を進めるとともに、きのこ生産の再生のため、安全な原木やおが粉の確保を図ることが必要です。
- 全国有数の産地である食用ゴイの安定生産に向けた取組を進めていく必要があります。

(3) 地域との連携

- 多くの消費人口を抱える当地方の特色を生かし、地域内流通を拡大していく必要があります。
- 消費者が期待する安全・安心かつ新鮮でおいしい農産物を提供していくため、食の安全確保に向けた取組などを推進していく必要があります。
- 森林を質の高い緑の資源として次世代に引き継ぐため、森林を県民全体で支える意識の醸成が必要です。
- 地域の食品加工等を営む商工業者等との連携を強化し、新たな商品やサービスの提供など農林業を核とした地域経済の拡大と好循環を構築していく必要があります。

(4) 農山村の整備

- 農地や森林などを地域の宝として次世代に引き継いでいけるよう、農地防災や治山、森林整備を着実に進めていく必要があります。
- 耕作放棄により農地の利用率が低下していますが、食料生産の基礎であり、洪水調節や自然景観保全等の多面的機能²を有する農地を適切に維持管理していく必要があります。また、農地や農業用水を効率的に利用できる基盤の整備を進め、農業の生産性

¹ 主伐：p. 107 脚注参照

² 多面的機能：p. 22 脚注参照

第6章 地方の振興方向

を高める必要があります。

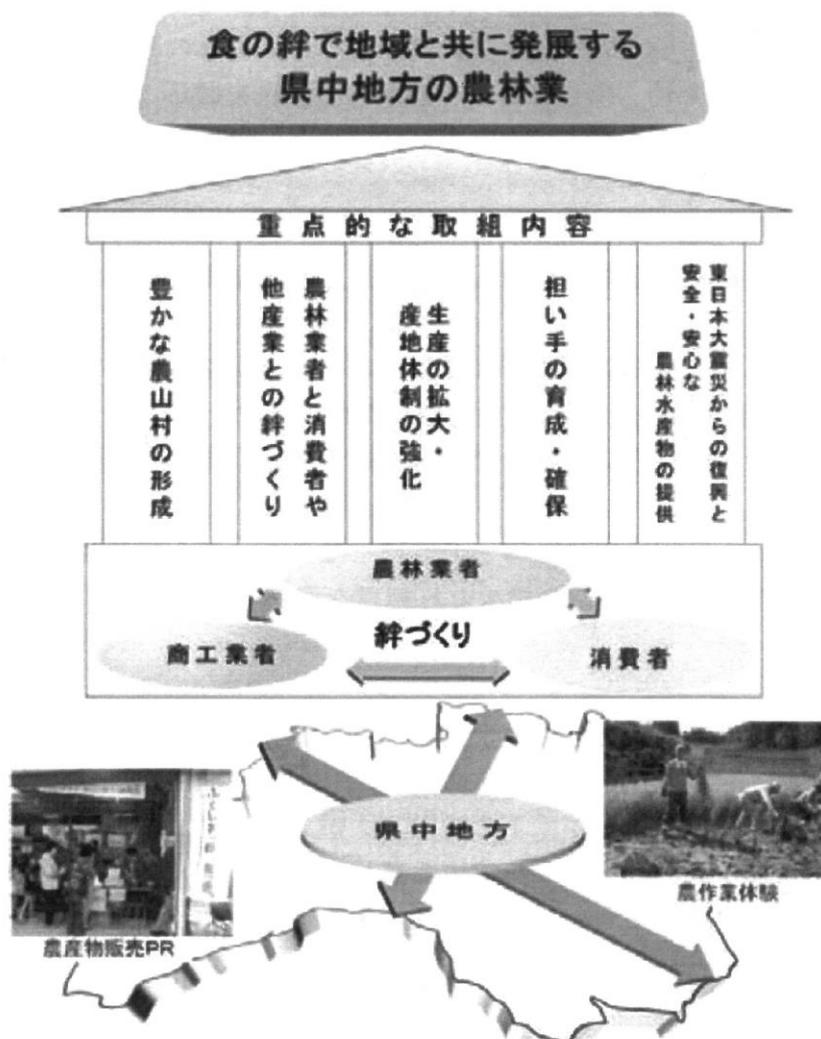
- 農山村に住む人々が地域に誇りを持って安全・安心に暮らしていけるよう、農林道等の生活環境基盤の整備を進めるとともに、景観等の地域資源を保全する組織活動を支援していく必要があります。
- 農山村地域の活力向上のため、地域資源の活用を図るとともに、都市住民等との交流を促進していく必要があります。

3 振興方向

県中地方は、県内全ての生活圏に接する地理的条件や高速交通体系、県内有数の人口集積、工業及び商業部門での高いポテンシャルなど様々な恵まれた条件を有しています。

県中地方の農林業・農山村の振興においては、これらの恵まれた条件を十分に生かしながら、地震による甚大な被害と原発事故からの復興と再生を図るとともに、地域に暮らす人々との強い絆を結び、地域農業の底力を発揮し、期待する所得が実現できる収益性の高い農林業の育成、生きがいや誇りを感じながら安全・安心に暮らせる農山村の形成を基本に総合的な施策を展開します。

このため、「食の絆で地域と共に発展する県中地方の農林業」を振興方向として、関係者が一丸となって取り組んでいきます。



4 重点的な取組内容

(1) 東日本大震災からの復興と安全・安心な農林水産物の提供

- 地震によって被災した農地・林地及び農業用施設等の早期復旧を図るとともに、既存の農業用施設の耐震性向上や損壊の危険度の高い施設の整備・補強とソフト面による防災対策を進めます。
- 農林地の放射性物質の効果的・効率的な除染や影響の低減化を進めるとともに、水田等農用地への放射性物質拡散防止のため、農業用ダム・ため池や農業用排水路の除染に努めます。また、暫定許容値を超えた自給飼料¹やたい肥等の汚染廃棄物の適正な処理を進めます。
- 緊急時モニタリング体制を充実・強化するとともに、生産者や出荷・販売事業者等が取り組む自主検査との連携を図るなど、放射性物質の検査体制の強化を進めます。
- 産地における放射性物質対策をはじめとした安全・安心を確保するための取組やモニタリング結果の迅速な情報発信により、県産農林水産物への信頼回復を図るとともに、風評の払拭に向けた販売促進活動を支援します。
- 緊急時モニタリング検査の徹底はもとより、農薬の適正使用、GAP手法の導入など食の安全確保に向けた取組を支援します。

(2) 担い手の育成・確保

- 原発事故により大きな影響を受けている農林業者の経営改善に向けた取組を支援します。また、被災農業者の避難先等における経営再開を支援します。
- 就業相談体制や技術支援活動の強化など意欲ある若者が農林業に就業しやすい環境づくりを進め、新規就業者を確保します。
- 認定農業者を育成・確保するとともに、地域の合意の下に、集落営農組織や法人経営体の育成、企業等の農業参入を支援します。
- 労力調整システムの運営を支援するなど労働力の安定確保に努めます。
- 直売所や農産加工、家族経営協定²の締結など、女性や高齢者がやりがいをもって農林業に取り組めるよう支援します。
- 林業の担い手である林業経営体や林業事業体の育成強化を図ります。

(3) 生産の拡大・産地体制の強化

- 農業の生産性を高めるとともに、担い手への農地集積や農地利用の汎用化を可能とするため、ほ場や用水路等農業生産基盤の整備を計画的に進めます。
- 水稻に依存した経営からの転換による収益性の高い農業を実現するため、水田のフル活用、園芸や畜産等の生産拡大、栽培技術の高位平準化、機械化や施設化、環境と共生する農業などを推進します。
- きゅうり、ピーマン等主力品目の産地体制の一層の強化と、新たな園芸品目であるぶどう、アスパラガス、りんどうなどの産地形成を図るため、新規作付者の確保、省エネ化・低コスト化を図る機械施設の導入など新たな生産体系の構築を支援します。

¹ 暫定許容値・自給飼料：p. 41 脚注参照

² 家族経営協定：p. 60 脚注参照

第6章 地方の振興方向

- 畜産経営の安定を図るため、飼養管理技術の改善や飼料の安定的な確保を支援します。
- 葉たばこ廃作地への園芸品目等の導入を進め、新たな産地形成を支援するとともに、耕作放棄地の発生未然防止と解消に努めます。
- 拡大しているイノシシ等の鳥獣被害を防止するため、市町村等と連携して、自衛意識の啓発、技術の普及、地域ぐるみの総合的な被害軽減対策を推進します。
- 間伐等の森林整備と一体となった放射性物質の低減を図り、路網の整備や機械化の導入により林業生産の低コスト化を進め、持続可能な森林の再生につなげます。
- 地元産の木材の利用拡大を図るため、間伐材等の合板、再生可能エネルギー源としてのバイオマス¹利用や乾燥材・集成材など構造用木材の高付加価値化を促進します。また、きのこ産地の再生に向けた取組を支援し、生産の維持・拡大を図ります。
- コイヘルペスウイルス²病など魚病対策を充実し、食用ゴイの安定生産を図ります。

(4) 農林業者と消費者や他産業との絆づくり

- 農林産物が地元消費者から信頼され、地産地消の取組が拡大するよう、あらゆる機会を通じて地域の農林業等についての理解促進を図り、農林業者等と消費者との絆を深めていきます。
- 観光業者等との連携により、県外消費者等へ県産農林産物とその安全性をPRします。
- 地域産業6次化³による商品開発と販売を促進するため、県中地方・地域産業6次化ネットワークを拡大するとともに、会員等の取組を支援していきます。
- 学校教育や市町村を通じた生涯学習等との連携により、農林業に対する理解を促進するとともに、食育や森林環境教育を推進します。
- 森林をすべての県民で守り育てる意識を醸成するため、森林・林業の必要性、重要性について理解を深める普及啓発活動を行います。

(5) 豊かな農山村の形成

- 農山村で生活する人々の居住環境の向上と安全・安心を確保するため、集落排水処理施設や防災安全施設等の整備を推進します。
- 農林産物等の流通改善と生活環境の改善を図るため、農林道の整備を進めます。
- 農業水利施設等の有効活用と長寿命化を図るため、ストックマネジメントによる計画的な補修を進めます。
- 森林の有する多面的機能を十分に発揮させるため、林内路網⁴を整備し、長伐期化や広葉樹林化など、多様な森林整備を進めます。また、特に公益的機能が重要な森林を計画的に保安林⁵に指定するとともに、生態系、自然環境、景観等に配慮しながら治山事業を実施します。
- 農家民宿や農作業体験、地域文化とのふれあいなどグリーン・ツーリズムの推進や都市農村交流活動を促進し、地域の活性化を図ります。

¹ バイオマス：p. 8 脚注参照

² コイヘルペスウイルス：p. 134 脚注参照

³ 地域産業6次化：p. 10 本文参照

⁴ 林内路網：p. 108 脚注参照

⁵ 保安林：p. 30 脚注参照

5 施策の達成度を測る指標

指標	現況値	目標値
浸水想定区域図が策定された 農業用ダム・ため池数	H23年度 - か所	H32年度 77 か所以上
緊急時環境放射線モニタリングにおける 不検出の割合	H23年度 80 %	H32年度 不検出を目指す
認定農業者数 【参考】 H22年度 1,177経営体	H23年度 1,129 経営体	H32年度 1,700 経営体以上
ほ場整備率(水田) 【参考】 H22年度 63.0%	H23年度 63.0 %	H32年度 63.9 %以上
主要園芸品目販売額(野菜指定産地品目) 【参考】 H22年度 53億円	H23年度 46 億円	H32年度 55 億円以上
森林整備面積 【参考】 H22年度 3,346ha	H23年度 2,386 ha	H32年度 4,370 ha以上
農産物直売所販売額 【参考】 H22年度 30億円	H23年度 25 億円	H32年度 増加を目指す
県中地方・地域産業6次化ネットワーク会員数 【参考】 H22年度 130人	H23年度 186 人	H32年度 400 人以上
農業集落排水処理人口 【参考】 H22年度 41,807人	H23年度 41,179 人	H32年度 47,000 人以上
森林づくり意識醸成活動の参加者数 【参考】 H22年度 23,054人	H23年度 14,092 人	H32年度 24,000 人以上

3 平成30年度県中農林事務所の重点施策・事業一覧

食の絆で地域と共に発展する県中地方の農林業	1 東日本大震災からの復興と安全・安心な農林水産物の提供		
		事業名	担当部
	(1) 生産基盤の早期復旧と耐震性の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・農業用施設災害復旧事業（藤沼湖含む） ・震災対策農業水利施設整備事業 ・ため池等整備事業 	<ul style="list-style-type: none"> （農村整備部） （農村整備部） （農村整備部）
	(2) 放射性物質による影響の除去	<ul style="list-style-type: none"> ・ため池等放射性物質対策事業 ・農業系汚染廃棄物処理事業 ・福島県営農再開支援事業 	<ul style="list-style-type: none"> （農村整備部） （農業振興普及部） （農業振興普及部）
	(3) 食の安全確保	<ul style="list-style-type: none"> ・農林水産物等緊急時モニタリング事業 ・農林水産物等緊急時モニタリング事業 ・ふくしまの恵み安全・安心推進事業 ・第三者認証GAP取得等促進事業 	<ul style="list-style-type: none"> （農業振興普及部） （森林林業部） （農業振興普及部） （農業振興普及部）
	(4) 農林水産物の信頼性確保	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなのチカラで農林水産絆づくり事業（「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーン） ・「ふくしまプライド。」販売力強化支援事業 	<ul style="list-style-type: none"> （企画部） （企画部）
	2 担い手の育成・確保		
	(1) 被災農林業者等への支援	<ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災農業生産対策推進事業 ・原子力被災12市町村農業者支援事業 	<ul style="list-style-type: none"> （農業振興普及部） （農業振興普及部）
	(2) 多様な担い手づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・人・農地問題解決加速化支援事業 ・農業経営体育成支援事業 ・農地集積・集約化対策事業 ・「絆」で拓く！ふくしま未来農業創出事業 ・農業次世代人材投資事業 	<ul style="list-style-type: none"> （農業振興普及部） （農業振興普及部） （農業振興普及部） （農業振興普及部） （農業振興普及部）
	3 生産の拡大・産地体制の強化		
	(1) 生産基盤の計画的な整備	<ul style="list-style-type: none"> ・水利施設整備事業 ・農地整備事業 	<ul style="list-style-type: none"> （農村整備部） （農村整備部）
	(2) 農畜産物の生産振興	<ul style="list-style-type: none"> ・実り豊かなふくしまの産地整備事業 ・畜産酪農収益力強化整備等特別対策事業 ・ふくしまアグリイノベーション実証事業 ・強い農業づくり交付金（産地パワーアップ事業） ・環境保全型農業直接支払交付金事業（環境保全型） 	<ul style="list-style-type: none"> （農業振興普及部） （農業振興普及部） （農業振興普及部） （農業振興普及部） （農業振興普及部）
		<ul style="list-style-type: none"> ・鳥獣被害防止総合対策交付金事業 ・福島県営農再開支援事業（鳥獣被害防止緊急対策） 	<ul style="list-style-type: none"> （農業振興普及部） （農業振興普及部）
	(4) 林業生産基盤の整備と林産物の生産振興	<ul style="list-style-type: none"> ・ふくしま森林再生事業 ・市町村森林所有者情報活用推進事業 ・林業専用道整備事業 ・間伐材搬出支援事業 ・森林資源造成支援事業 	<ul style="list-style-type: none"> （森林林業部） （森林林業部） （森林林業部） （森林林業部） （森林林業部）
	4 農林業者と消費者や他産業との絆づくり		
	(1) 食と農林業に対する理解促進	<ul style="list-style-type: none"> ・学校給食地産地消推進事業 ・みんなのチカラで農林水産絆づくり事業（「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーン） ・「ふくしまプライド。」販売力強化支援事業 ・食育実践サポーター派遣事業 ・森林環境交付金事業（基本枠） 	<ul style="list-style-type: none"> （企画部） （企画部） （企画部） （企画部） （森林林業部）
	(2) 地域産業6次化の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・地域産業6次化戦略実践事業 	<ul style="list-style-type: none"> （企画部）
	5 豊かな農山村の形成		
	(1) 快適で安全な農山村づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・中山間地域等直接支払事業 ・「絆」で拓く！ふくしま未来農業創出事業 ・復興再生基盤整備事業（農地整備事業（通作条件型）） ・多面的機能支払事業 	<ul style="list-style-type: none"> （農業振興普及部） （農業振興普及部） （農村整備部） （農村整備部）
	(2) 森林の有する多面的機能の発揮	<ul style="list-style-type: none"> ・一般造林補助事業 ・森林環境基金森林整備事業 ・森林環境交付金事業（重点枠） ・森林病虫害等防除事業 ・復旧治山事業 ・予防治山事業 ・保安林改良事業 ・保育事業 ・治山施設（県営）事業 	<ul style="list-style-type: none"> （森林林業部） （森林林業部） （森林林業部） （森林林業部） （森林林業部） （森林林業部） （森林林業部） （森林林業部） （森林林業部）
(3) 都市と農山村の交流促進	<ul style="list-style-type: none"> ・過疎・中山間地域振興事業 	<ul style="list-style-type: none"> （企画部） 	

II 平成30年度県中農林事務所の活動実績

1 News Topics 2018

〔「県中農林ニュース（第7号～第11号）」準用
※平成30年度発行のため、掲載の事業やキャンペーンは終了している可能性があります。〕

ふくしまから はじめよう。「食」と「ふるさと」新生運動ニュース



Future From Fukushima
ふくしまから
はじめよう。

県中農林ニュース

第7号（平成30年6月発行）
編集・発行 福島県県中農林事務所

●トピックス

- ・GAP取得を支援しています。
- ・石川地域における若手農業者のための野菜栽培技術勉強会を開催しました。
- ・木の温もりあふれる「こども園」が完成しました。
- ・加工用さつまいもの高性能機械化体系実証ほの設置をしました。

●お知らせ

- ・第69回全国植樹祭のPRを郡山会場で開催します。
- ・「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーンを開催します。

トピックス

GAP取得を支援しています。

【田村農業普及所】

平成29年度から、第三者認証GAPの取得支援を行っています。関係機関・団体と連携し、GAP取得に意欲のある農業者へのコンサル支援、帳票類作成支援、補助事業活用支援等に力を入れて取り組んだ結果、平成30年3月に、2法人（OFs-Link、M&A ふぁーむわたなべ）、1個人（渡辺広氏）、1団体（JA福島さくらたむら地区トマト専門部会GAP班17名）がJGAPを取得しました。GAPに取り組んだ生産者からは、『GAPに取り組んだことにより、農業経営を見直す良いきっかけになった。』との意見がありました。今後も、関係機関・団体と連携し、継続取得者や新規取得者の支援を行っていきます。



トマトの箱詰作業を行う調整場での取組の様子
(蛍光灯被覆の状況 左：取組前、右：取組後)

石川地域における若手農業者のための野菜栽培技術勉強会を実施しています。

【須賀川農業普及所】

石川地域の園芸作物の若手農業者等の中には、技術が未熟な方がいることや、夏秋作型が中心であり、天候によっては収穫量や品質が安定しないなど、経営が不安定な現況にあります。

また、ベテラン生産者の技術を身につけるには、長年の経験や勘によるものが大きいこと、天候等による経営へのリスク対策として夏秋野菜以外の作型の導入も検討する必要がありました。

そこで、3月16日及び4月23日に「石川地域における若手農業者のための野菜栽培技術勉強会」を開催しました。この勉強会では、長年の経験や勘を補うために、環境のデータや植物の生理・生態等の理論に基づく管理の知識や春作型のブロッコリーやさやえんどう、いんげんの作物の紹介、栽培技術について説明を行いました。参加者からは栽培する際に活かしてみたいとの感想がありました。

今後も継続して実施し、若手農業者等のレベルアップを図っていきます。



勉強会の様子（JA 夢みなみ玉川支店会議室）

木の温もりあふれる「こども園」が完成しました。

【森林林業部】

平成30年4月1日、青空の下、浅川町立「あさかわこども園」の落成式が行われました。

「あさかわこども園」は、延べ床面積2,400㎡の木の温もりあふれる大規模木造施設で、県が、森林整備加速化・林業再生基金事業により施設整備を支援し、完成した施設です。

このこども園は、0歳児から就学前までの子供たちを対象に、年齢に応じた援助や園児どうしのかかわりの中で基本的な生活習慣の自立を目指し、心豊かな人間形成の基礎を培っていく施設で、最大収容可能人数は232人となっています。

施設の完成により、木の良さに対する子供たちをはじめ地域住民の理解が深まり、地域における県産材の利用が一層推進されることが期待されます。



あさかわこども園の外観



県産材の温もりあふれる園の内部

加工用さつまいもの高性能機械化体系実証ほの設置をしました。

【農業振興普及部】

JA 福島さくら郡山地区本部では、郡山市における遊休農地解消を図るため、2年前から西田町において加工用さつまいもの生産に取り組んでいます。さつまいもは生食用のほか、干し芋に加工されており、JA 福島さくら直売所の人気商品となっています。

しかし、稲刈りとサツマイモ収穫との作業競合からイモの収穫が遅れ、収量や品質の低下が問題となっていました。

そこで、作業の効率化目指して、「次世代を担う地域農業先端モデル実証事業」により加工用さつまいもの高性能機能化体系実証ほを設置することとし、平成30

年5月22日に、かんしょ移植機の現地検討会を開催しました。植付作業は、移植機にサツマイモの苗をセットするだけで、効率よく作業が進みました。また、秋には高性能収穫機の作動実証を行う計画です。

高性能機械により作業の効率化が図られ、サツマイモの生産が拡大されることを期待しています。



現地検討会（郡山市西田町）



かんしょ移植機による植付けの様子

お知らせ

第69回全国植樹祭のPRを郡山駅前で開催します！

【企画部・森林林業部】

平成30年6月10日（日）に、郡山市のJR郡山駅西口駅前広場において、PRイベントを開催します。

郡山会場では、全国植樹祭の開催意義や豊かな森林づくりへの取組を広く伝えるために、南相馬市で開催される全国植樹祭の様子を大型のビジョンカーにより同時中継します。また、併せて多彩なステージイベントや県産農林水産物・加工品等の販売、キッチンカーによるハンバーガーや各種ジェラート、プリンの販売、野菜スープ（500食）やオレンジ風味のイモヨウカン（120食）の無料配布、市町村等の観光PRなども開催します。皆様のご来場をお待ちしております。



郡山PR会場の概要について

- 1 開催趣旨**
 ○ J R 等を利用する一般県民等に対し、第 69 回全国植樹祭の開催状況を P R。
 ○ 県中地方の市町村の魅力を情報発信 (県中地方の農林水産物や 6 次化商品等を P R・販売)

- 2 開催日時**
 平成30年6月10日 (日) 11:00~16:00【第69回全国植樹祭当日】

- 3 開催場所**
 J R 郡山駅 西口駅前広場
 (福島県郡山市逢田195)



- 4 主催**
 第69回全国植樹祭福島県実行委員会
 (実施主体: 福島県農中農林事務所)

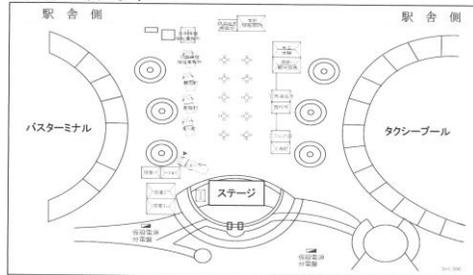
- 5 来場者見込み**
 5 0 0 名程度 ※入場無料

- 6 開催内容**
 ○ 第69回全国植樹祭記念式典の同時中継13:35~ (ビジョンカー)
 ○ 植樹祭の P R (パネル展示等)
 ○ 全国植樹祭記念品木 (ヤマツツジ) の配布200本
 ○ ステージイベント



- 市町村等による農林水産物・加工品販売、PRコーナー
 田村市、三春町、須賀川観光協会・ブランドすかがわ推進協議会、道の駅羽鳥郷高原
 道の駅たまかわけぶしの里、県中地方振興局、県中保健福祉事務所
 ○ キッチンカー (4台)
 浅川町商工会、鏡石町商工会、郡路町商工会、県中保健福祉事務所
 ○ 体験コーナー
 木工工作コーナー

会場レイアウト



出展者一覧表

【農林水産物・加工品販売、作町村・観光PR等】			
No	出展者名	出展内容・販売商品等	備考
1	三春町	○ 三春町の餅 ○ 産物等の販売 ○ 野菜・漬物、加工品、特産品の販売	
2	須賀川観光協会	○ 須賀川産の産物 ○ 須賀川産の産物 ○ 須賀川産の産物	
3	ブランドすかがわ推進協議会	○ 産物等の販売 ○ 産物等の販売	
4	田村市	○ 田村市の産物 ○ 田村市の産物	
5	道の駅たまかわけぶしの里	○ 道の駅たまかわけぶしの里の産物 ○ 道の駅たまかわけぶしの里の産物	
6	県中地方振興局	○ 県中地方の産物 ○ 県中地方の産物	
7	県中保健福祉事務所	○ 産物等の販売 ○ 産物等の販売	
8	木工体験	○ 木工体験 ○ 木工体験	
9	運営本部	○ 運営本部 ○ 運営本部	

【キッチンカー】			
No	出展者名	出展内容・販売商品等	備考
1	浅川町商工会	○ キッチンカー1台 ○ キッチンカー1台	
2	郡路町商工会	○ キッチンカー1台 ○ キッチンカー1台	
3	鏡石町商工会	○ キッチンカー1台 ○ キッチンカー1台	
4	県中保健福祉事務所	○ キッチンカー1台 ○ キッチンカー1台	

「おいしい ふくしま いただきます！」プレゼントキャンペーンを開催します。

【企画部】

「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーンは、県内の消費者に県産農林水産物のおいしさや安全性を P R し、風評の払拭と農林水産物の消費拡大を推進するため、農林事務所主催で実施しているものです。

今年度も、昨年度に引き続き、県中地方の「がんばろう ふくしま！」応援店に登録されている常設直売所でお買い物をしていただいた方を対象に「県中地方の特産品が当たるプレゼントキャンペーン」を実施いたします。

どなたでも応募できますので、直売所をご利用の際には、ぜひご応募ください。

(1) 応募期間

第1期：平成30年6月1日 (金) ~ 8月31日 (金) 抽選9月上旬

第2期：平成30年9月1日 (土) ~ 11月30日 (金) 抽選12月上旬

(2) 応募方法

①店頭にある応募用チラシに、記載されている直売所のレシート（合計金額 1,000 円で1口、1口から応募可能。）を貼付、または手持ちの便せん等に必要事項を記入のうえ同封し、郵送していただく（当日消印有効）。

②各回20名、計40名を抽選（くじ引き）し3,000円相当の「県中地方特産品詰め合わせ」を差し上げます。

おいしいふくしま いただきます！ キャンペーン

抽選で「県中地方特産品」をプレゼント!!

県中管内の「がんばろう ふくしま！」応援店に登録されている直売所（裏面参照）のレシート（合計金額1,000円で1口、1口から応募可能。）を裏面応募用紙に貼付またはお手持ちの便せん等に「お名前、ご住所、連絡先、口数、質問の答え」を記入のうえ、レシートを同封し、下記まで郵送してください（当日消印有効）。

★応募期間 【第1期】平成30年6月1日～8月31日
【第2期】平成30年9月1日～11月30日

★内容 3,000円相当の「県中地方特産品」を各回20名様にプレゼント!!

※何が当たるかは選んでからの楽しみ♪

応募先・お問合せ

福島県農林事務所 企画部 地域農林企画課
いただきますキャンペーン担当 宛
〒963-8540 福島県郡山市麓山1-1-1
電話 024-935-1510

★応募方法
県中管内の「がんばろう ふくしま！」応援店に登録されている常設の直売所（裏面参照）のレシート（合計金額が1,000円で1口、1口から応募可能）を、応募用紙に貼付またはお手持ちの便せん等に必要事項を記入のうえレシートを同封し、応募先まで封筒で郵送してください。

★その他
レシートは、平成30年6月1日以降のものに限ります。
当選者の発表は、プレゼントの発送をもって代えさせていただきます。
複数口で応募された方は、当選確率が上がります。ただし、プレゼントは、おひとり1セットまでとさせていただきます。
お預かりした個人情報は、商品の発送のみに使用いたします。

ふくしま 新発見。 福島県では農林水産物の放射性物質を測定し、検査結果を随時公開しています。福島県農林水産物モニタリング情報検索サイト。ふくしま新発見。
<http://www.new-fukushima.jp/>

おいしい ふくしま いただきます！ キャンペーン 県中地域特産品プレゼント 応募用紙

県中管内の「がんばろう ふくしま！」応援店に登録されている常設直売所

名称	住所	電話番号
JA農産物直売所 豊稔館	郡山市朝日二丁目3-35	024-991-9080
農産物直売所 ベレッシュ	郡山市東久田町字西十番 6-47	024-973-6388
ポケットファームおおせ	郡山市東瀬崎多田野字下町屋 101	024-957-2712
トマトら	郡山市富久山町南小泉石舟 80-1	024-956-2616
湖南四季の里	郡山市湖南町福良字家の北 9	024-982-3371
JA 福島さくら農産物直売所 旬の庭 久留米店	郡山市久留米2丁目77-1	024-945-7483
JA 福島さくら農産物直売所 旬の庭 大槻店	郡山市大槻町字殿町 84-1	024-986-3512
JA 夢みなみ はたけんぼ	須賀川市卸町 54	0246-73-5261
JA 夢みなみ 東部支店	須賀川市和田字谷地 50	0246-76-7111
JA 福島さくら農産物直売所 ふあせるたむら	田村市船引町船引字湯浅 143 番地	0247-82-4800
旬菜かたそね直売所	田村市船引町船引字馬場 24-1	0247-82-4678
磯石まの駅 かんかてらす	磯石町中央 245	0246-94-8110
道の駅羽鳥湖高原	天栄村大字田島尾字芝草 1-3552	0246-85-2547
天栄村農林水産物直売所 季の里天栄	天栄村大字大重字天栄 50-1	0246-81-1455
ファーム りとるっど	石川町北町 3	0247-26-3634
あぶま安心館 駅前店	石川町当町 109-8	0247-26-6264
玉川村生産物直売所 こぶしの里	玉川村大字法寺字法寺前 140-2	0247-67-3800
菜花園	玉川村大字中宇字上 52	0247-67-4887
道の駅「ひらた」	平田村大字上藤田字藤高後 160	0247-55-3501
直売所 あさマルシェ	浅川町大字浅川字本町西裏 102-1	0247-36-1123
古殿町生産物直売所「おふくらの駅」	古殿町大字平野 25	0247-53-4070
三春の里田舎生活館	三春町大字西方字石塚 487-1	0247-62-8010
さわ市 奇香館	三春町大字大町 32-1 みはる奇香館内	0247-62-6222
さわ市 坂の上店	三春町大字片森 50-20	0247-62-2833
パレットやおや市	三春町山田字クニヤツ 56	0247-62-5065
(株)のげんき	小野町大字飯室字飯室前 16 番地2	0247-72-5511

※レシートに店名が入っていない場合がありますので、行ったお店に○をつけてください。

ごらんにレシートを貼ってください。
レシートの合計金額が1,000円で1口です。1口から応募できます。
※レシート2枚の合計金額が500円の場合、2口です。

◎お手持ちの便せん等に「お名前・ご住所・連絡先・口数・質問の答え」を記入し、レシートと一緒にお送りいただいても、応募可能です。

【お名前】 _____ 【口数】 _____ □

【ご住所、連絡先】 〒 _____ (電話) _____)

【質問】 福島県産の農林水産物を積極的に買っていますか？ (いずれかにお) はい / いいえ

お問い合わせ先

福島県農林事務所 企画部 地域農林企画課
〒963-8540 福島県郡山市麓山一丁目1番1号
TEL (024) 935-1510 FAX (024) 935-1314
ホームページ <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36220a/>
メールアドレス kikaku.af02@pref.fukushima.lg.jp

ふくしまから はじめよう。「食」と「ふるさと」新生運動ニュース

県中農林ニュース



第 8 号 (平成 30 年 8 月発行)
編集・発行 福島県県中農林事務所

(写真:きゅうりの花)

目次

○特集：「販売力強化」

- ・新生運動県中地方推進本部会議開催！
- ・JA 夢みなみがトップセールスを行いました！
- ・猛暑を味方に！JA 福島さくらの「青果物販売トップセールス」
- ・「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーン 第1回県産農林水産物 PR を開催しました！

○農林業関係の動き（トピックス）

- ・第 69 回全国植樹祭郡山 PR 会場！
- ・「JA 福島さくらトマト共同選果機稼働式」が行われました！
- ・「親子体験交流バスツアー in ふるどの」を開催しました！
- ・ほ場整備事業について

○頑張る農業者！

- ・新規就農者（田村市）

○産地の動き

- ・米の最高級ブランド ASAKAMA1887 の 7 つの基準をクリアするために

- ・今年も売ります！JA 福島さくら たむら地区本部「夏秋野菜出発式」
- ・初開催のマルシェ大好評！
- ・機械化体系の実証による葉菜類の大規模経営体育成を目指しています！
- ・須賀川地域における大規模水稻経営を育成します！

○おいしい6次化商品

- ・MIYAKOJI sweets yui

○各部・各普及所の紹介

- ・企画部

○お知らせ

- ・「ふくなかすいーつ」消費拡大キャンペーン開催中！
- ・いただきます！キャンペーン開催中！
- ・11月に「ふくしま植樹祭」が開催されます！
- ・「ふくしまからチャレンジ！就農フェア」を開催します！

特集：「販売力強化」

県中農林事務所では、県中産農林水産物のブランド化と販路拡大を図るために、農林水産業の再生、成長産業化を図りながら、地域間競争に打ち勝っていくことが重要であるとの認識のもと、安全性やおいしさを粘り強く訴え続けるとともに、震災により失った販売棚の獲得、販路拡大、販売拡大、販売価格の回復を目指し取り組んでいるところです。

昨年の5月に県知事とJA福島中央会会長が「ふくしま。GAPチャレンジ宣言」を発信したのを受け、農産物の生産工程管理を徹底し、消費者から信頼され、選択していただける産地づくりを進めるとともに、マーケットが求める生産力の強化を図り信頼される産地形成に一層力を入れながら日々活動をしています。

また、管内のJA福島さくらやJA夢みなみ、市町村長が卸売市場や量販店等に出向いてトップセールスを精力的に行い、流通から消費までの関係強化に努めているほか、管内の市町村や民間団体も県内外において各種イベントや催事への出展、マルシェの開催などにより販路拡大を図っています。また、日本ナシのベトナムへの輸出に引き続き取り組むほか、商品パッケージ改良等によるイメージ向上やオンラインストアでの販路開拓にも取り組み始めたところです。

出荷の最盛期を迎え、あらゆる機会を活かし、県中産農林水産物のおいしさ、品質の高さを発信し、風評払拭と販路拡大に取り組んでまいります。

新生運動県中地方推進本部会議開催！ 【企画部】

7月9日（月）、農業総合センター大会議室において、「ふくしまから はじめよう。『食』と『ふるさと』新生運動」県中地方推進本部会議を開催しました。

県中地方推進本部では、県中地方の農林水産業の復興・再生の加速化に向けて、様々な立場の機関・団体の構成員が課題を共有し、連携を深めることにより、地域の実情に応じた取組を図り、「食の安全・安心」、「生産再生」、「風評払拭・消費拡大」、「情報発信」の4つの運動を柱とする様々な活動を展開しています。

会議には、生産から流通・消費に至る関係団体や市町村、県関係機関より出席があり、平成29年度活動実績及び平成30年度活動計画について説明をいただきました。

また、テーマを「農林水産物の流通・販売力の強化」として意見交換を行い、震災後の県産農林水産物の価格低迷の問題や「販売棚」の回復に向けた各団体の取組について、活発な意見・情報提供がなされました。



(県中地方推進本部会議の様子)

JA 夢みなみがトップセールスを行いました！ 【須賀川農業普及所】

6月30日(土)に、JA夢みなみをはじめ、管内市町村、県中農林事務所、県南農林事務所が参加し、東京大田市場にて、農産物販売のPRのため、「トップセールス」を行いました。

橋本代表理事組合長より「これから夏野菜が本格的に出荷されます。安全・安心農産物をPRしていきたい。」とあいさつを行った後、市場関係者が試食を行い、「きゅうりやトマトが、とても甘くておいしい。」と好評でした。

その後、神奈川県内の量販店・小売店の5店舗にブースを設け、JA、生産者、夢ガールキャンペーン隊などが積極的に店頭立ち、販売促進活動を行いました。

JA夢みなみでは、関西の京都市場でもトップセールスを実施しております。



(トップセールスの様子)

猛暑を味方に！JA 福島さくらの青果物販売トップセールス 【田村農業普及所】

7月13日（金）～7月14日（土）にかけて、取引市場16社との青果物販売「トップセールス」を東京にて実施しました。

市場との意見交換で、JAは青果物11品目の再生産可能な要請価格を提示し、実現に向けた対応を市場側に依頼しました。

ある市場関係者からは、「天候が荒れている。きちんと畑を管理していることが、JA福島さくらの武器になる。海から湖までの4地区の特性を活かしてほしい。」との話がありました。

翌早朝は、東京千住青果、東京シティ青果、東京新宿ベジフルの3市場において、田村市長等やJA組合長・役員による「セリ台PR」、きゅうりやトマト等の試食によるトップセールスを行い、猛暑に負けない産地や美味しい青果物をアピールしました。



(意見交換会の様子)



(首長等による「セリ台PR」)



(たむら地区のピーマン・インゲン)



(市場内での試食PR)

「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーン

第1回県産農林水産物PRを開催しました！

【企画部】

当キャンペーンでは、県中地方にお住いの皆様に、県産農林水産物のおいしさなどの魅力を直接お伝えし、消費拡大と地産地消を推進するため、農林事務所主催で郡山、須賀川、田村、石川の4方部において、県産農林水産物のPRを実施します。

第1回目のキャンペーンは、7月15日（日）、郡山市のヨークベニマル横塚店において開催しました。来店された方々へ県産農林水産物をPRし、福島県の農林水産物に対するアンケートを実施しました。

アンケートに回答していただいた400名の方に、抽選で三春町産のブルーベリーまたは郡山市産のトマトをプレゼントしました。

また、ブルーベリー生産者の宗形真由美さん（三春町斉藤）、トマト生産者の橋本典彦さん（郡山市阿久津町）をゲストとしてお招きし、生産地の様子やおいしい食べ方等を紹介していただきました。

三春町の三春ダム（さくら湖）周辺に4軒あるブルーベリー摘取園は6月下旬から8月中旬頃まで開園しており、「今年は暑さの影響で1週間程度成熟が早いので早めに来園してほしい。」とPRしていました。

また、トマトの産地として郡山市の「阿久津・安原」はかねてから地域ブランドとなっており、「トマトは、夏バテ防止に最適なのでたくさん食べてほしい」とPRしていました。



（アンケート参加の様子）



（キャンペーン会場の様子）

農林業関係について（トピックス）

第69回全国植樹祭 郡山PR会場！ 【企画部】

6月10日（日）、JR郡山駅の西口駅前広場において、全国植樹祭PRイベントを開催しました。

当日は、天候にも恵まれ、会場には1,965名の多くの方に来場いただきました。

イベント会場では、大型のビジョンカーで、南相馬市の全国植樹祭本会場の様子が映し出されると、多くの方が足を止めて見入っていました。

また、広場では県中保健福祉事務所の「野菜スープ」や「オレンジ風味のイモヨウカン」の無料配布が好評で、長い行列ができました。その他、県産農産物・加工

品等、キッチンカーによるハンバーガーや各種ジェラート、プリンの販売やヤマツツジの苗木配布も大人気でした。

ステージイベントでは「須賀川松明太鼓」や「郡山ウィンドアンサンブル」による演奏、真灯かなたさんによるミニコンサート、福島ファイヤーボンズチアリーディングのメンバーによるダンスパフォーマンスでイベント会場を沸かせてくれました。



(PR 会場の様子)



(ヤマツツジ苗木の配布)

「JA 福島さくらトマト共同選果機稼働式」が行われました！【農業振興普及部】

7月22日（日）、JA福島さくら郡山地区本部湖南東総合支店トマト共同選果機の稼働式が、トマト生産者、JA、関係機関団体、市場関係者等が出席し、青空の下で行われました。

郡山市湖南地区は、標高500mの冷涼な気候を生かして、トマト栽培に取組み、昭和55年に野菜指定産地に指定され、昭和57年に共同選果場を整備して主に京浜方面へ出荷しています。

当共同選果機は、近年の新規栽培者の参入による作付面積拡大と単収の向上による処理量の増加や消費者の高品質トマトを求める声に対応すべく、平成29年度「産地パワーアップ事業（国庫補助）」を活用して整備されたものです。

これにより、選果の処理能力と選別精度が向上し、さらなる高品質トマトが安定的に選別・出荷されることとなり、水分が多くみずみずしい湖南産トマト“湖に沈むトマト”の信頼と評価の向上が期待されます。



(式典の様子)



(共同選果場内の様子)

「親子体験交流バスツアーinふるどの」を開催しました！ 【企画部】

8月5日（日）に、古殿町で「親子体験交流バスツアー」を開催しました。

このツアーは、県内の親子を対象として、古殿町の伝統文化である流鏝馬や地元で育てた農産物を使用して、古殿地域に伝わる伝統食の調理や試食体験をしてもらい、農山村の魅力や地元農産物に対する理解を深めてもらうことが目的のツアーです。

「おざわふぁ〜む」では、夏野菜などを使用して伝統食の調理・試食体験を行いました。

参加者の皆さんは、初めに「あげまんま」というおやつ作りに挑戦しました。

講師の小澤啓子さんより作り方の説明などのお話があり、その中で「自分の好きな形にすることもできるよ」と聞いた子供たちが啓子さんに「こんな形も大丈夫ですか？」と質問している姿が見られ、各自思い思いの「あげまんま」を作っている様子でした。

次に、地元で収穫された野菜を使用したてんぷらや漬物、暑い夏にぴったりの冷だれ等の昼食を築120年の古民家でいただきました。



（おざわふぁ〜む前にて記念撮影）



（昼食の準備）



（地元野菜を使用したお昼ごはん）

NPO法人馬事振興会にて、馬とふれあい体験でえさやり、馬と綱引きをし「一馬力」を体感しました。

はじめに、馬と触れ合うに当たり馬の視野の範囲や、注意点の説明があり、みなさん真剣に聞いていました。

えさやりでは、自分のあげたりんごやニンジンが馬が食べてくれたことに喜んでいました。

馬と綱引きをするという体験はなかなか経験できないため参加した子供たちから、「馬に初めて触った！」や「馬との綱引き面白かった！」等の声がありました。

ふれあい体験の後は、実際に使用した蹄鉄を馬によって搬出された杉板に釘で打ちつける記念盾の作成を行いました。

往復のバス車内では「語りと方言の会」のメンバーによる石川地方の昔話をさせていただきました。

最後に参加者の方からは、「なかなか体験できないことばかりでとても有意義だった。」や「古殿の良さ（場所や人）を実感することができた。」、「すてきな街がこんな近くにあることを知った。」等の感想がありました。



(記念盾)



(体験前に記念撮影)



(一馬力を体験！)

ほ場整備事業について 【農村整備部】

収益性の高い農業を実現するため、農地の区画整理（区画拡大）や農道、用水路、排水路の整備により農作業の効率化や担い手への農地利用集積を図る「ほ場整備」事業を10地区（面積合計437.7ha）で実施中です。このうち、今年度は50haで農地の区画整理の工事を予定しています。

また、担い手への農地利用集積を推進するために「ほ場整備」の必要性が高まっており、新たに7地区（面積合計520ha）で事業が予定され、地元農家の方や関係機関と協力し、早期の事業着手に向けて計画の策定を進めているところです。

平成30年度 ほ場整備事業実施地区

番号	地区名	所在地	着工	事業量 ha	総事業費 千円
1	マエダガワ 前田川	須賀川市	26	71.0	1,800,000
2	ホリノウチ 堀之内	郡山市	26	25.1	525,000
3	マエダ サワ 前田沢	郡山市	26	32.6	588,000
4	モリジユク 森宿	須賀川市	29	70.5	1,278,000
5	サワイ 沢井	石川町	29	88.0	1,582,000
6	ナガヤ 永谷 ※	田村市	29	18.0	538,000
7	ニシムキ 西向	田村市	30	43.6	910,000
8	ジケンジョウ 地見城	田村市	30	25.2	574,000
9	ヤマグチ 山口	田村市	30	31.9	746,000
10	カミイワイ サワ 上岩井沢	田村市	30	31.8	961,000

※永谷地区は中山間地域総合整備事業によるほ場整備



<前田沢地区>
区画の大きくなった水田

頑張る農業者！！

新規就農者（田村市） 【田村農業普及所】

田村市の株式会社 Green For Table（白岩幸恵氏・富塚あゆみ氏：就農1年目）

白岩さん・富塚さん姉妹は、経営品目「ミニトマト」と「ふきのとう」で今年就農しました。就農と同時に法人化を果たし、営農1年目の今年は手探り状態の中、栽培管理

技術の習得・農業経営の発展に向け、日々奮闘しています。

就農にあたっては、普及所・市・JAと連携した支援体制の中で就農相談・準備を進めてきました。

また、次年度以降は事業等を活用し、規模の拡大を進めながら、さらなる経営発展を目指し、農業に取り組んでいきます。



右：白岩幸恵さん
左：富塚あゆみさん

産地の動き

米の最高級ブランド ASAKAMAI887 の 7 つの基準を クリアするために 【農業振興普及部】

郡山市産コシヒカリの最高級ブランド「ASAKAMAI887」の7つの基準（①食味値88点以上、②タンパク質含有率6.1%以下、③ふるい目2.0mm、④整粒歩合80%以上、⑤特別栽培米、⑥GAPへの取り組むこと、⑦エコファーマー認定者であること）をクリアするため、取組生産者を対象とした指導会が6月8日（金）にJA福島さくら郡山地区本部主催で開催されました。

29年産米は8月以降の不順天候の影響で、食味値の基準をクリアできませんでした。このため、より食味を優先した栽培管理について農業振興普及部の作物担当から説明を行いました。生産者からは、今年の栽培への意気込みについて発言がありました。

また、ASAKAMAI887 取組み生産者はFGAP団体認証を目指しており、FGAP取得までのスケジュールや関係帳票の記入方法等について、普及部から説明を行いました。

今後は、認証に必要な9月の現地調査確認に向けて、市・JA等の関係機関と連携をして、農業振興普及部が帳票類の確認やコンサルタント等の支援を行っていく予定です。



（GAPへの取り組みについての説明を真剣に聴講する生産者の方々）

今年も売ります！

JA 福島さくらたむら地区本部「夏秋野菜出発式」 【田村農業普及所】

7月9日（月）、田村市船引町のJA福島さくらたむら地区本部「船引そさいセンター」で夏秋野菜の出発式が行われました。田村農業普及所をはじめ、生産者、運送会社、JA関係機関の関係者約50名が出席しました。園芸部会長のあいさつの中で生産・販売に対する意欲を述べ、来賓による祝辞、代表者によるテープカットが終了した後、ピーマン・トマト・ナス・いんげんなどの夏秋野菜を荷台に満載した10tトラックが、出席者の拍手の中、市場に向け出発していきました。田村地域の夏秋野菜は、今年も数多くの消費者の皆様を満足させることでしょう。



(テープカットの様子)

初開催のマルシェ大好評！

【田村農業普及所】

7月11日（水）に、田村市役所の屋外スペースで「第1回たむらマルシェ」が開催されました。

今年設立した田村市若手農業者グループ「AgriCreator's∞Tamura」のメンバーが生産した農産物が出品され、お昼前にはほぼ完売するほどの好況ぶりでした。

このグループは、これからの田村市の農業を担う若手農業者等が、この先もずっと農業で暮らしていける地域の実現に向けて、新たなチャレンジをともに考えて実践することを目的として結成されました。マルシェは今後も月1回、第2水曜日に開催する予定です。

ぜひ、足をお運びください！



(マルシェの様子①)



(マルシェの様子②)



(マルシェ参加のみなさん)



(女性農業者の方々)

**機械化体系の実証による葉菜類の大規模経営体育成を目指しています！
【須賀川農業普及所】**

石川地域においては、高齢化等に伴う農業従事者の減少により園芸産地の弱体化が危惧されることから、中山間地の限られた農地における大規模園芸経営の育成が求められています。

そこで、須賀川農業普及所では、「次世代を担う地域農業先端モデル実証事業」を活用し、中山間地域における大規模園芸経営体系確立のための技術実証に取り組んでいます。

今回の実証では、同一ほ場に年複数回は種することにより、延べ面積で大規模化を図れる施設葉菜類に着目し、栽培に係る労力の大半を占め、かつ人力作業である収穫・調整作業において機械化体系を導入し、葉菜類の大規模経営の確立を目指します。今後、実証や現地検討会等を通じて、中山間地における大規模園芸生産体系の確立と技術の普及、先導的な経営体の育成により園芸産地力の強化を図ります。



(実証ほにおけるハウレンソウ収穫機の現地検討会の様子：7月12日)

須賀川地域における大規模水稲経営を育成しています！ 【須賀川農業普及所】

須賀川市松塚地区において大規模水稲経営の育成を目指し、低コスト・高収益化を可能とする稲作技術と作業の効率化・省力化を可能とするICT技術を組み合わせた経営取組の実証として、ふくしまアグリイノベーション実証事業に取り組んでいます。

今回の実証では、スマートアシストシステムや密苗、自動水門、リモートセンシング、収量コンバインを導入し、作業の省力化・効率化について検討を行っています。

7月20日（金）、100名の参加者のもと現地検討会を行い、密苗、自動水門を導入したほ場を見学していただきました。

今後も実証データを蓄積し、収量均一化、生産性の向上、コスト削減を目標とし、経営面積50ha以上の大規模経営体の育成につなげていきます。



(現地検討会の様子)

おいしいも次化商品

MIYAKOJI sweets yui 【企画部】

○みやこじスイーツゆい○

「MIYAKOJI sweets yui」では、都路の地場産品を使用しておいしいお菓子を作っています。

なかでも、ゆいプリン リッチが売れ筋商品です！

ゆいプリン リッチは、都路産のたまごをふんだんに使い、生クリームでとろ～りなめらかに仕上げたプリンです。

☆都路産のたまご☆

プリンに使用されている都路産のたまごは、えさを工夫しコクのあるとろける味わいにこだわったたまごで、黄身の色が濃いのも特徴です。

放射性物質については、毎日検査を行い、安全性を確認したうえで出荷しています。

店内にはイートインスペースもあります。

また、パッケージがとってもおしゃれなので、お土産にもおススメです！
おしゃれな空間でしあわせなひとときを



(ゆいプリン リッチ)

地図



各部・各普及所の紹介

企画部の紹介！

こんにちは。企画部長兼地域農林企画課長の家久来です。この4月に大阪事務所より転入してまいりました。よろしくお願いいたします。

さて、企画部は、地域農林企画課と指導調整課の2課11名体制で業務を行っています。担当職員の紹介と併せて具体的な業務内容を紹介します。

まず、地域農林企画課です。とりまとめるのは、原田政尚主任主査、現職3年目、県中管内の農林業で知らないことはないという大ベテランです。毎日、棚倉町から電気自動車を通うタフガイです。地域の農林水産物の安全性の確保や信頼性の向上を図るため、県中産農林水産物の安全性やおいしさを粘り強く消費者の皆さんに訴えかけています。その他、地産地消や食育、地域産業6次化やグリーン・ツーリズム等による農山村の活性化を支援しています。齋藤直彦主査、粒來詠子主査、新堀幸恵主事、新規採用の小池涼乃技師がそれぞれ業務を担います。

次に、指導調整課です。仕事が丁寧で緻密な高野信也課長を、冷静な紺野公実子主査（キャップ）が補佐する体制です。優良農地の確保のため、農振法に基づき市町村が定める「農業振興地域整備計画」の見直しや、農地法に基づく農地転用許可、また、農業協同組合や土地改良区等の団体検査、農林水産物の適正な食品表示の推進を担います。佐久間隆主査、庄司由希子主査、榊原育美主査がガッチリ脇を固め業務にあたっています。

そのほか、育児休業中の白川美波副主査、臨時職員の星井由希さんを加え、『明るく、楽しく』をモットーに県中地方の農林業の振興のため、日々、尽力しています。



お知らせ

「ふくなかすいーつ」消費拡大キャンペーン開催中！ 【企画部】

県中農林事務所では、平成24年から県産農産物を使用して開発を進めてきた「ふくなかすいーつ」(※)の取組が5年経過し、開発した商品数が30品目を超えたことから、一般消費者への「ふくなかすいーつ」のさらなる知名度向上と県産農産物や6次化商品の消費拡大を目的として当キャンペーンを実施しております。※県中地域・県内の農産物を使用して県中地域で作られたお菓子の名称。

○応募期間

第Ⅰ期：7月14日(土)～8月31日(金)

第Ⅱ期：9月1日(土)～11月30日(金)

○応募方法

店頭にある応募用紙に、県中管内の「ふくなかすいーつ」販売店のレシート(合計金額1,000円で1口、1口から応募可能)に貼付、必要事項を記入の上、郵送してください(当日消印有効)。

たくさんのご応募お待ちしております！！

ふくなかすいーつ 消費拡大キャンペーン

抽選で40名様に「ふくなかすいーつ」プレゼント！

応募期間 7/14(土)▶ 8/31(金)【第Ⅰ期】
9/1(土)▶ 11/30(金)【第Ⅱ期】

「ふくなかすいーつ」販売店で合計1,000円以上ご購入いただいた方の中から、抽選で各20名(計40名)に「ふくなかすいーつ」を含むお菓子3,000円相当をプレゼントいたします！

応募方法

県中管内の「ふくなかすいーつ」販売店のレシート(合計金額が1,000円で1口、1口から応募可能)を裏面の応募用紙に貼付し、必要事項を記入いただき、応募用紙を同封のうえ、下記までご郵送ください。(※当日消印有効)

※レシートは応募期間内のものに限り、※レシートは複数枚かかれますので、あらかじめご了承ください。※応募用紙の裏面にプレジートの貼付位置も記載してあります。※プレゼントはお一人1シートまでとさせていただきます。※住所・氏名が不明な場合は無効となります。※お菓子以上の購入履歴は、商品の発送のために使用いたします。

「ふくなかすいーつ」は！

- 県中地域や福島県産の農産物を使用して、県中地域で作られたお菓子を「ふくなかすいーつ」と名付けています。
- 県中地域・地域特産品顔出クラスター分科会を通じて開発した商品。
- 各事業者の管轄で独自に作った商品。
- ※/バンフレット掲載やイベント出展等を通じてPRしております。

応募先・お問合せ
福島県農林事務所 企画部 地域農林企画課
「ふくなかすいーつ」キャンペーン 担当
〒963-8540 福島県郡山市麓山1-1-1 TEL 024-935-1510

県中地域ふくなかすいーつプレゼント 応募用紙

【お名前】 _____

【ご住所】 〒 _____

【電話番号】 () - () - () 【口数】 _____ □

【質問】 このキャンペーンをどこで知りましたか？(いづれかに○)

新聞・チラシ・店舗・その他() _____

こちらにレシートを貼ってください。
レシートの合計金額が1,000円で1口です。1口から応募できます。
※レシート2枚の合計を1,000円の場合、2口です。

※お手持ちの便せん等に「お名前・ご住所・連絡先・口数・郵送の控え」を記入し、レシートと一緒に郵送いただいたとしても、郵送可能です。

「ふくなかすいーつ」販売店	住所	電話番号
1 俊博製菓子店 早稲原 栗木自末店/茨城公園前店	郡山市水戸2-6-6/郡山市水戸14-17	024-932-3499/024-921-4194
2 うみやや	郡山市東山久保大塚町字久保町7-1	024-925-0259
3 新栄堂 ヤマテ平蔵	郡山市東山久保大塚町字久保町12-5	024-956-5511
4 納屋	郡山市中田町南町字南町2-20/4	024-943-1917
5 かど屋 (神山菓子店)	郡山市中田町南町字南町2-20/4	024-922-2955
6 新栄堂	郡山市東山久保大塚町字久保町12-5	024-967-1911
7 俊博製菓子アトリエ きょうとパテラと	郡山市東山久保大塚町字南町18-9	024-922-0259
8 フルーツピーク	郡山市山田町4-5	024-922-4517
9 新みや	郡山市東山久保大塚町字久保町11-14	024-922-4517
10 みよと屋	郡山市山田町12-23	024-935-3440
11 俊博製菓子店	郡山市水戸2-7-10	024-922-4041
12 味の楽楽堂	郡山市水戸2-7-10	0248-75-0097
13 BON BAKERY	郡山市水戸2-7-10	0248-73-1847
14 餅・菓子工房 かめまん 本店/伊の町店	郡山市水戸2-7-10/郡山市水戸2-7-10	0248-73-1847/0248-94-7907
15 菓子工房かめまん	郡山市水戸2-7-10	0247-62-0253
16 みよこスイーツゆい	郡山市水戸2-7-10	0247-73-8330
17 眞びす屋	郡山市水戸2-7-10	0247-26-1982
18 眞びすのやま	郡山市水戸2-7-10	0247-26-2552
19 お菓子のくまじゅ	郡山市水戸2-7-10	0247-26-2551
20 菓子工房いわきや	郡山市水戸2-7-10	0247-43-2159
21 眞の菓子店 ましほ	郡山市水戸2-7-10	0247-65-3392
22 大塚製菓店	郡山市水戸2-7-10	0247-62-3399
23 三華製菓家	郡山市水戸2-7-10	0247-62-2272

(キャンペーンチラシ)

いただきますキャンペーン(県中地方特産品プレゼント)開催中! 【企画部】

「おいしい ふくしま いただきます!」キャンペーンは、県内の消費者に県産農林水産物の美味しさや安全性をPRし、風評の払拭と農林水産物の消費拡大を推進するため、県中農林事務所主催により実施しているものです。

今年度も、昨年に引き続き、県中地方の「がんばろう ふくしま!」応援店に登録されている常設直売所で買い物をしていただいた方を対象として、「県中地方の特産品が当たるプレゼントキャンペーン」を実施しています。

どなたでも応募できますので、皆様のご応募お待ちしております!!

(1) 応募期間

第1期:平成30年6月1日(金)～8月31日(金) 抽選9月上旬

第2期:平成30年9月1日(土)～11月30日(金) 抽選12月上旬

(2) 応募方法

①店頭にある応募用チラシに、記載されている直売所のレシート(合計金額1,000円で1口、1口から応募可能。)を貼付、または手持ちの便せん等に必要事項を記入のうえ同封し、郵送してください(当日消印有効)。

②各回20名、計40名を抽選(くじ引き)し3,000円相当の「県中地方特産品詰め合わせ」をプレゼントします。

おいしいふくしま いただきます! キャンペーン

抽選で「県中地方特産品」をプレゼント!!

県中管内の「がんばろう ふくしま!」応援店に登録されている直売所(裏面参照)のレシート(合計金額1,000円で1口、1口から応募可能。)を裏面応募用紙に貼付またはお手持ちの便せん等に「お名前、ご住所、連絡先、口数、質問の答え」を記入のうえ、レシートを同封し、下記まで郵送してください(当日消印有効)。

★応募期間 【第1期】平成30年6月1日～8月31日
【第2期】平成30年9月1日～11月30日

★内容 3,000円相当の「県中地方特産品」を各回20名様にプレゼント!!

※何かが当たるかは運に任せてください

応募先・お問合せ
福島県農林事務所 企画部 地域農林企画課
いただきますキャンペーン担当 宛
〒963-8540 福島県郡山市麓山1-1-1
電話 024-935-1510

ご応募お待ちしておりますーす!

※応募方法
県中管内の「がんばろう ふくしま!」応援店に登録されている常設の直売所(裏面参照)のレシート(合計金額が1,000円で1口、1口から応募可能)を、応募用紙に貼付またはお手持ちの便せん等に必要事項を記入のうえレシートを同封し、応募先まで封書で郵送してください。

★その他
・レシートは、平成30年6月1日以降のものに限ります。
・当選者の発表は、プレゼントの発送をもって代えさせていただきます。
・複数口で応募された方は、当選確率が上がります。ただし、プレゼントは、おひとり1セットまでとさせていただきます。
・お預かりした個人情報には、景品の発送のみに使用いたします。

ふくしま新発見。 福島県では農林水産物の放射性物質を測定し、検査結果を随時公開しています。福島県農林水産物モニタリング情報検索サイト。ふくしま新発見。
http://www.new-fukushima.jp/

おいしい ふくしま いただきます! キャンペーン 県中地域特産品プレゼント 応募用紙

県中管内の「がんばろう ふくしま!」応援店に登録されている常設直売所

名称	住所	電話番号
JA農産物直売所 愛情報	郡山市朝日二丁目 3-35	024-991-9060
農産物直売所 ベレッシュ	郡山市暮久田町字四十田 6-47	024-973-6388
ポテツクファームおおせ	郡山市津波町多田野字下野屋 101	024-957-2712
トトトっち	郡山市暮久山町南小倉石倉 80-1	024-956-2618
湖南四季の里	郡山市湖南町福島字倉の北 9	024-962-3371
JA 福島さくら農産物直売所 旬の産 久留米店	郡山市久留米 2 丁目 77-1	024-945-7463
JA 福島さくら農産物直売所 旬の産 大槻店	郡山市大槻町字野野 64-1	024-966-3512
JA 夢みなみ 重藤支店	須賀川市郡野 54	0243-73-5261
JA 夢みなみ 重藤支店	須賀川市和野字谷地 50	0243-76-7111
JA 福島さくら農産物直売所 ふあせのたむら	田村市船引町船引字遠原 143 番地	0247-62-4800
旬菜かそね直売所	田村市船引町船引字馬場 24-1	0247-62-4678
緑石まの駅 かんかんてらす	緑石町中央 345	0245-94-8110
道の駅羽鳥集落	天栄村大字田島尾字芝草 1-3952	0245-85-2547
天栄村農産物直売所 季の里天栄	天栄村大字大里字次野 50-1	0245-81-1455
ファーム りとるランド	石川町北町 3	0247-26-3634
あぶくま安心館 駅前店	石川町字当町 109-6	0247-26-6264
玉川村生産物直売所 こぶしの里	玉川村大字岩法寺字宮の前 140-2	0247-57-3800
農産園	玉川村大字中野上 52	0247-57-4887
道の駅「ひらた」	平田村大字上原田字藤森後 180	0247-55-3501
農産所 あさみんせ	浅川町大字浅川字本町西裏 102-1	0247-36-1123
吉野町生産物直売所「おふくろの駅」	吉野町山口字平野 25	0247-53-6070
三春の里田舎生活館	三春町大字西方字石巻 487-1	0247-62-8010
さわ市 香露館	三春町大字大町 32-1 みはる香露館内	0247-62-6222
さわ市 葉の上店	三春町大字六井 50-20	0247-62-2833
パレットやおや市	三春町山田字クルマズマツ 56	0247-62-5065
(株)道のげんき	小野町大字飯室字飯室内前 16 番地2	0247-72-5511

こちらにレシートを貼ってください。
レシートの合計金額が1,000円で1口です。1口から応募できます。
例:レシート2枚の合計金額3,500円の場合 = 3口

※お手持ちの便せん等に「お名前・ご住所・連絡先・口数・質問の答え」を記入し、レシートと一緒にお送りいただいても、応募可能です。

【お名前】 _____ 【口数】

【ご住所、連絡先】 〒 _____ (電話) _____)

【質問】 福島県産の農林水産物を積極的に買っていますか? (いずれかに○) はい いいえ

11月に「ふくしま植樹祭」が開催されます！ 【森林林業部】

第69回全国植樹祭は、6月10日（日）に天皇、皇后両陛下のご臨席のもと、「育てよう 希望の森を いのちの森を」を大会テーマに、全国はもとより海外からも大勢の参加者の皆さんをお迎えして開催されました。

大成功となった全国植樹祭の理念を継承し、緑の森づくりを一層推進するため、新たに「ふくしま植樹祭」が開催されることとなりました。

第1回は、11月4日（日）に南相馬市鹿島区北海老の海岸防災林を会場として開かれ、歌舞伎俳優の市川海老蔵さんも来場する予定で、県内外から約3千人の参加を見込んでおります。9月以降、県のホームページなどで参加者を募集しますので、皆様のご応募をお待ちしております。

「ふくしまからチャレンジ！就農フェア」を開催します！ 【田村農業普及所】

次代の農業の担い手となる新規就農希望の方々を応援するために、県中地域やその周辺地域で就農を検討している方々を対象に合同相談会を開催します。

これから就農して農業に取り組みたい方、定年を機に農業にチャレンジしたい方、就職・転職先として農業を考えている方など、農業に強い意欲と情熱をお持ちの方々のご来場をお待ちしております！

○日時
平成30年12月2日（日）
10：30～16：00
（予約不要・自由参加）

○場所
福島県農業総合センター
多目的ホール

※就農対象エリア
郡山・田村・須賀川岩瀬・石川・
安達・双葉・いわき地域

※協力機関
就農対象エリアの市町村
・JA等18機関・団体

○お問い合わせ先（主催）
福島県県中農林事務所 田村農業普及所
TEL：0247-62-3113



お問い合わせ先

福島県中農林事務所 企画部 地域農林企画課

〒963-8540 福島県郡山市麓山一丁目1番1号

TEL (024) 935-1510 / FAX (024) 935-1314

ホームページ <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36220a/>

メールアドレス kikaku.af02@pref.fukushima.lg.jp



(写真：梨)

県中農林ニュース

第 9 号 (平成 30 年 10 月発行)

編集・発行 福島県県中農林事務所

～ 目 次 ～

○特集：「福島県農業賞」

- ・第 59 回福島県農業賞の受賞者をご紹介します！
- ・第 1 回いただきますキャンペーン・ふくなかすい一つキャンペーン抽選会！

○農林業関係の動き（トピックス）

- ・平成 30 年度郡山農業普及推進懇談会を開催しました！
- ・第 2 回「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーン県産農林水産物の PR を行いました！
- ・平成 30 年度第 1 回県中地方・地域産業 6 次化ネットワーク交流会を開催しました！
- ・ゼロからのスタート～それでも、東北農政局長賞に輝きました！
- ・平成 30 年度福島県優良建設工事表彰式が開催されました！
- ・「畑の学校」で種まきを行いました！
- ・「ふくしま道の駅・空の駅まつり」が開催されました！
- ・フレッシュ農業ガイド講座を開催しました！

○各部・各普及所の紹介

- ・農業振興普及部

○お知らせ

- ・「ふくなかすい一つ」消費拡大キャンペーン開催中！
- ・いただきます！キャンペーン開催中！
- ・林業祭開催！
- ・食品表示研修会を開催します！
- ・11 月に「ふくしま植樹祭」が開催されます！
- ・「ふくしまからチャレンジ！就農フェア」を開催します！

特集：「福島県農業賞」

第 59 回福島県農業賞の受賞者をご紹介します！

本県の農業分野で最も権威のある賞である、「第 59 回福島県農業賞」の表彰式が、9 月 7 日（金）、杉妻会館牡丹の間において行われました。今年度は、農業経営改善部門で 6 組のご夫婦と 3 法人、集団活動部門・農村女性活動の部 1 団体、復興・創生特別賞の 1 団体が受賞しました。県中管内からは、小山忠義さん・忍さんご夫妻（郡山市）、渡邊広さん・竜子さんご夫妻（田村市）、内山正勝さん・ナツ子さんご夫妻（天栄村）の 3 組の方が農業経営改善部門で受賞されました。

管内の 3 組のご夫妻が受賞された「農業経営改善部門」とは、経営内容が計画的であり、生産性が高く経営の安定性・発展性が見込まれ、特に農業経営の改善が顕著である個別経営体及び農業法人に贈られる賞です。



小山忠義さん・忍さん

○**小山忠義さん・忍さん** は、標高千メートルを超える布引高原の冷涼な気候を生かしながら、品質の高い野菜を直売所へ出荷しています。冬期間に雪を活用して生産したダイコンやキャベツなどは、「雪下野菜」として通常より 2～3 割高い価格で取引されています。また、忠義さんは、郡山市の直売所へ出荷する生産者組織の会長を長年務められ、700 人以上の部会員と直売所組織との調整役を担っています。

開始し、特殊な水溶性鉄分「FFC」技術の導入などにより品質向上と安定生産に取り組み、消費者へ直接シイタケを届ける販売網を確立しました。現在 11 人の従業員を雇用し、平成 30 年には田村市で初めて



内山正勝さん・ナツ子さ

○**渡邊広さん・竜子さん** は、平成 15 年から菌床シイタケに絞った経営を開始し、特殊な水溶性鉄分「FFC」技術の導入などにより品質向上と安定生産に取り組み、消費者へ直接シイタケを届ける販売網を確立しました。現在 11 人の従業員を雇用し、平成 30 年には田村市で初めて JGAP 認証を取得しています。



渡邊広さん・竜子さん

○**内山正勝さん・ナツ子さん** は、水稲 1,463 アールを経営し、品質の高い米づくりを実践しています。平成 19 年には、天栄村内の米生産者と「天栄米栽培研究会」を立ち上げ、毎月勉強会を開くなど技術向上に努められ、「米・食味分析鑑定コンクール」で 5 度の金賞を獲得し、「天栄米」ブランドの普及に貢献しています。

受賞者の皆様、おめでとうございます！

農林業関係について（トピックス）

平成30年度郡山農業普及推進懇談会を開催しました！

【農業振興普及部】

8月1日（火）、郡山市湖南町の JA 福島さくら湖南東総合支店にて、平成30年度郡山農業普及推進懇談会を開催しました。

郡山市青年農業士会、郡山生活研究グループ連絡協議会、県普及指導協力員をはじめ、郡山市、JA 福島さくら郡山地区本部及び県関係機関が出席し、今年度の普及指導計画や普及活動に対する意見・要望等を提案していただきました。

また、普及活動の取組事例として、作物担当普及員から、湖南地域における「里山のつぶ」生産拡大に向けた取組について、実際のほ場を見ていただきながら紹介を行いました。

現地視察においては、野菜担当普及員から、JA 福島さくら郡山地区湖南夏秋とまと生産部会の取組について紹介するとともに、JA 福島さくら湖南東支店の岩谷副支店長から、産地パワーアップ事業を活用し、今年度7月より稼働しているトマト共同選果施設について紹介していただきました。



【県オリジナル新水稻「里山のつぶ」
現地ほ場視察】



【機能が強化されたトマト共同選果
施設の視察】

「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーン

県中地方第2回県産農林水産物のPRを行いました！ 【企画部】

当キャンペーンは、県中地方にお住まいの皆様へ、県産農林水産物のおいしさなどの魅力を直接伝え、消費拡大と地産地消を推進するため、農林事務所主催で県中地方の4方部（郡山、須賀川、田村、石川）において、県産農林水産物のPRを開催しています。

今年度第2回目のキャンペーンは、8月26日（日）にヨークベニマルメガステージ須賀川南店において開催しました。

来店された方々へ県産農林水産物をPRするとともに、本県産の農林水産物に関するアンケートを実施しました。

アンケートに回答いただいた340名に、抽選で須賀川市産のもも・日本なし・きゅうりをプレゼントしました。

また、須賀川市のもも・日本なしの生産者の有我修さん、きゅうり生産者の設楽哲也さんには、生産地の様子やおいしい食べ方等を直接消費者に紹介していただきました。

生産者のお二人からは、「これから果物の最盛期を迎えますが、今年のももや日本なしは甘いので、消費者の皆さんに沢山食べてもらいたい。（有我氏）」、「須賀川市のきゅうりをアピール出来てとても良かった。（設楽氏）」等の感想をいただきました。



【県産農林水産物 PR キャンペーンの様子（ヨークベニマルメガステージ須賀川南店）】

6次化ネットワーク交流会を開催しました！ 【企画部】

8月28日（火）に、福島県農業総合センター農業短期大学の農産加工センターにおいて、6次化ネットワーク会員による交流会を行いました。

交流会は、福島県農業総合センター農産物流通加工支援チームの安田専門員と國分主任研究員の指導のもと、「漬け物の殺菌工程と真空包装」と「米ゲル※を使用したアイスクリーム作り」の加工実習を行いました。

参加した会員からは、「加工機器を自分で使っての実習が良かった」、「米ゲルを使用したアイスクリームが美味しく作ることが出来た」、「安心・安全な6次化商品作りに役立った」などの感想が寄せられました。

今後も、会員の皆様のご意見を取り入れた交流会にして行きたいと考えておりますので、会員の皆様からの、ご意見ご要望をお待ちしております。

- 連絡先：福島県県中農林事務所 企画部 地域農林企画課
県中地方・地域産業6次化ネットワーク事務局
電話：024-935-1510

※「米ゲル」とは...

- ・加工用米として栽培されている高アミロース米を使用し、炊飯した米を高速回転させたミキサーでせん断攪拌処理をしてゲル状にしたものです。これまで、米粉で作製すると翌日に硬くなりがちだった加工品も「米ゲル」を用いて作製すると翌日以降も軟らかいまま保つことができます。



【交流会の様子】



【漬物の真空包装体験】

ゼロからのスタート～それでも、東北農政局長賞に輝きました！
【田村農業普及所】

8月31日(金)に、郡山市で第45回福島県花き栽培品評会が開催され、「合子^{ごうし}りんか」の皆さんが栽培したリンドウ「民瀬の輝」が東北農政局長賞に選ばれました。

「合子^{ごうし}りんか」は、原発から20km圏内の営農再開地域である都路町古道の合子^{ごうし}地区で、花き栽培を営む女性農業者3人グループです。「地区の活性化につながるものを作りたい」と、平成27年元旦に設立し、リンドウの品種「ふくしま凛夏(りんか)」と地区の名前から、「合子^{ごうし}りんか」と命名しました。

花きに関しては未経験で、ゼロからのスタートとなり、様々な苦労がありましたが、管内の花き生産者をお手本に、常に学ぶ姿勢を忘れず、努力を続けてきました。

「合子^{ごうし}りんか」は、後継者にとってのコンパスとなれるように、今後も楽しく農業を続けていきます。



【合子^{ごうし}りんか「民瀬の輝」】

平成30年度福島県優良建設工事表彰式が開催されました！

【農村整備部】

9月6日（木）に、平成30年度福島県優良建設工事表彰式が福島市の杉妻会館で開催されました。

当事務所発注の「復興経営体育成基盤2801工事 前田沢地区」で富士工業株式会社（代表取締役社長 猪狩恭典）が施工した工事が、出来映えや現場の体制、創意工夫などでほかの工事と比べて極めて優秀な工事として農林水産土木工事のほ場整備部門で表彰されました。

【授賞理由】

本地区では、放射性物質の除染とほ場整備工事を同時に実施するものであり、また、散居集落内で電柱や水道管等の支障物件が多く、現場条件・施工条件ともに難易度の高い工事である。施工にあたっては、工事範囲を6工区に分割し、順々に施工することにより、地域住民の不便さの低減と支障物件移設の確実さを成し遂げており、施工管理が優秀である。また、農地除染にあたっては、試験施工により除染工法を選定・施工し、空間線量の低減を果たしたことは高く評価される。

※「福島県農林技術課ホームページ」より



【表彰された前田沢地区のほ場整備】



【内堀県知事から賞状を受け取る猪狩氏】

「畑の学校」で種まきを行いました！【農村整備部】

農村地域の重要な要である田んぼ、水路、ため池、畑などの環境を学びの場として活用する体験学習「田んぼの学校・畑の学校」では、地域の未来を担う子供たちが「食・命の大切さ」、「農業・農村地域の大切さ」、「自然環境の大切さ」について理解を深め、豊かな感性と深い見識を持つことを目指しています。

今年度は、田村市の福島県立たむら支援学校において「畑の学校」に取り組んでおり、9月6日（木）に学校近くの畑で大根・白菜・人参の種まきを行いました。

生徒は、初めての農作業に戸惑いながらも田村農業普及所職員や地元農家の方に教わりながら、夢中で作業をしていました。

12月の収穫が待ち遠しいです！



【種まき後に集合写真！】

「ふくしま道の駅・空の駅まつり」に出展しました！ 【企画部】

9月9日（日）、福島空港国際貨物施設において開催された「ふくしま道の駅・空の駅まつり」に出展し、6次化商品のPR・販売や「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーンを行いました。

○6次化商品のPR・販売！

地元玉川村の6次化ネットワーク会員の2事業者が出展しました。

さるなし研究会様からは「さるなしジャム」、「かぼちゃジャム」、「ブルーベリージャム」を、有限会社イリヤ様からは「ブルーベリーコンポート」が出品されました。試食・PR・販売を9時30分よりスタートし、お買上げの先着60名様には、「さるなしジュース」または「生のさるなし」をプレゼントし、好評を博していました。

試食したお客様からは、「さるなしの実ってどのくらいの大きさなの？」、「さるなしは生で食べられるの？」など「さるなし」に関する質問が多く、出展事業者が会場に展示した「さるなしの実」を見ていただきながら質問に答え、お客様との会話も弾み、活気のあるイベントになりました。

時折、小雨が降る中ではありましたが、昼過ぎには準備した商品を完売しました。

今後も、6次化商品の魅力発信を進めてまいります。



【PR・販売ブースの様子】



【6次化ネットワークのブース】



【実のついたさるなしの木】

○「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーン
県中地方第3回県産農林水産物PR！

今年度第3回目のキャンペーンは、9月9日（日）、福島空港で開催された「ふくしま道の駅・空の駅まつり」に出展して開催しました。

空港のある玉川村で推進している特産品『さるなし』のPRを行いました。

今回のPRでは、さるなし収穫が始まったばかりで生の果実の確保が難しいため、「さるなしドリンク」を配布し、『さるなし』に関するパネル展示や「さるなしの果肉の色」や「原産地」等を聞くクイズの出題をしました。

また、県産農林水産物に対するアンケートを行い、回答していただいた方へ、くじ引きで玉川村産の「日本なし」、「りんご」、「さるなしドリンク」をプレゼントしました。大勢のお客様が来場され、行列ができるほど盛況でした。



【県産農林水産物PRキャンペーン開催の様子】

フレッシュ農業ガイド講座を開催しました！【田村農業普及所】

9月10日（月）、県立小野高等学校の農業科学基礎を選択する2年生23名を対象に「フレッシュ農業ガイド講座」を開催しました。本講座は、高校生を対象に、地域農業者との交流や意見交換、生産現場の見学を通して、就農への動機づけや農業に対する関心を高めることを目的に開催しています。

今回の講座では、小野町で農産物加工の取組を行う農業者を講師に招いて、地元の農産物を使った加工品について学びました。

生徒の皆さんは、加工体験や加工品の試食を行い、農産物加工の楽しさを実感していました。



【講座の様子】



【「こむぎ饅頭」を加工体験！】

「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーン

県中地方特産品プレゼント第1期抽選会を開催しました！【企画部】

本キャンペーンは、消費者の皆様へ、県産農林水産物の美味しさや安全性をPRし、県産農林水産物の消費拡大と地産地消を促進するため、県中地方の「がんばろう ふくしま！」応援店に登録されている26カ所の常設直売所における購買者を対象とした、1,000円1口から応募できるプレゼント企画です。

9月14日（金）、今年度第1期の応募期間（6月1日～8月31日）が終了したため、「県中地方特産品の詰合せ」のプレゼント抽選会を開催し、桃井県中農林事務所長の厳正なる抽選（くじ引き）により20名の当選者を決定し、同日プレゼントの発送を行いました。

プレゼントは、3,000円相当の県中地方の特産品詰め合わせです。

当選者の声！

- ・いろいろな珍しい商品が入っていて楽しかった！
- ・普段購入しない商品が味わえてうれしかった！
- ・これを期に地産地消に心掛けたい。
- ・県中地方の特産品がたくさんあることがわかった。
- ・友達にも福島の特産品をすすめたい！

引き続き、第2期の応募期間（9月1日～11月30日）となっており、どなたでも応募できますので、県中地方の直売所でお買い物をされた際は、ぜひ、ご応募ください。お待ちしております！



【抽選会の様子】



【県中地方特産品の詰め合わせ】

消費拡大キャンペーン第1期抽選会を開催しました！【企画部】



当キャンペーンは、県産の素材を活用して開発をすすめてきたお菓子「ふくなかすいーつ」の商品数が30品目を超えたことから、「ふくなかすいーつ」のさらなる知名度向上と消費拡大を目的として、「ふくなかすいーつ消費拡大キャンペーン」を実施しております。（キャンペーンの詳細は15ページを参照）

9月14日（金）に、郡山合同庁舎南分庁舎第4会議室において、第1期応募期間分（7月14日～8月31日）の抽選会を実施し、桃井県中農林事務所長が20名の当選者をくじ引きにより抽選し、同日プレゼントの発送を行いました。プレゼントは、3,000円相当のふくなかすいーつを含むお菓子の詰め合わせです。

当選者の声！

- ・初めて食べるお菓子もあり、家族や親戚、友人と会話が弾んだ！
- ・いろいろなお店のお菓子が食べられてよかった。もう一度食べたいお菓子もあったので再度購入したい！
- ・福島の農産物でこんなスイーツが作られていたとは知らなかった。是非、今度購入したい。

現在、キャンペーン第2期開催中（9月1日～11月30日）ですので、たくさんのご応募お待ちしております！



【抽選会の様子】



【お菓子の詰め合わせ】

藤沼ダムで有志によるゴミ拾いと親水護岸の草刈りを実施！

【農村整備部】

9月22日（土）に、県職員OBを中心とした「ボランティア未来^の農水と土サポート」及び「福島県農業土木技術研究会」による藤沼ダムの清掃活動が行われ、全体で29名、県中農林事務所からも3名の職員が参加しました。ダム湖一周約4kmのゴミ拾いと親水護岸の草刈りを行いました。

藤沼ダム周辺で、秋の行楽シーズンを楽しんでいただければと思います。



【草刈りの様子！】

各部・各普及所の紹介

農業振興普及部の紹介！

農業振興普及部は、部長の吉田清、副部長の渡邊敏弘、補助事業を主に担当する農業振興課と普及を担当する地域農業推進課、経営支援課の3課体制、総勢25名の体制で業務を行っています。



【農業振興課】

智恵主査、鈴木浩之主査、齋藤正明主査、山口茜主査、新野梓主事、堀越康平主事、田中龍主事です。

【地域農業推進課】新たな地域農業の担い手となる青年農業者等を確保・育成するとともに、人・農地プランを活用した集落営農の推進、加工組織等による6次産業化の推進などにより、地域農業及び農村の振興と活性化に向けた支援を行っています。課長は山田英雄課長です。聞くところではロードバイクレースに参加し、体をいじめながら、アンチエイジングを図っています。補佐するのが遠藤あかり主任主査です。職員は、手塚佐知子主査(作物)、横尾達也主査(作物)、古閑文哉主査(畜産)、齋藤隆副主査(作物)、佐藤一雄専門員(作物)です。また、農地集積を推進する農地中間管理機構の郡山推進拠点として栗城照雄地域マネージャーが在籍しています。



【地域農業推進課(中央:吉田部長)】

【経営支援課】地域を担う認定農業者や企業的経営体を確保・育成し、環境と共生する農業の推進や産地づくり等、

の生産振興と経営安定に向けた支援を行っています。課長は柏木登課長。ふるさと納税受入額福島県一の湯川村から毎日高速通勤をしています。補佐するのが二宮朋子主査(キャップ)です。職員は、木幡栄子主査(果樹)、諸橋武明主査(野菜特産)、吉岡尚技師(野菜特産)、瓜生武司技師(果樹)、長谷川亮介技師(花き)です。その他、緊急時



【経営支援課】

環境モニタリング担当の橋本智恵美さんと臨時職員の村田千絵さんが一緒に仕事をしております。 ※ () 内は担当する専門分野

お知らせ！

『ふくなかすい一つ』消費拡大キャンペーン開催中！ 【企画部】

県中農林事務所では、平成24年から県産農産物を使用して開発を進めてきた「ふくなかすい一つ」※の取組が5年経過し開発した商品数が30品目を超えたことから、一般消費者へ『ふくなかすい一つ』のさらなる知名度向上と県産農産物や6次化商品の消費拡大を目的として、今年度から管内の23事業者の協力を得て、11月末日までの期間、当キャンペーンを展開しております。

※ 県中地域・県内の農産物を使用して県中地域で作られたお菓子の名称。

○第2期応募期間

・平成30年9月1日（土）～11月30日（金）

○応募方法

店頭にある応募用紙に、県中管内の「ふくなかすい一つ」販売店のレシート（合計金額1,000円で1口、1口から応募可能）を貼付し、必要事項を記入の上、県中農林事務所企画部に郵送、または持参してください（当日消印有効）。

抽選で20名に『ふくなかすい一つ』等のお菓子の詰め合わせをプレゼントいたします。

皆様から、たくさんのご応募お待ちしております！！

いただきます！キャンペーン開催中！ 【企画部】

「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーンは、県内の消費者に県産農林水産物の美味しさや安全性をPRし、風評の払拭と農林水産物の消費拡大を推進するため、県中農林事務所主催により実施しているものです。

今年度も、昨年に引き続き、県中地方の「がんばろう ふくしま！」応援店に登録されている常設直売所で買い物をしていただいた方を対象として、「県中地方の特産品が当たるプレゼントキャンペーン」を実施しています。

どなたでも応募できますので、皆様のご応募お待ちしております！！

(1) 第2期応募期間

・平成30年9月1日（土）～11月30日（金）

(2) 応募方法

① 店頭にある応募用チラシに、記載されている直売所のレシート（合計金額1,000円で1口、1口から応募可能。）を貼付、または手持ちの便せん等に必要事項を記入のうえ同封し、県中農林事務所企画部へ郵送してください（当日消印有効）。

② 抽選で20名に3,000円相当の「県中地方特産品詰め合わせ」をプレゼントします。

平成30年度食品表示法研修会

平成27年4月からスタートしました食品表示法も3年が経過しました。
平成29年9月から新たな加工食品の原料原産地表示制度も施行され、より一層食品表示法についての理解を深めて頂くため、農産物の加工グループや簡易な加工を行う個人の方、直売所関係者、直販を行う農業者の方などを対象に食品表示法研修会を開催いたします。

〈日 時〉平成30年11月2日（金）13:30～15:30
（受付13:00～）

〈会 場〉福島県農業総合センター 大会議室
（福島県郡山市日和田町高倉字下中道116番地）

〈対 象 者〉農産物の加工グループや簡易な加工を行う個人の方、直売所関係者等

〈定 員〉30名

〈申込締切〉10月19日（金）

〈研修内容〉（1）品質事項について（原材料名・産地表示など）
（2）衛生事項について（アレルギー・賞味期限など）
（3）保健事項について（栄養表示・機能性表示食品など）
（4）その他

※なお、酒類は説明対象外となっております。

〈申込方法〉裏面の申込用紙に御記入のうえ、FAXでお申し込みください。

〈会場地図〉



〈主催・問合せ先〉

福島県農中農林事務所

企画部 指導調整課（担当：紺野）

電 話：024-935-1303

FAX：024-935-1314

福島県林業祭を開催します！【森林林業部】



2018 第43回 福島県林業祭
10.20±21日 10:00~16:00(土) 9:30~15:30(日) **入場無料**
 ところ **福島県林業研究センター**
 (郡山市安積町成田字西島坂1番地)

開会式
 20日 10:00~
 林業研究センター本館前
 開会式参加者に
 なめたけ大瓶プレゼント
 賞金 **200**円

森林・林業フォーラム
 20日 13:30~ ホテルバーデン
 「森林と水と人のつながり」
 講演/林業アーティスト 鳥居 由佳氏
 (奈良県吉野朝川上村 初代地域おこし協力隊)

併催・関連行事
 ●福島県きのこまつり
 ●森林の仕事ミニガイド
 ●福島県チェーンソー選手権(20日)
 ●林業コンクール等表彰式(20日)

スタンプラリー
 4箇所のポイントを巡って、木製品等が当たる抽選に参加しよう！

森のコンサート
 20日/鹿角アルプホルン倶楽部 21日/加藤葉々子(バイオリン奏者)

林業担い手の主張 21日 12:00
 林業の担い手が思いを叫ぶ！
 賞金による
 プレゼント抽選会開催

来場者プレゼント 21日
 第69回全園樹樹票ロゴ入りバッグをプレゼント
 賞金 **200**円

その他 木工体験、飲食、復興PRコーナー多数！詳しくはホームページで

問合せ先 **福島県 林業振興課** TEL.024-521-7426
<http://www.pref.fukushima.lg.jp/site/ringyosai/>

○開催概要○

福島県林業祭とは…

森林・林業・木材産業の魅力等を感じていただくことを目的に行われているイベントです。

林業祭では、チェーンソーアートショーやきのこ料理試食会、森のオークション、県産品の販売、体験コーナー等、多彩なイベントが行われます。

みなさんのご来場お待ちしております！！

○日時

10月20日(土) 10:00~16:00

10月21日(日) 9:30~15:30

○会場

福島県林業研究センター

(郡山市安積町成田字西島坂1番地)

お問い合わせ先

福島県林業振興課

TEL : 024-521-7426

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/site/ringyosai>

「ふくしま植樹祭」を開催します！ 【森林林業部】

第69回全国植樹祭は、6月10日（日）に天皇、皇后両陛下のご臨席のもと、「育てよう 希望の森を いのちの森を」を大会テーマに、全国はもとより海外からも大勢の参加者の皆さんをお迎えして開催されました。

大成功となった全国植樹祭の理念を継承し、緑の森づくりを一層推進するため、新たに「ふくしま植樹祭」を開催することとなりました。

第1回は、11月4日（日）に南相馬市鹿島区北海老の海岸防災林を会場として開かれ、歌舞伎俳優の市川海老蔵さんも来場する予定で、県内外から約3千人の参加を見込んでおります。10月20日（土）まで県のホームページなどで参加者を募集しております。皆様のご応募をお待ちしております。

募集の概要は下記のURLより「第1回ふくしま植樹祭ホームページ」をご覧ください。

URL: <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36055d/1syokuzusai.html>

○お問い合わせ先○

- ・ふくしま植樹祭事務局 電話：024-933-9666
- ・南相馬市鎮魂復興市民植樹祭実行委員会事務局（南相馬市役所生活環境課内）
電話：0244-24-5231

「ふくしまからチャレンジ！就農フェア」を開催します！

【田村農業普及所】

次代の農業の担い手となる新規就農希望の方々を応援するために、県中地域やその周辺地域で就農を検討している方々を対象に合同相談会を開催します。

これから就農して農業に取り組みたい方、定年を機に農業にチャレンジしたい方、就職・転職先として農業を考えている方など、農業に強い意欲と情熱をお持ちの方々のご来場をお待ちしております！

○日時

平成30年12月2日（日）
10：30～16：00
（予約不要・自由参加）

○場所

福島県農業総合センター
多目的ホール

※就農対象エリア

郡山・田村・須賀川岩瀬・石川・
安達・双葉・いわき地域

※協力機関

就農対象エリアの市町村
・JA等18機関・団体

○お問い合わせ先（主催）

福島県県中農林事務所 田村農業普及所
TEL：0247-62-3113



お問い合わせ先

福島県県中農林事務所 企画部 地域農林企画課
〒963-8540 福島県郡山市麓山一丁目1番1号
TEL (024) 935-1510 / FAX (024) 935-1314
ホームページ <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36220a/>
メールアドレス kikaku.af02@pref.fukushima.lg.jp

県中農林ニュース

第10号(平成30年12月発行)

編集・発行 福島県県中農林事務所



(写真: ASAKAMAI 887)



～ 目 次 ～

○特集：「県中地方のお米」

- 田村市船引町堀越産米『里山のつぶ』を皇室に献上しました！
- 第11回『天栄米』食味コンクールが開催されました！
- FGAP 認証書交付式を開催しました！
- ASAKAMAI 887 発表会 郡山市産最高級コシヒカリ販売開始！

○農林業関係の動き(トピックス)

- 『こおりやま産業博』に出展しました！
- 小野町農作物品評会で見事な『白菜』が県知事賞を受賞しました！
- 菌床しいたけイノベーションセンター竣工式が行われました！
- (株)デンソーハッピーフェスタに出展しました！
- 『森宿地区』の起工式が行われました！
- 『おいしい ふくしま いただきます!』キャンペーン県産農林水産物のPRを行いました！
- 職場研修会を開催しました！

• 内山正勝・ナツ子夫妻の第59回福島県農業賞受賞祝賀会が行われました！

• 平成30年度農事功績表彰者を御紹介します！

○頑張る農業者！！

- 小抜農匠園株式会社 小抜吉平氏

○産地の動き！

- さつまいもの作業機械実演会が開催されました！
- 次世代を担う地域農業先端モデル事業現地検討会を開催しました！

○おいしい6次化商品のご紹介！

- 菓子工房 あくつ屋(田村市)

○各部・各普及所の紹介！

- 今回は農村整備部です。

特集：「県中地方のお米」

県中農林事務所管内は、水稻・野菜を主体とする郡山地域、畜産・野菜・水稻を主体とする田村地域、水稻・畜産・野菜を主体とする須賀川・岩瀬・石川地域の3方面に大別されますが、いずれの地域でも水稻は経営の柱となっています。

管内の耕地面積のうち水田は71.4%、水稻の農業産出額は198億円であり本県全体の3割を占める一大産地となっています。

一方、主食用米の需要量は全国ベースで毎年8万トンずつ減少、また、中食や外食ニーズが3割を超える現状を踏まえ、需要と用途に応じた米づくりと水田のフル活用により産地間競争に打ち勝っていく必要があります。

そのため、県では、「30年以降の福島県水田農業の推進方針」に基づき、水田活用の直接支払交付金を活用した麦、大豆、飼料用米等の生産拡大、地域の特性を生かした園芸作物の導入とともに、本県オリジナル品種による特色ある米づくり、農地利用集積による経営規模の拡大、新技術導入による低コスト化などにより、生産者の所得の向上に取り組んでいるところです。

また、JAや流通団体と連携し、良食味米産地の評価を不動のものとするため、新たに全ての銘柄での食味評価オール特Aの獲得への支援、最上級の品質を目指した新品種開発、需要が伸びている中食、外食を対象とした業務用米の生産拡大など、持続的な水田農業の振興に取り組んでおります。

田村市船引町堀越産米『里山のつぶ』を皇室に献上しました！

【田村農業普及所】

平成30年度の新嘗祭献穀献納者に、田村市船引町堀越地区の佐藤円治氏が選ばれ、新しい県オリジナル品種「里山のつぶ」を献上米として生産しました。

5月の田植え以降、田村農業普及所が栽培管理を支援し、天候にも恵まれたことから順調に生育しました。9月19日（水）には田村市、JA、地元農業法人等関係者立ち会いのもと、古くからの地域の習わしに則り、収穫の儀式である「ぬいほ拔穂祭」が厳かに執り行われました。

刈り取った稲を献納者と関係機関・団体が丹精込めて脱穀・調製し、去る10月22日（月）、献納者ご夫妻と田村市長が献上米を皇居にお届けしました。

田村農業普及所では、今回の良質な献上米生産の活動を生かし、生産者とともに「里山のつぶ」も含めた田村米のブランド力向上に取り組みます。



【「拔穂祭」で関係者による刈り取りの様子】



【献納者による稲穂の奉納の様子】

里山のつぶとは？

「里山のつぶ」は、平成29年にデビューした県オリジナル品種です。

中山間地域向け品種として県が11年の歳月をかけ開発しました。

～「里山のつぶ」の特徴～

1. 栽培適地 標高300m以上。
2. 出穂期・成熟期は「あきたこまち」と比べて2日ほど遅い。
3. 倒伏しにくく、いもち病や低温に強い。
4. 粒が大きい。
5. 食べたときにしっかりとした歯ごたえがあり、適度な粘りも感じることができる。



第11回『天栄米』食味コンクールが開催されました！【須賀川農業普及所】

11月3日（土）に天栄村健康保健センター「へるすぴあ」において、第11回「天栄米」食味コンクールが開催されました。

総出品点数83点のうち、総合部門で12点、品種栽培部門で3点がそれぞれ選ばれ、最終審査の官能審査に進みました。

官能（試食）検査では、食味鑑定士をはじめとする20人の審査員により、総合部門で金賞4点、優秀賞8点、特別栽培部門で金賞1点、優秀賞2点が選ばれました。

また、この金賞5点のうち、3点は、天栄米栽培研究会で栽培されている極良食味米「ゆうだい21」でした。



【受賞者一同による記念写真】

天栄米について

「天栄米」は天栄村産の「コシヒカリ」や「ゆうだい21」などで、「米・食味分析鑑定コンクール国際大会」で2008年より9年連続で金賞を受賞し、「世界一の米」として知られています。

「天栄米」は、「特別栽培米 天栄米」と「漢方環境農法 天栄米」、「鑑定吟味 極献上」の3種類が販売されています。

また、県内唯一本格栽培が始まった新品種「天栄米 ゆうだい21」の初年産米の販売が今月の1日より村内の「道の駅季の里天栄」ではじまりました。

「ゆうだい21」は宇都宮大が2010年に開発した品種で、粒は大きく甘みがあり、もちもちしているお米です。

米・食味分析鑑定コンクールとは？

米・食味鑑定士協会が2000年（平成12年）より行っている“お米のコンクール”です。

2000年ごろ、未だお米の検査と言えば、「等級検査」のみが主流であった頃から、お米の食味にこだわり、また、衰退しつつあった「地方・農業・稲作の復興」を後押しするべく始まったコンクールです。

第1回は100検体に満たない出品数で始まりましたが、今や、総出品数国内最大である「5,600検体以上」を誇り、数多くの自治体との共催により、開催規模、受賞部門等、お米では最大級のコンクールへと成長しました。

第10回コンクールより、国際大会となり、コンクールにて受賞されました皆様は、国内はもとより海外からも高い評価を得ています。

【「米・食味鑑定士協会」（米・食味分析鑑定コンクール）ホームページより】

FGAP認証書交付式を開催しました！【農業振興普及部】

10月19日（金）に、ASAKAMAI 887（アサカマイ・ハチハチナナ）GAP部会がFGAPに認証されました。

これに伴い10月24日（水）に、県中農林事務所内においてFGAP認証書交付式が行われ、桃井所長から遠藤昭夫部会長に認証書が手渡されました。

ASAKAMAI 887は、市内の生産者21名が栽培に取り組み、7つの独自基準【食味値88点以上、タンパク質含量6.1%以下、ふるい目2.0ミリ、整粒歩合80%以上、特別栽培米、エコファーマー認定者、GAP



【FGAP認証書が手渡されました】

Pに取り組みること】の達成を基準としています。基準の一つであるGAPの取り組みでは、施設内の整理・整頓やマニュアルの整備等、多くの御苦労があったそうですが、実際に取り組みを行った生産者からは、「機械や資材の管理が行き届いて使い易くなった」、「今後もより良い農場づくりを進めていきたい」等の感想が聞かれました。

農業振興普及部では、関係機関と連携して安全で美味しい最高級の米づくりを支援するとともに、今後もGAP認証を推進してまいります。

ASAKAMAI 887 発表会 郡山市産最高級コシヒカリ販売開始！

【農業振興普及部】

ASAKAMAI 887 とは、郡山市産コシヒカリの最高級ブランド米です。米作りにかかる 88 の手間と 7 つの独自基準【食味値 88 点以上、タンパク質含有量 6.1% 以下、ふるい目 2.0 ミリ、整粒歩合 80% 以上、特別栽培米、エコファーマー認定者、GAP に取り組むこと】が名称の由来です。

今年、市内の生産者 21 名が「ASAKAMAI 887」栽培に取り組んだ結果、厳しい気象条件にもかかわらず 14 t の米が基準をクリアし、平成 30 年 11 月 28 日、郡山ビューホテルアネックスにて開催された ASAKAMAI 887 発表会で披露されました。

発表会では ASAKAMAI 887 の紹介、生産者の紹介および生産者を代表して遠藤昭夫氏からのあいさつに続き、商品披露後、試食が行われ、元キハチ総料理長鈴木眞雄シェフによる、お米の美味しさを味わえる 3 品のメニューの提供がありました。

参加者からは、「大粒でかめばかむほどまみの広がる美味しい米だ」と好評を得たほか、五つ星お米マイスターの小久保一郎氏からも、「他産地のコシヒカリと比べてコシヒカリのトップになり得るお米、それが ASAKAMAI 887 です」とのコメントをいただきました。



【ASAKAMAI 887 発表会の様子】

ASAKAMAI 887 は、精米したてのおいしさ、鮮度を長期間保てる真空パックを採用し、郡山市産杉材「と・き・め・木」製 3 合拵入り（450g）が税込み 1,500 円で、郡山駅西口駅前広場のトレーラーハウスで 12 月 7 日から 16 日まで 10 日間の期間限定でモニター販売が行われます。

お問い合わせは、こおりやま食のブランド推進協議会事務局（郡山市園芸畜産振興課内 TEL024-924-3761）までお願いします。

また、JA 福島さくら郡山地区本部営農経済部（024-921-0527）で注文を受け付けております。業務用販売についてのお問い合わせも JA までお願いします。



【市長、JA 組合長、生産者、ミス郡山による商品披露】



【商品内容と風呂敷 3 個包み(5,000 円)】

農林業関係の動き（トピックス）

『こおりやま産業博』に出展しました！ 【企画部】

10月5日（金）～7日（日）に郡山市のビッグパレットふくしまで開催された「こおりやま産業博-KORIYAMA EXPO2018-」に出展しました。

産業博には205の企業や団体が出展し、企業による様々な産業の紹介や食と特産品の即売が行われました。

県中農林事務所では、県中地方・地域産業6次化ネットワーク会員の6事業者が、屋内3ブース、屋外2ブースに出展し、6次化商品の試食・販売・PRを行いました。出展した各ブースでは、商品の説明や試食・販売・商談など、訪れたお客様への対応で賑わい、商品が完売したブースもありました。



【6次化ネットワークのブースの様子】



【まえだ養蜂】



【東日本薬草合同会社】



【株式会社 阿部農縁】



【薄井農園とネモト物産】

小野町農作物品評会で見事な『白菜』が県知事賞を受賞しました！

【田村農業普及所】

「平成30年度小野町農作物品評会」が、10月27日（土）～28日（日）に小野運動公園町民体育館で開催されました。

本品評会は、優良な農作物の供給地として発展するため、小野町が各種施策を展開している中で実施しており、生産者の意識高揚を図ること、消費者と生産者の相互理解を深めることを目的としています。

今年度は、園芸作物を中心に99点が出品されました。

厳正な審査の結果、福島県知事賞1点を始めとする各賞が選定され、福島県知事賞に吉田義貞氏生産の白菜が受賞しました。

表彰式では、審査長である田村農業普及所の菅野所長より、「いずれの出品物も

甲乙つけがたく、審査には苦慮した。

この度の品評会を通じて、小野町生産者の農業に対する強い想いと農産物に対する愛情が伝わってきた。」と審査を講評し、知事賞を伝達しました。



【表彰式での知事賞伝達の様子】



【知事賞受賞の見事な「白菜」】

『菌床しいたけイノベーションセンター』竣工式が行われました！

【森林林業部】

10月31日（水）、郡山市日和田町において、JA全農福島が整備した菌床しいたけイノベーションセンター竣工式が行われました。

同センターは、「高品質・高収量の栽培技術の確立と普及」、「菌床の製造・供給」、「新規栽培希望者・後継者育成のため実習受入」などを進め、県内きのこ生産者の所得向上と生産基盤拡大を図る目的で設置されました。

【テープカットの様子】

JA全農福島は、当センターの稼働と併せて通年販売できる菌床しいたけ栽培を目的とした施設貸付事業も実施しており、いまだ震災・原発事故前の7割にとどまっている生しいたけの取扱量の拡大と安定した出荷、価格の向上が期待されています。



『(株)デンソー本社ハッピーフェスタ』に出展しました！ 【企画部】

11月3日（土）～4日（日）、愛知県刈谷市に本社を置く株式会社デンソーが主催するデンソーハッピーフェスタに出展しました。

フェスタには、デンソー福島工場が立地している田村市とともに田村市産の特産品や加工品と県中地方の農産物や6次化商品をPRしました。

ブースには、本県出身の社員等をはじめ、多くの近隣住民が訪れ、地元では購入できない数々の商品をお買い求めいただきました。

また、本県からは、農産物流通課による新米や名古屋事務所による日本酒のPRも行われました。



【県中地方特産品PRの様子】



【新米（天のつぶ）PRの様子】



【田村市特産品・日本酒PRの様子】

『森宿地区』の起工式が行われました！ 【農村整備部】

平成29年度に採択された、農村地域復興再生基盤総合整備事業（農地整備事業（経営体育成型））「森宿地区」の起工式が、11月9日（金）、須賀川市森宿字糶山地内において、地元関係者や須賀川市長、須賀川市土地改良区理事長、県中農林事務所長、工事関係者など、約40名が出席し執り行われました。

本地区の総事業費は12億4千4百万円で、平成35年度までの7年間で70.5haの農地を整備する予定で、ほ場の大区画化に合わせて、用排水路及び農道等の整備を行うものです。

事業実施により担い手への農地利用集積を図り、経営規模拡大等による農業経営の安定化が図られることとなります。



【鍬入れの儀】



【桃井県中農林事務所長挨拶】

『おいしい ふくしま いただきます！』キャンペーン県中地方第4回 県産農林水産物PRを行いました！ 【企画部】

当キャンペーンは、管内4方部において、県産農林水産物の美味しさや魅力など消費者に直接PRを行い、消費拡大と地産地消の推進目的に開催しています。

第4回キャンペーンは、11月11日（日）田村市のリオンドール船引店において、県産米をテーマに開催しました。今回は、県オリジナル水稲品種の「天のつぶ」と「里山のつぶ」を来場者に試食していただきました。



【新米の試食の様子】



【キャンペーンの様子】

「うつくしまライシーホワイト」の渡邊麻美さんから県産米のPRしてもらったほか、店内で炊飯した新米を一口大の「おにぎり」にして来場者へ手渡し食べ比べていただいたところ、「天のつぶの旨みを感じた」（65%）、「里山のつぶの旨みを感じた」（64%）、「天のつぶ・里山のつぶの粒の大きさや適度な粘りを感じた」、「天のつぶを初めて試食し美味しいので、定期的に購入する」等、9割以上の方から肯定的な感想をいただきました。

また、試食と併せて、県産農林水産物購入頻度等のアンケートを行い、「天のつぶ」または「里山のつぶ」の新米300gパックを300名にプレゼントしました。

試食した子供たちからも、「おいしい！」との声が聞かれるなど、賑やかなキャンペーンとなりました。

職場研修会を開催しました！

県中農林事務所の職員を対象とした職場研修会を、10月15日（月）、11月21日（水）に行いました。

第1回研修会は、荒涼とした安積原野を実りの土地へ、そして現在の郡山市の農業発展の礎になった「世界かんがい施設遺産」安積疏水関連施設の「十六橋水門」、「上戸取水口」、「熱海頭首工」などの施設で行いました。第2回は、田村市都路町古道地内の大規模広葉樹林実証事業地内において、震災・原発事故以前に全国一のしいたけ原木生産量で誇っていた、田村地方のしいたけ原木林再生の可能性を考える目的で行いました。



【安積疎水十六橋水門】



【都路地区の現地調査】

内山正勝・ナツ子夫妻の第59回福島県農業賞受賞祝賀会が行われました！ 【須賀川農業普及所】

11月17日（土）、グランシア須賀川（須賀川市）において、天栄村で水稻栽培を営む内山正勝・ナツ子夫妻の第59回福島県農業賞（経営改善部門）受賞祝賀会が開催されました。

祝賀会は、天栄村認定農業者会が発起人となり、村内の農業者をはじめ、関係機関・団体職員など多くの関係者約150人が出席して、内山夫妻の受賞を盛大にお祝いしました。



【祝賀会の様子】

平成30年度農事功績表彰者を御紹介します！ 【企画部】

公益社団法人大日本農会が主催する平成30年度の農事功績者表彰、田村市都路町の吉田修一さんが緑白綬有功章を受章されました。

吉田さんは、昭和58年にトマトのビニールハウス栽培を開始し、栽培技術の確立などを通して経営改善に努められ、震災・原発事故後にあつては、いち早く営農を再開し、一時避難指示区域となった都路地区の農業の復興を牽引されました。

また、県の指導農業士として若手の育成に貢献し、ほ場整備事業では工事委員会副会長として農地集積にも取り組まれました。

これらの功績により、今年度、福島県からただ一人の受章者として、11月14日（水）に東京都の石垣記念ホールにおいて、大日本農会の総裁である、秋篠宮親王殿下下御臨席のもとに行われた表彰式において、賞章を授与されました。

11月22日（木）に、吉田さんが受章の報告のため、県中農林事務所を訪問されましたので、御紹介いたします。



【吉田修一さん（中央）】

頑張る農業者！！



『小抜農匠園株式会社』小抜 吉平氏（須賀川市）

小抜さんは、水稻、露地野菜の複合経営を確立し、安定的な農業所得確保のため独自の販路開拓に努めてきました。また、エコファーマー認定も取得し、環境に配慮した農業を実践しています。

平成25年には、小抜農匠園株式会社を設立し、高低差が大きく条件が悪い農地を率先して引き受けるなど、地域の中心的な経営体として活躍されています。

また、今年度より、密苗、リモートセンシングと可変施肥、水管理システム等を実証する「ふくしまアグリイノベーション実証事業」に協力頂くなど、先進技術の導入にも積極的です。

さらには、幼稚園の園児へバケツ稲やジャガイモの植え付け、収穫作業体験など、食育活動も積極的に取り組んでおられます。

このような数々の活動が認められて、平成30年度の須賀川市農業賞を受賞されました。



【小抜 吉平氏】

産地の動き！

さつまいもの作業機械実演会が開催されました！【田村農業普及所】

10月18日（木）に、田村市常葉町で「NPO 法人うつくしま・ふくしま農産物普及協議会」が、さつまいもの作業機械実演会を開催しました。

当日は、機械メーカーによる畝立てから収穫までの機械作業の実演が行われ、さつまいも生産者からは、『作業の効率性や省力化に感心した』などの感想が多数寄せられました。

現在、田村地域では、さつまいも（紅はるか）が約140a（生産者4名）ほど作付けされています。

今後、遊休農地を有効活用できる品目として、作付け拡大が期待できます。

田村農業普及所では、引き続き、栽培技術等に関する相談や各種支援を行っていきます。



【さつまいもの掘上げ作業実演の様子】



【さつまいもの収穫作業実演の様子】

次世代を担う地域農業先端モデル事業の現地検討会を開催しました！ 【農業振興普及部】

10月29日（月）に、郡山市西田町鬼生田地区において、「攻めの農業技術革新郡山地域協議会」による、次世代を担う地域農業先端モデル実証ほの現地検討会を行いました。

この実証では、高性能収穫機械等の導入による作業の効率化を進め、経営規模の拡大を目指し郡山地域においては、サツマイモ栽培の機械化体系を実証しています。

5月に定植したサツマイモが収穫期を迎えたことから、労働負担を軽減する技術として、かんしょ収穫機による収穫作業の実証を行いました。

実証農家からは、「座ったままで作業できるのはとても楽で良い」などの感想が聞かれました。

この後も収穫作業を進めた結果、1週間程で1haのほ場のサツマイモを収穫することができました。

農業振興普及部では、この実証結果を踏まえて大規模栽培の取り組みや遊休農地等の解消を推進していきます。



【収穫機械による現地検討会の様子】



～ おいしい6次化商品のご紹介 ～



ふくなか すいーつ

○菓子工房あくつ屋○

今回は、県中地方地域産業6次化ネットワーク会員で、田村市役所前で営業されている、大正十二年創業の伝統ある和洋菓子店『菓子工房あくつ屋』様を紹介いたします。

売れ筋は、お土産等にも最適な地元産“えごま”入りお菓子の各種！

中でも一番のオススメは、甘さ控えめの“こし餡”を、地元特産品の“えごま”を練り込んだ皮で包んで揚げた『かりんとう饅頭』！！

最中の皮の中に、“えごま”を入れたラング・ド・シャ（※）のような生地を載せて焼いたサクサク軽い口溶けの良い「えごま大好き」というお菓子もオススメです。

また、やまぶどうを使用した羊羹、洋菓子も美味しいです！

ご紹介した「菓子工房あくつ屋」様は、今年度の「ふくなかすいーつ消費拡大キャンペーン」を展開していただいた事業者でもあります。

（※）細長い独特の形をしたクッキーまたはビスケット。フランス語で「猫の舌」という意味。



お問い合わせ先

- 名 称：菓子工房 あくつ屋
- 住 所：〒963-4312
田村市船引町船引字畑添 96-1
- 電 話：0247-82-0223
- 営業時間：8：00～19：00
定休日：第1、第3日曜日（代休あり）



各部・各普及所の紹介

農村整備部の紹介！

農村整備部は、部長、副部長をはじめ農地計画課 11名、農村整備課 18名の2課31名体制で業務を行っています。
それでは、各課の業務内容についてご紹介します。

～農地計画課～

主に調査計画に関する業務と用地関係に関する業務の2つに分かれています。

まず、調査計画に関する業務は、①農地の大区画化を図るほ場整備事業や老朽化した水路や頭首工、農業集落排水施設などの補修や更新を行うストックマネジメント事業など多岐にわたる農業農村整備事業の調査計画、②多面的機能支払交付金やため池放射性物質対策、③農業用水の水利権更新や地籍調査などがあります。

次に、用地関係に関する業務は、①農業農村整備事業実施に係る用地取得及び補償業務、登記事務、②ほ場整備に伴う換地及び農地集積業務、③土地改良財産の管理及び処分、砂利採取の許可などがあります。



【ほ場整備事業に関する説明会の様子】

～農村整備課～

農村整備課では、農地計画課で実施・支援している調査計画を基に各事業内容に沿った農業土木工事を実施する業務と災害復旧に関する業務を行っています。

農業土木工事では、工事に要する費用を算出し、工事の内容・留意点が記された設計書を作成する発注業務、工事全体の進捗や構造物が適正に施工されているか工事現場全体を管理する現場監督員業務です。

災害復旧では、地震、大雨等で被災した農地や農道、水路などの農業用施設復旧のための業務を行っています。



【工事現場の確認立会の様子】



お問い合わせ先

- 福島県農中農林事務所 企画部 地域農林企画課
〒963-8540 福島県郡山市麓山一丁目1番1号
TEL (024) 935-1510 / FAX (024) 935-1314
- ホームページ <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36220a/>
- メールアドレス kikaku.af02@pref.fukushima.lg.jp

ふくしまから はじめよう。「食」と「ふるさと」新生運動ニュース

県中農林ニュース

第 11 号 (平成 31 年 2 月発行)

編集・発行 福島県県中農林事務所



写真：いちご、菌床しいたけ、寒締めほうれん草、ニラ

○特集

- ・県中地方の農業生産基盤の整備と多面的機能の発揮について
- ・県中地方の森林整備と多面的機能の発揮について

○農林業関係の動き

- ・小山忠義・忍御夫妻の第 59 回福島県農業賞受賞を祝う祝賀会が行われました！
- ・渡邊広・竜子御夫妻の第 59 回福島県農業賞受賞を祝う祝賀会が行われました！
- ・ふくしまからチャレンジ！ 就農フェアを開催しました！
- ・ピーマン栽培 30 周年記念式典が開催されました！
- ・平成 30 年度第 2 回県中地方・地域産業 6 次化ネットワーク交流会、第 1 回県中地方・地域特産品創出クラスター分科会を開催しました！
- ・平成 30 年度第 2 回県中地方・特産品創出クラスター分科会（6 次化商品成果品発表）を開催しました！
- ・「おいしい ふくしまいただきます！」キャンペーン県中地方特産品プレゼント及び「ふくなかすいっつ」消費拡大キャンペーンふくなかすいっつプレゼントキャンペーンの第 2 期抽選会を開催しました！

- ・平成 30 年度ふくしまから はじめよう。攻めの農業革新技术推進セミナー～「シャインマスカット」について考える～を開催しました！
- ・「畑の学校」で育てた野菜の収穫と豚汁づくりを行いました！
- ・田村森林組合が合併 30 周年を迎えました！
- ・平成 31 年「農始式」が開催されました！
- ・田村市で木質バイオマス発電所の安全祈願祭が行われました！

○頑張る農業者

有限会社 武田ファーム（郡山市）

○郡山の米、田村のピーマン、岩瀬のきゅうり 今年的一年

- ・平成 30 年産お米について
- ・平成 30 年産田村地域のピーマン生産について
- ・平成 30 年度の須賀川農業普及所におけるきゅうり振興について

○6 次化商品の紹介

- ・安積野菓子処 平田屋

○各部・各普及所の紹介

- ・総務部
- ・森林林業部
- ・田村農業普及所
- ・須賀川農業普及所

特集

① 農業・農村の多面的機能について

～農業・農村の多面的機能とは？～

「国土の保全、水源のかん養、自然の環境保全、良好な景観の形成、文化の伝承及び、農村で農業生産活動が行われることにより生じる、食料その他の農産物の供給」などのことで、その機能の効果は、その地域に暮らす県民の皆さんも享受しています。

例えば

農地では…農業用水や雨水の一部が水田や畑に浸透して流域の地下水となり、下流域では、かん養された良質な地下水が生活用水等に利用されています。

水田では…雨水を一時的に貯蔵することができ、徐々に下流に流すことにより、洪水の発生を防止・軽減することができます。また、水田に張られた水により雨や風から土壌を守る役割もしています。

農地はこのほかにも、水田や畑の植物や昆虫、動物等の豊かな生態系の保護にも大きな役割を果たしています。

② 森林の多面的機能について

～森林の多面的機能とは？～

「木材などの物質生産並びに、生物多様性の保全、土砂災害の防止、水源かん養、保健休養の場の提供などの多面にわたる機能」のことで、私たちの生活に大きく貢献しています。

例えば

生物多様性保全

森林は、樹木や草、コケなどの植物や、菌類、土壌微生物、昆虫、鳥、爬虫類、哺乳類など様々な生き物の生息・育成の場となっており、このような生態系や生物種、遺伝子を保全する機能を持っています。

土砂災害の防止

樹木や草本が地面を覆い、その根が土壌を抑えることにより雨による土壌の流出や、土砂崩れなどを防止しています。

県中地方の農業生産基盤の整備と多面的機能の発揮について
【農村整備部】

○農村整備部では、本年度農業農村整備事業により県営事業 24 地区約 33 億円、団体営事業 6 地区約 1 億 4 千万円の事業、計 30 地区約 34 億円の事業を実施しています。

特に、ほ場整備事業については農業生産経費の削減による収益力の増加と将来の農業生産を担う効率的で安定した経営体（担い手）を育成のため 10 地区約 440ha の事業を実施しています。

担い手が地域に根ざした経営が出来るよう関係者一同、早期事業完了を目指しています。

【主な事業】

単位：千円、%

事業名	総事業費	平成 30 年度予算	進捗率
復興基盤整備事業 (水利施設整備事業)	1,210,000	280,000	71.2
復興基盤整備事業 (農地整備事業)	7,993,000	1,532,000	57.5
復興基盤整備事業 (農地防災事業)	3,582,433	700,000	79.8
復興基盤整備事業 (中山間地域総合整備事業)	1,772,600	223,000	73.7
復興基盤総合整備事業 (ほ場整備事業)	3,342,000	339,000	11.6



【整備されたほ場堀之内地区】



【大型コンバインによる刈取状況：堀之内地区】

○農業・農村は良好な環境を形成するための多面的機能を有しており、その利益は広く国民全体に享受されています。

しかしながら、近年は過疎・高齢化などのため地域の共同活動が低調となり、農用地、水路、農道等の地域資源の保全管理に対する負担増が問題となっています。

このため、農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るための地域の共同活動を支援するため多面的機能支払交付金制度が平成 27 年度からスタートしました。

平成 30 年度現在、管内 12 市町村において 383 の活動組織が共同活動に取り組んでいます。対象となる農用地面積は 17,500ha、交付金額は 784 百万円に及びます。

県中農林事務所農地計画課では各市町村の担当部局と協力しながら、それぞれの活動組織がはつらつと活発に活動出来るよう引き続き支援していきます。



【「ふくしまむらの輝き 2017」写真コンテスト入選作品 「輝くむらの春」】

撮影者：郡山市 佐藤源策さん 撮影地：三春町沼澤地内



県中地方の森林整備と多面的機能の発揮について

【森林林業部】

県中農林事務所管内の私有林面積は95千haで、人工林率（森林面積に占める人工林面積の割合）は47%と県平均の35%を大きく上回っていますが、これらの人工林のうち約4割が間伐対象の林齢となっています。

森林は、水源かん養、地球温暖化や土砂災害の防止などの多面的機能を持っており、それらを高度に発揮させるためには間伐等の森林整備が不可欠ですが、原発事故の影響により停滞しているため、県では以下のとおり各種事業により適正な森林整備を推進しています。

今後も、森林の持つ多面的機能の発揮に向けて各種支援に取り組んで参りますので、皆様のご理解とご協力をお願いします。

区 分		平成 30 年度計画
森林整備	一般造林事業	約 570ha
	森林環境基金森林整備事業	約 160ha
	ふくしま森林再生事業	約 430ha（作業道：約 81,000m）
路網整備	森林管理道整備事業	1 路線、延長：約 400m
	林業専用道整備事業	7 路線、延長：約 3,700m
	森林整備促進路網整備事業	5 路線、延長：約 4,500m



【森林整備施工前】



【森林整備施工後】

農林業関係の動き

小山忠義・忍御夫妻の第59回福島県農業賞受賞を祝う祝賀会が行われました！ 【農業振興普及部】

12月1日（土）、郡山市湖南町で水稻・野菜の複合経営を営む小山忠義・忍御夫妻の第59回福島県農業賞受賞を祝う祝賀会が、郡山ビューホテルアネックス（郡山市）において開催されました。

祝賀会では、根本匠厚生労働大臣、品川萬里郡山市長、桃井栄一県中農林事務所長らが祝辞を述べ、小山さん御夫妻の栄誉をたたえました。

会場には、渡邊守久さんを代表とした発起人の他、地域の生産者・関係機関など多数の関係者が出席し、小山さん御夫妻の受賞を盛大にお祝いいたしました。

お祝いを受けた小山さん御夫妻は、「受賞を機に、より一層農業を通じた地域貢献に励みたい」との決意を述べられました。



【祝賀会の様子】

渡邊広・竜子御夫妻の第59回福島県農業賞受賞を祝う祝賀会が行われました！ 【森林林業部、田村農業普及所】

12月8日（土）、田村市常葉町で菌床しいたけの栽培を営む渡邊広・竜子御夫妻の第59回福島県農業賞受賞（農業経営改善部門）を祝う祝賀会が迎賓館辰巳屋（田村市）において開催されました。

祝賀会は、田村市常葉町認定農業者会が発起人となり、田村市常葉町の農業者やきのこ生産者、関係機関・団体職員など多数の関係者が出席し、渡邊御夫妻の受賞を盛大にお祝いしました。

渡邊氏は、平成15年から山間高冷地でも通年で生産・販売ができ、効率よく収量の安定が期待できる菌床しいたけ栽培を始められました。

新技術の導入やコスト低減への工夫、収量向上技術の考案などの取組、さらに田村地域でもいち早くJGAP認証を取得し、安全安心の生産を実践されています。

また、就農のための研修生や農業体験の受け入れを積極的に行い、椎茸の生産性向上や農業の魅力伝達に取り組むとともに、イベント等で地場製品のPR活動を行うなど、多大な地域貢献もされています。

「安心安全への取組みにより得られた信頼をさらに深め『最強の福島』を目指す」と抱負を語られました。



【挨拶をする渡邊御夫妻】

ふくしまからチャレンジ！ 就農フェアを開催しました！ 【田村農業普及所】

12月2日（日）、郡山市の県農業総合センターにおいて、県内外の新規就農希望者の掘り起こしを目的とした「ふくしまからチャレンジ！ 就農フェア」を開催しました。

フェアには、県北、県中、双葉、いわき地域の市町村や農業団体、農業法人など20ブースが出展し、47組60名の来場者と就農に向けた相談を行いました。同会場では就農セミナーも開催し、先輩若手農業者2名から就農体験談などをお話いただきました。聴講者は熱心に聞き入り、就農に向けた具体的な質問も出されていました。

今後も新規就農者の確保のため、来場者をはじめとした新規就農希望者の相談・支援を関係機関・団体と連携して行ってまいります。



【就農相談の様子】



【就農セミナーの様子】

ピーマン栽培 30 周年記念式典が開催されました！ 【田村農業普及所】

田村地域ではピーマン栽培が始まり 30 年を迎え、生産者や歴代部会長、関係機関・団体等計 117 名参集のもと、12月5日（水）～6日（木）に、栃木県湯西川温泉にて、ピーマン導入 30 周年記念式典が開催されました。普及所では、これまでに、JA 営農指導員と一体となり、作付者の掘り起こしや栽培技術支援を行ってきました。

補助事業により、選別機、集出荷施設、予冷庫の拡充整備を進め、ピーマン生産基盤の構築を図ってきました。

これらの普及活動及び関係機関・団体の努力が、現在、県内1の生産量を誇る「たむらのピーマン」を作り上げ、栽培開始 30 周年を迎えることができました。

これからは、さらなる高齢化、担い手不足が想定されます。普及所としては、ソーラー自動灌水システム等の省力化技術を継続して推進するとともに、新規就農相談会の開催、新規就農希望者や定年帰農者等に対する経営・栽培に関する提案や助言を行い、担い手の確保・育成を支援してまいります。



【写真：30周年記念式典の様子】

平成30年度第2回県中地方・地域産業6次化ネットワーク交流会、及び第1回県中地方・地域特産品創出クラスター分科会を開催しました！

【企画部】

12月7日（金）、郡山合同庁舎第1会議室において、地域産業6次化ネットワーク会員の知識・商品力の向上と事業者間の交流及びマッチングを図るため、第2回ネットワーク交流会を開催しました。

併せて、地域特産品創出クラスター分科会を同時開催し、開発を進めている県中地方の農林水産物を使用した6次化商品の試作品について、紹介や試食・グループワークを実施しました。

当日は、28名の参加者があり、1部では、講師のトラックスアンドストアーズ株式会社西尾望代表取締役より、「売るための『デザイン&言葉』を考える実践講座」と題してご講演をいただきました。続く2部では、6次化ネットワーク会員より提供された3試作品について説明を受け、グループごとにその商品名やフレーズを考案して発表し、講師からアドバイスや講評をいただきました。活発な議論がなされ、商品の成果品発表に向け大変参考となりました。

※県中地方の1次（生産）・2次（加工）・3次（サービス）の各事業者が、それぞれが持つ強みを生かして連携し、商品に新たな付加価値を加え、連携者の所得向上と地域経済の活性化を目指す組織（平成31年1月現在会員数：366名）



【交流会の様子】



【交流会の様子】

平成30年度第2回県中地方・地域特産品創出クラスター分科会（6次化商品成果発表）を開催しました！

【企画部】

1月30日（水）、県郡山合同庁舎において、今年度2回目となる県中地方・地域特産品創出クラスター分科会を開催しました。

県中地方・地域産業6次化ネットワーク会員^{※1}の3事業が今年度、開発を進めてきた5商品を発表しました。

3事業者より、開発コンセプトや商品の特徴、開発にあたって苦労した点などを説明いただき、出席者による試食後、6次化イノベーターから講評を受けました。

分科会後半では、「地域の豊かな資源を活かした6次産業化の事例」と「展示会・商談会での魅力的なブース演出」と題し、2人のイノベーターより、それぞれ講演をいただきました。参加者にとって大いに役立つ内容でした。

※1 県中地方の1次（生産）・2次（加工）・3次（サービス）の各事業者が、それぞれが持つ強みを生かして連携し、商品に新たな付加価値を加え、連携者の所得向上と地域経済の活性化を目指す組織（平成31年1月現在会員数：366名）



【平成30年度成果品】



【クラスター分科会の様子】

「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーン県中地方特産品プレゼント、及び「ふくなかす一つ」消費拡大キャンペーンふくなかす一つプレゼントキャンペーンの第2期抽選会を開催しました！
【企画部】

今年度の「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーン県中地方特産品プレゼントは、消費者の皆様へ、県産農林水産物の魅力をPRし、県産農林水産物の消費拡大と地産地消を促進するため、県中地方の「がんばろう ふくしま！」応援店に登録されている26常設直売所における購買者を対象としたキャンペーンです。

また、「ふくなかす一つ」消費拡大キャンペーンは、平成24年度から県産農林水産物を使用して開発を進めてきた「ふくなかす一つ」※の商品数が30品目を超えたことから、一般消費者への「ふくなかす一つ」のさらなる知名度向上と県産農産物を使用したお菓子の消費拡大を推進するため、「ふくなかす一つ」を製造・販売している25店舗における購買者を対象とした企画です。

両キャンペーンとも、12月12日（水）、郡山合同庁舎第4会議室において抽選会を開催し、桃井栄一県中農林事務所長のくじ引きにより、20名ずつの当選者を決定しました。「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーンのプレゼント内容は、郡山市産のりんご、田村市産の乾燥しいたけ、平田村の農産物を使ったお菓子、古殿町の味噌など「県中地方特産品詰合せ（3,000円相当）」、「ふくなかす一つ」キャンペーンでは、協力店より厳選した16種類のお菓子の詰合せ（3,000円相当）です。



【いただきます！キャンペーン抽選会の様子】



【ふくなかす一つキャンペーン抽選会の様子】

ご応募いただきました直売所・スイーツファンの皆様、ありがとうございました！

当選者の発表は、プレゼントの発送をもって代えさせていただきました。

※「ふくなかす一つ」とは、県中地方や福島県の農林水産物を使用して県中地方でつくられたお菓子の名称です。

※いただきます！キャンペーン応募総数（Ⅰ・Ⅱ期合計） 応募者数 372名 応募口数 2533口

※ふくなかす一つキャンペーン応募総数（Ⅰ・Ⅱ期合計） 応募者数 162名 応募口数 325口



【プレゼントの内容 左：いただきます！キャンペーン、右：ふくなかす一つキャンペーン】

**平成30年度ふくしまから はじめよう。攻めの農業革新技術推進
セミナー ～「シャインマスカット」について考える～を開催しました！
【農業振興普及部】**

12月19日(水)、JA福島さくら郡山喜久田総合支店会議室において、平成30年度「ふくしまから はじめよう。攻めの農業革新技術推進セミナー」を開催しました。

郡山市熱海町では、ナシ、ぶどう、水稻の出荷・調製作業の労働力の競合を軽減させ、販売物のない冬季に販売することで販売単価を向上させることを目的とし、ふくしまから はじめよう。攻めの農業技術革新事業でぶどう「シャインマスカット」の有色の果実袋による収穫期延長技術と冷蔵貯蔵技術を組み合わせ合わせた長期出荷技術の実証を行っています。

当日は、管内のぶどう生産者他33名が参加し、農業振興普及部から、「ふくしまから はじめよう。攻めの農業技術革新事業実証ほ」の実績について説明しました。その後、JAふくしま未来保原ぶどう部会部会長、副部会長、JA福島さくら郡山地区ぶどう部会部会長をパネラーとし、「シャインマスカット」の栽培技術等についてパネルディスカッションを行いました。

実証ほ園主からは、実証技術により労働力の一極集中が解消され、効率的に作業が行うことができたことにより、労働時間が3分の2になり、さらに、冬季に高単価で販売することができたことで、所得の向上が図られたと説明がありました。また、パネルディスカッションでは意見交換が行われました。



【セミナーの様子】

**「畑の学校」で育てた野菜の収穫と豚汁づくりを行いました！
【農村整備部】**

今年度は、田村市の福島県立たむら支援学校において「畑の学校」に取り組んでいます。

秋に、学校近くの畑で大根・白菜・人参の種まきを行い、成長した野菜を、12月11日(火)に収穫作業、13日(木)には、収穫した野菜を使用した豚汁作りを行いました。豚汁は給食と一緒に食べましたが、児童・生徒達は豚汁をおかわりしながら美味しそうに食べていました。

児童・生徒達が、「畑の学校」における種まきから収穫に至るまでの体験活動は、食の大切さや農作業の大変さなどを学ぶことができたとても良い機会となったことでしょう。



【収穫した野菜で作った豚汁食べている様子】



【大根の収穫の様子】

田村森林組合が合併 30 周年を迎えました！ 【森林林業部】

田村森林組合合併 30 周年記念式典が、1 月 7 日（火）、国会議員、県、市、林業関係団体、森林組合関係者など約 130 名の出席の下、田村市船引町で盛大に開催されました。

昭和 64 年 1 月に、船引町森林組合、常葉町森林組合が合併し、船引町、常葉町のほかに三春町を加えたエリアを管轄する田村森林組合が誕生し、この度、30 周年を迎えました。

当組合は、組合員数 4,306 名、組合員森林所有面積 11,327 h a で、誕生以来、地域森林資源の維持管理及び森林資源の活用による組合員の経済的・社会的地位の向上に取り組んできました。平成 9 年には、田村材のブランド化と産地形成を図るため、「ウッドミル田村」田村材加工センターの運用を開始、平成 29 年には、持続可能な森林経営を示す第三者認証（SGEC 森林認証）を取得、また、製材 J A S 工場認定を取得するなど、地域の森林づくりと地域材の活用に大きく貢献しています。

式典において矢吹盛一代表理事組合長は、「平成から次の時代へ「人も森も活かして、地域力」を掲げ、森林の潜在力を最大限に活用できる地域森林の担い手として活動していく。」と決意を表明しました。

県中農林事務所からは桃井栄一県中農林事務所長が出席者し、「今後とも、本県森林・林業の復興・再生をけん引していただきたい。」と祝辞を述べました。



【田村森林組合 合併 30 周年記念式典集合写真】

平成31年「農始式」が開催されました！

【農業振興普及部】

1月11日(金)に郡山市田村町金沢において、郡山農業青年会議所、郡山ブランド野菜協議会、NPO 法人郡山農学校の3団体の主催で、農始式が開催されました。

式には、各団体の会員が出席し、来賓として県、郡山市、県議会、市議会、郡山商工会議所などが招かれました。

式では、仏事により出席者全員で農業復興・五穀豊穰を祈願した後に主催者の挨拶と県中農林事務所桃井所長ら出席した来賓からの祝辞がありました。また、新年を祝う詩吟が披露されるなど、和やかな雰囲気の中で式が行われました。

平成31年の郡山市農業が安全・豊作であることを祈念いたします。



【平成31年「農始式」の様子（郡山市田村町金沢）】

田村市で木質バイオマス発電所の安全祈願祭が行われました！

【森林林業部】

1月15日(火)田村市大越町の産業団地において、田村木質バイオマス発電所の安全祈願祭が執り行われ、関係者が鍬入れや玉串奉奠などを行い、工事の安全を祈願しました。

施工主である発電事業者は、再生可能エネルギー事業などを手掛ける(株)タケエイ（東京都）が田村市に設立した(株)田村バイオマスエナジーで、発電所の最大出力は7,100キロワットと一般家庭1万5千世帯の年間消費電力に相当し、燃料となる木質チップは、地域の木材業者やチップ生産者等を中心に調達する計画です。

田村市では、地域資源を活用した再生可能エネルギーの推進と地場産業の振興による雇用創出を目指し、発電事業者と企業立地協定を締結してプロジェクトを進めてきました。

本格稼働は2020年の春を予定しており、今後、未利用間伐材の新たな需要が生まれることで、地域の林業・木材産業が活性化し、森林の再生が加速化していくものと期待されています。



【鍬入れを行う(株)田村バイオマスエナジーの小檜山代表取締役社長】

頑張る農業者等を紹介

～有限会社武田ファーム 武田晃一氏～

郡山市阿久津町の有限会社武田ファーム代表取締役である武田晃一さんは、先代から黒毛和種肥育を引き継ぎ、原子力災害にも負けず、御家族で一致団結して地域でも有数の飼養頭数まで規模を拡大しています。また、「采女牛を育てる会」会長として、郡山市の黒毛和種最高級ブランド「うねめ牛」を展開するなど、地域農業の振興に尽力されています。

常にきめ細かく牛を観察し、1頭1頭愛情を込めて牛を育てることから、武田さんが育てた牛のほとんどが最高級の牛肉との評価を得ています。その技術は折紙つきで、肥育農家はその腕を競う全国レベルの枝肉共励会において、過去3度最優秀賞を受賞されています。

一方で、県立農業短大生の長期研修の受入れなど、地域の畜産を志す若手農業者の育成にも力をいれておられ、平成29年度には指導農業士として認定されました。今後も郡山市農業の指導的立場を担う人物として更なる活躍が期待されています。



【有限会社武田ファーム 武田晃一氏】



郡山の米、田村のピーマン、岩瀬のキュウリ 今年的一年

平成 30 年産お米について

【農業振興普及部】

平成 31 年の米づくりが間もなく始まります。栽培計画の作成に向けて平成 30 年の米作りを振り返ってみます。

育苗期は一部で高温障害や病害の発生はありましたが、好天により概ね良好な育苗となりました。

5 月中旬以降、高温、少雨で経過し、表層剥離やガス湧きが多くのは場で発生すると共に、6 月下旬の低温により分けつが抑制されました。

7 月の好天により穂数は平年並み、一穂着粒数は平年に比べ増加しましたが、少雨等により用水が不足し、一部では著しい干害が発生しました。また、一部は場でイネツトムシや、紋枯れ病による被害が発生しました。

8 月上旬の台風 13 号の風雨により多くのは場で褐変粃が発生しましたが、収量には大きな影響はありませんでした。

8 月下旬から 9 月中旬の日照不足と、9 月上旬の台風 21 号による葉先枯れ等で登熟が緩慢となり、コシヒカリを中心に充実不足による収量と品質の低下が発生しました。

なお、栽培期間を通じていもち病の発生は極めて少ない年でした。

平成 30 年の作柄は、天候による影響が大きく対応は困難でしたが、平成 31 年産に向けて、水持ちの良いほ場では表層剥離やガス湧きを抑制し健全な根を維持するため、必要以上の耕耘や代かきを避け、作土の透水性を確保しましょう。また、水持ちの悪いほ場では、堆肥や緩効性肥料等を活用し、秋落ちしないための施肥管理に努めてください。

病虫害対策では、イネツトムシの防除はツトができてからでは防除効果が劣るので、成虫の飛来状況を確認しながら防除のタイミングを逃がさないことが重要です。

また、紋枯れ病は前年に発生したほ場を中心に発生するので、特に前年発生したほ場では発生状況に応じて防除を実施してください。

平成 31 年が豊作となるよう、ほ場をよく観察して適期作業に努めましょう。



【刈取りの様子】

平成 30 年産田村地域のピーマン生産について

【田村農業普及所】

田村地域のピーマンは、生産量が県内一の産地として、福島県の農業振興を牽引しています。平成 30 年産ピーマン栽培について、盛夏期の高温乾燥の影響により、他産地の出荷量が不安定等の影響もあり、販売単価が例年にない高単価で推移しました。そのような中、生産者の生産意欲の向上や生産者の栽培技術の進歩などにより、過去最高の単収（6,917kg/10a）となり、販売金額 6 億 1,700 万円となりました。

また、1 月 23 日（水）には、大越町の JA 育苗センターで、本年のハウスピーマンの播種が行われました。2 月にはトンネル栽培用、3 月には露地栽培用の播種が行われ、ピーマン栽培が本格化しています。

普及所としても、前年以上のピーマン生産ができるよう、栽培技術指導や省力化技術の推進等の活動を行っていきます。



【ピーマンの指導会の様子】



【ハウス栽培技術指導の様子】

平成 30 年度の須賀川農業普及所におけるきゅうり振興について

【須賀川農業普及所】

須賀川農業普及所では、以下の活動について重点的に取り組みました。

① 施設化について

きゅうり生産振興会議等を通じて J A と推進に向けた検討を行った結果、「産地パワーアップ事業」を活用した「きゅうりん館」の再整備と併せて導入することとし、平成 32 年度の事業実施予定に向けて、現時点で 7 戸から施設化の要望があがっています。

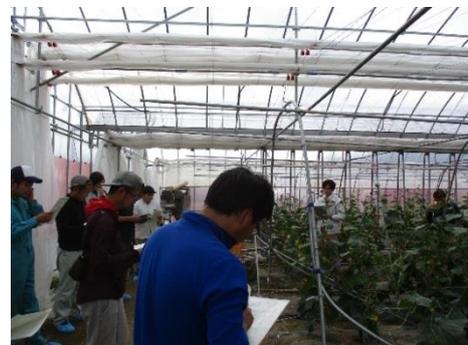
② 技術指導について

高温・乾燥対策や病虫害防除について、指導会や巡回（31 回）、技術情報の発行（17 回）等を適期に行った結果で、異常気象の中でも前年を上回る単収（前年対比 110%）となりました。

③ 若手生産者の育成について

きゅうり若手スキルアップ研修会（9 回開催）による技術指導と参加者同士の技術交流が活発に行われ、参加者の平均単収が管内平均を大きく上回り（管内平均対比 145%）ました。

今後も産地発展のため、地域の課題に攻めの姿勢で挑戦します。



【きゅうり若手スキルアップ研修会の様子】

6 次化商品の紹介



ふくなか すいーつ

前ページで紹介した「平成30年度クラスター分科会」において開発された新商品のひとつである、小倉羊羹の中に西田町特産の「南高梅」のジャムを練り込んだ求肥もちを入れて仕上げた『一本の水路』を紹介させていただきます。

商品コンセプト

平成28年4月に猪苗代湖・安積疏水・安積開拓を結ぶストーリー、未来を拓いた“一本の水路”が、日本遺産に認定されました。その開拓精神を和菓子で表現した商品です。

小倉羊羹の中に「梅肉」、求肥もちを入れて白い部分で『一本の水路』を表現し、主に郡山のお土産として開発しました。



～お買い求めや問合せ先～

○安積野菓子処 平田屋
清水台本店/024-932-3499
荒池公園前店/024-921-4194

各部・各普及所等のご紹介

総務部

総務部では、9名、臨時事務補助員を含めた10名で業務を行っております。
主な業務として、所内の経理や庶務、入札関連業務などを行っております。

森林林業部

森林林業部では、部長、副部長をはじめ林業課10名、森林土木課7名の2課19名、派遣職員、臨時事務補助員2名を含めた21名で業務を行っております。

林業課では、林業技術の普及や緑化推進等（経営指導担当）、造林及び林業種苗に関することや森林保護等（森林整備担当）の業務を行っており、森林土木課では治山、地すべり防止事業や保安林の指定、解除、管理等（治山担当）、林道開設事業や林道災害復旧等（林道担当）の業務を行っております。

田村農業普及所

田村農業普及所は、所長、次長をはじめ地域農業推進課5名、経営支援課6名の2課13名、農地中間管理機構地方駐在員、派遣職員、臨時事務補助員3名を含めた18名で業務を行っております。

地域農業推進課では、集落営農等の推進や農業の6次化産業化の支援などを行っており、経営支援課では管理能力に優れた経営体の育成、新たな担い手の確保・育成等を行っております。

田村地域では、夏秋野菜や畜産の振興が図られ、主な農産物としては、水稻、野菜、葉たばこ、畜産、園芸品目の中では、ピーマン、トマト、なす、さやいんげんなどがあります。

須賀川農業普及所

須賀川農業普及所は、所長、次長をはじめ地域農業推進課4名、経営支援課9名の2課13名、農業振興公社駐在員、派遣職員2名、臨時事務補助員2名を含めた18名で業務を行っております。

地域農業推進課では集落営農等の推進、農業の6次化産業化の支援などを行っております。

経営支援課では管理能力に優れた経営体の育成、新たな担い手の確保・育成、等を行っております。

須賀川・岩瀬地域では、主な農産物としては、水稻、きゅうり、ニラ、畜産では、石川牛といったブランド牛などがあります。

お問い合わせ先



- 福島県農中農林事務所 企画部 地域農林企画課
〒963-8540 福島県郡山市麓山一丁目1番1号
TEL (024) 935-1510 / FAX (024) 935-1314
- ホームページ <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36220a/>
- メールアドレス kikaku.af02@pref.fukushima.lg.jp

2 県中地方計画の実現に向けた平成 30 年度取組事例

項目	取組内容	
1 東日本大震災等からの復興と安全・安心な農林水産物の提供	1	農林水産物の信頼性確保と地産地消の推進 ～「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーン県産農林水産物PR～
	2	農業用施設災害復旧事業の取組 ～東日本大震災で被災した藤沼ダムの復旧と今後の管理体制～
	3	東日本大震災等からの復興と安全・安心な農産物提供 ～第三者認証GAP取得への取組について～
	4	被災農業者支援の取組 ～田村市都路町における営農支援について～
	5	東日本大震災等からの復興と安全・安心な農産物提供 ～農林水産物等緊急時モニタリング事業について～
2 担い手の育成・確保	1	集落営農の確立支援 ～農事組合法人宮下夢ファームの取組～
	2	新規就農者等担い手の育成 ～関係機関と連携した新規就農者の確保・育成～
	3	認定農業者の確保・育成 ～関係機関と連携した支援の実施～
3 生産の拡大・産地体制の強化	1	農地整備の取組 ～担い手の育成・確保と一体となったほ場整備～
	2	農畜産物の生産振興 ～岩瀬きゅうり産地の維持・発展に向けた取組～
	3	和牛の生産振興 ～規模拡大と安全な自給飼料・副産物の生産～
	4	多様な需要に応じた米づくりへの支援 ～ASAKAMA I 8 8 7の取組～
	5	生産の拡大・産地体制の強化 ～ふくしま森林再生への取組～
4 農林業者と消費者や他産業との絆づくり	1	農林業者と消費者や他産業との絆づくり ～「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーン県中地方特産品プレゼント～
	2	農林業者と消費者や他産業との絆づくり ～「ふくなかすい一つ」の開発と消費拡大推進～
	3	農林業者と消費者や他産業との絆づくり ～森林づくりへの意識醸成に向けた取組～
5 豊かな農山村の形成	1	集落排水施設整備の取組 ～農村地域の住環境の向上と水質保全のために～
	2	豊かな農山村の形成 ～森林管理道整備の取組～
	3	都市と農村の交流促進活動 ～グリーン・ツーリズムの推進～

(1-1)

【農林水産物の信頼性確保と地産地消の推進】

～「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーン

県産農林水産物PR～

1 取組の概要

「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーンは、県内における県産農林水産物の販売促進を図るため、安全性やおいしさなどの魅力を県内の消費者や実需者に直接訴え、本県産の購買意欲を高めるとともに、本事業の参加者の8割以上が県産農林水産物に対し肯定的に評価することを目指し、平成25年度より、管内の「がんばろう ふくしま！」応援店に登録されている大型量販店やイベントにおいて実施しています。

当キャンペーンでは、季節の野菜や果物、米の無料配布、県産農林水産物の安全性やおいしさをPRするパネル展示やチラシの配布、消費者意識調査（アンケート）等を実施しています。また、平成29年度からは、配布する農産物の生産者等とともにPRを行い、消費者との交流を図っています。

2 平成30年度実施状況

平成30年度は、管内4方部の大型量販店等において以下のとおり開催し、農林水産物の魅力を紹介するパネル展示や地元の旬の野菜・果物・米の無料配布、生産者と消費者の交流活動を実施し、県産農林水産物の消費拡大を図りました。

また、消費者アンケート調査も実施しました。

第1回 7月15日(日)郡山市：ヨークベニマル横塚店

PR資材：ブルーベリー・トマト 400セット

生産者：三春町ブルーベリー生産者1名、郡山市トマト生産者1名

第2回 8月26日(日)須賀川市：ヨークベニマル須賀川南店

PR資材：もも・日本なし・きゅうり 340セット

生産者：須賀川市果樹生産者1名、きゅうり生産者1名

第3回 9月9日(日)玉川村：福島空港（「道の駅・空の駅まつり」）

PR資材：日本なし・りんご・さるなし(さるなしドリンク) 450セット

第4回 11月11日(日)田村市：リオンドール船引店

PR資材：新米（天のつぶ、里山のつぶ）300セット

天のつぶ・里山のつぶ試食提供 300食

ライシーホワイト1名参加



第2回PR実施状況

(須賀川市 ヨークベニマルメガステージ須賀川南店)



第4回PR実施状況

(田村市 リオンドール船引店)

3 取組の効果

平成30年度に実施した消費者アンケートでは、「県産農林水産物を積極的に(週1回程度以上)購入している」と答えた消費者は94%となり、地元の農産物を購入する決め手としては、「おいしさ、新鮮さ」が最も多く59%を占めました。このことから管内では、県産農林水産物の「安全性」は広く認識されており、その上で「おいしい・新鮮」等の魅力が意識されていることが確認できました。

生産者との交流・PR活動では、生産者から「農産物を直接消費者にPRする良い機会」と好評で、消費者からも「地元の特産品があることを知り、良い機会となった」等の声が聞かれました。

また、平成30年度第4回キャンペーンでは、「天のつぶ」「里山のつぶ」の新米の試食提供を行いました。両銘柄の「うまみを感じた」等の肯定的評価が多く聞かれました。さらに、「米を購入する際に重視する項目」として「味」が最も多い結果となったことから、試食等で「おいしさ」をPRすることで消費拡大の効果を期待できることが視えました。

4 今後の取組方向

当キャンペーン事業は、設立当初は風評払拭や県産農林水産物の安全性のPRに主眼が置かれてきましたが、各方面から風評払拭に取り組んだ結果、県内の消費者の安全性への理解促進には一定の効果が表れてきています。その一方で、県産農林水産物の販路の回復・拡大という課題が重要性を増しています。

このため、今後も生産者や販売者等の関係者と連携しながら、消費者に県産農林水産物のおいしさ等の魅力を様々な方法で継続してPRしていくことが必要であると思われまます。

(1-2)

【農業用施設災害復旧事業の取組】

～東日本大震災で被災した藤沼ダムの復旧と今後の管理体制～

1 藤沼ダム完成へ向けての概要と経過

藤沼ダムは、受益面積 837ha の農地に用水を供給する農業用ダムです。平成 23 年 3 月の東日本大震災により決壊し、下流の集落、農地に甚大な被害を及ぼしました。

ダムの再建は、災害復旧事業と農地防災事業により実施し、平成 28 年度にダム本体の復旧工事及び、新たに整備したダム管理設備等の主要工事を完了し、平成 29 年 1 月からダムの安全性を確認するため試験湛水を開始しています。

平成 29 年の作付け前には満水とならなかったものの、農業用水として供給を再開しました。平成 29 年 10 月から再度（第 2 期）の試験湛水を開始し、平成 30 年 3 月 14 日に満水位に到達しました。第 2 期の試験湛水結果により、「藤沼ダム復旧委員会」から、副堤右岸地山部の透水性対策について意見があり、現在は対策工を実施しながら第 4 期の試験湛水を継続しています。

(1) 予算等の経過・状況

i) 農業用施設災害復旧事業（23年災）（国 98.7% 県 0.93% 市 0.37%）

被災したダムの施設の復旧工事を実施します。

- ① 事業内容：本堤、副堤、取水工 2カ所、周辺護岸工
- ② 事業費：5,237,197千円
- ③ 工期：平成 25～28 年度（一部、平成 29 年度へ繰越し完了）

ii) 復興再生基盤整備事業（農地防災事業（ため池等整備））

（国 55% 県 28% 市 17%）

災害復旧工事と併せて、ダムの安全性の向上及び適切なダムの維持管理を行うために整備します。

- ① 事業内容：洪水吐改修、取水・放流ゲート、ダム管理設備、堤体観測設備、警報設備、太陽光発電設備、地山部透水性対策
- ② 事業費：1,516,633千円
- ③ 工期：平成 25～30 年度（一部、平成 31 年度へ繰越し）

(2) 福島県藤沼ダム復旧委員会（以下、「委員会」と言う。）の経過・状況

本委員会は、平成 23 年 8 月に藤沼ダム決壊の原因を究明するため『福島県農業用ダム・ため池耐震性検証委員会』という名称の第 3 者委員会として組織され、その後安全・安心なダムの復旧のため、設計から施工、試

験湛水後の安全性確認を目的に、平成 24 年 6 月に『福島県藤沼ダム復旧委員会』として改編され、現在まで 20 回にわたり本委員会の指導、助言を受けダムの復旧を行っています。

2 藤沼ダムの管理について

ダムの復旧工事完了後(試験湛水で安全性を確認した後)は、ダムの管理予定者である市が施設を管理する予定です。

今後、安全で安心なダムとして運用していくために、被災前にはなかったダム管理棟、ダム管理設備、及び警報設備を設置し、日常・定期的な維持管理や非常時の対応ができるシステム、管理体制を関係機関である市及び江花川沿岸土地改良区と検討してしています。

その中で、新たな施設・設備の設置による維持管理費の増大に対する負担の軽減を図るため、平成 29 年度に防災事業により太陽光発電設備を設置し、加えて、藤沼ダム安全管理事業(県単独補助事業)を創設しました。

藤沼ダム安全管理事業の概要は以下のとおりです。

事業名：藤沼ダム安全管理事業(県単独補助事業)

事業期間：5 年間(事業着手年度から 5 年間)

補助先：須賀川市

補助率：1/2(5 百万円を上限とする)

3 今後の課題と対応

副堤右岸地山部の対策工事については、平成 31 年度中に完了する予定ですが、試験湛水は平成 32 年度まで継続する見込みです。

その後、藤沼ダム復旧委員会からダムの安全性と維持管理に必要な管理基準の検証を受け、須賀川市に譲与する予定です。

本堤及び副堤の市道部分については、先行して須賀川市に施設を引継ぎ、平成 31 年 3 月 1 日付けで通行止めを解除しました。

(1-3)

【東日本大震災等からの復興と安全・安心な農産物提供】

～第三者認証GAP取得への取組について～

1 取組の契機、内容

震災後、県産農林水産物の販売価格が震災前の水準に回復せず、また購入をためらう人も存在していることから、風評対策の一環として、消費者や流通業者からの信頼を得るために、平成29年5月15日に「ふくしまGAPチャレンジ宣言」を行ってから、福島県としては、福島県GAP（FGAP）の創設、第三者認証に係る経費を補助する事業などにより、第三者認証GAPの取得を強力に推進しています。

県内全体の第三者認証GAP取得状況は、平成31年3月31日時点で151件です。（GLOBAL G.A.P26件、ASIAGAP5件、JGAP91件、FGAP29件）

また、2020年東京オリンピック・パラリンピックの食材調達基準にGAPが位置づけられ、GAP認証農産物へのニーズも高まっていることから、今後も第三者認証GAPの取組みについて組織的な拡大を目指しています。

2 取組の成果

30年度は、県中地方GAP推進協議会やGAP推進プロチームによる研修会や重点支援対象の進行管理などの活動により、第三者認証GAPを推進しました。

県中農林事務所管内の第三者認証GAP取得数は、平成31年3月31日現在で、13件になっています。（FGAP5件、J・GAP8件）

また、GAP推進の取組として、各種研修会の開催やセミナーでの個別相談などを行いました。



8/28 FGAP 模擬審査研修会



10/24 FGAP 認証書交付式

<平成30年度GAP推進活動実績>

6/19 県中地方GAP推進会議（各市町村、JA等出席）

7月 GAP推進チラシの作成・配布

8/28 FGAP模擬審査研修会（場所：日和田）30名ほど参加

9/19 県中地方GAP取得促進研修会（場所：農業短大）20名ほど参加

2/15 GAPチャレンジ推進セミナー会場での個別相談（場所：ユラックス熱海）

3/5 県中地方GAP推進会議（各市町村、JA等出席）

随時 GAP取得志向者等の個別相談

認証GAP取得件数の内訳 (件)

項目	GROBAL G.A.P	ASIAGAP	JGAP	FGAP	計
県全体 (うち団体)	24	5	36 (12)	28 (3)	129 (15)
県中管内 (うち団体)	0	0	8 (3)	5 (1)	13 (4)

※数値は、平成31年2月26日現在のもの

3 問題点及び今後の改善方向

引き続き、GAP取得事業に取り組んでいる法人や農協の生産部会、取得を希望する生産者に対して、認証に向けた支援を継続します。

また、GAP取得希望者に対しては、GAP取得促進事業などの活用についても支援します。

併せて、GAP取得に向けた啓発セミナーや推進チラシの配布などにより、管内農業者のGAP取得への意識を高めます。

特に、オリンピック・パラリンピックへの食材供給を目指して、組織・団体での認証を推進します。

【被災農業者支援の取組】

～田村市都路町における営農支援について～

1 取組の契機

田村市の都路町は、平成 23 年 3 月に避難指示が出され、平成 25 年度から米の作付けが再開、平成 30 年は 67% (334ha) まで回復しました。

今後は、営農を再開した農業者の支援、効率的な生産者活動を行うためのほ場整備、地域営農を持続するための新たな担い手の確保が求められています。

2 普及活動経過及び今後の課題

(1) 経営安定のための生産活動支援

規模拡大支援として、「原子力被災 12 市町村農業者支援事業」の周知・説明会等を実施することで、大型機械やビニールハウスなどの施設導入が進みました。都路町では、平成 28 年度～平成 30 年度の 3 年間で 23 戸の農業者が「原子力被災 12 市町村農業者支援事業」を活用し、規模拡大を図っています。その内、21 戸の農業者に対して、「公益社団法人福島相双復興推進機構（福島相双復興官民合同チーム）」（以下、官民合同チーム）や都路行政局職員と共に巡回指導を実施しました。巡回指導した農業者については、事業実施状況の確認、各担当からの技術・経営指導、関係機関への情報提供等を実施しました。訪問を実施した農業者はリスト化し、営農の現状、課題や問題等をまとめ、共有しています。訪問した 21 戸のうち、16 戸の農業者は規模拡大途中であったため、農地中間管理事業など規模拡大に関する情報提供等を実施しました。販路拡大を希望していた 3 戸の農業者については、官民合同チームが主体となっている「販路拡大タイアップ事業」を活用し、新たな販路を開拓しました。

今後も、官民合同チームや都路行政局と連携し、事業実施者全員を巡回するとともに、すでに巡回済みの農業者に対しては、作成したリストを活用し、各農業者が抱えている課題や問題を解決するような普及活動を実施していきます。

(2) 集落営農支援

平成 29 年度に人・農地プランを策定した大槻地区では、農地中間管理事業を活用しました。地域集積協力金の使途について、相談を受けたため、他地域の状況や協力金の概要説明を実施し、座談会を支援しました。

また、都路町の山口地区、地見城地区、上岩井沢地区では、基盤整備事業

が進んでいます。関係機関と促進計画（費用対効果）に関する打合せ、換地、農地集積に関する座談会に出席し、他の地域の情報提供等を行ってきました。

さらに、都路町の営農支援に関する打合せ開催を主導し（平成30年度は7回）、官民合同チーム、田村市、JA福島さくら等と情報共有や活動状況の確認を実施しました。

今後は、基盤整備実施地区において、促進計画の現況確認をするためのアンケート調査や高収益作物の品目導入に関する参考資料の提示等、基盤整備後の営農体制の構築を支援します。

（3）鳥獣害対策支援

都路町では、石黒・下道ノ内地区をモデル集落に設定し、講習会や電気柵設置講習会の開催、センサーカメラによる行動観察、集落アンケート調査、集落環境診断等を実施してきました。これらの活動により、イノシシに関する生態や被害防止対策への理解が深まり、住民の鳥獣害対策防止に期待が高まっています。

今後は、市とともに具体的な方針を提示しつつ、今までのモデル集落での取組事例を広く周知し、特に、鳥獣害対策で相談のある地区や興味を示した生産者を主に情報提供し、対策に取り組む地区を一つでも増やしていきます。



写真1 原子力被災12市町村農業者支援事業で導入したビニールハウス



写真2 販路拡大タイアップ事業でマッチングした菊芋料理

(1-5)

【東日本大震災等からの復興と安全・安心な農産物提供】

～農林水産物等緊急時モニタリング事業について～

1 取組の契機、内容

原子力発電所の事故による放射性物質の影響により、農産物の安全確保の取組みとして、福島県ではこれまで吸収抑制対策の徹底とともに、国のガイドラインによる農林水産物等緊急時環境放射線モニタリングや米の全量全袋検査や直売所等での自主検査など、農産物の放射能検査を行い、安全な農産物だけが流通される体制を作ってきました。

2 取組の成果

平成30年度の県中地方における野菜、果実、穀類（玄米の全量全袋検査を除く）の緊急時モニタリングの件数は、2月末時点で合計479件を検査し、基準値を超過したものはありませんでした。また、飼料作物について合計169件を検査し、暫定許容値を超過したものはありませんでした。

園芸作物・穀類における野菜、果実、穀類（玄米の全量全袋検査を除く）モニタリング実施件数は、野菜331件、果実102件、穀類46件でした。

測定値が「検出せず」の割合は、野菜で99.7%、果実で95.1%、穀類で95.6%、飼料作物で89.3%でした。

また、生産者、流通事業者等へは、農産物直売所等の出荷管理状況調査などの際に、出荷制限品目等の情報提供を行いました。併せて、山菜類のうち「野菜類25品目・果樹類5品目」については、「栽培」「野生」の別の表示を依頼するとともに、栽培現地の確認や栽培履歴等の整理を行いました。

3 問題点及び今後の改善方向

原発事故から8年が経過し、放射性セシウムが検出される作物の数が減少してきているため、吸収抑制対策や収穫時の管理等がおろそかにならないよう引き続き注意喚起を行うこととします。

穀類、野菜、果実では、放射性セシウムの検出は年々減少していますが、特定の品目で検出されることが多いため、基本的な栽培管理や吸収抑制対策の実施を引き続き指導・周知する必要があります。

飼料作物では、永年生牧草で生産者団体の自主基準値を超過した草地について、吸収抑制対策の指導が必要です。

また、出荷制限品目が流通しないよう、引き続き直売所等の出荷管理状況調査と出荷制限等の情報提供等を継続して行います。

【集落営農の確立支援】

～農事組合法人宮下夢ファームの取組～

1 取組の契機、内容

近年、米価の低迷、農機具や生産資材の高騰、農業従事者の高齢化等により、農業従事者が減少し、遊休農地の増加が問題となっています。

問題解決の手法の一つとして、小規模な農家が集まり組織化し大規模経営をすることにより、生産費や労働時間の削減が期待できる集落営農を、県は積極的に進めています。

郡山市では小規模ながら稲作による安定経営を営んでいる経営体が多く、これまで集落営農はほとんど取り組まれていませんでした。

農業振興普及部では、集落営農推進のためのモデルとして、自分たちで地元農地を守りたいとの要望を持つ日和田町宮下集落で、集落営農組織の設立と法人化の支援を平成22年より行いました。

始めに、集落営農を行う任意組織の設立に向けたアンケート調査を各生産者とその家族を対象に実施し、その要望に沿った組織体制とするための話し合いの支援を行いました。

また、水稻の農閑期の作業を確保し、年間を通じた所得を得るため、トマトや小松菜等の園芸品目の導入に向けて、経営試算や栽培技術指導を行いました。特に、栽培技術指導は主力である水稻も含め毎月開催しました。

更に、農地の利用権を設定できない等の任意組織の運営上の問題点を解決するため、法人化に向けてアンケート等を行いながら話し合いを支援し、法人設立を支援しました。

2 取組の効果

地区内の13戸の農家により農事組合法人宮下夢ファームが平成28年3月に設立し、現在、集落の半分以上となる30haの農地を耕作しています。主力である水稻の大規模経営により発生した余剰労働力を活用し、トマトや小松菜等の園芸品目を生産し、地域農業の活性化に寄与しています。

また、集落内の他産業に従事する後継者が、休日や有休休暇等を活用し農繁期にオペレーターとして参加する体制が整備されました。今年度、定年退職した後継者が法人に参加し、将来法人の中心的役割が期待されています。

また、地域の農地を維持する多面的機能支払い交付金による共同活動の中心として活動しています。

3 現在の問題点及び今後の改善方向

農事組合法人宮下夢ファームは設立に際して、変革に的確に対応することが難しい農家に配慮し、以前の個別経営の形態を可能な限り残して運営されており、ほ場別に管理担当者が分かれ、各担当の栽培技術により収量に差が発生しています。このため、短期的には各担当者の栽培技術の高位平準化し、長期的には組織運営を改革し、各部門毎に責任者を設け統一した方針に基づいた栽培を行うことが望まれます。

また、これまで集落営農を進め、組織運営を牽引している代表者の世代交代に備えるため、次世代を育成する必要があります。



トマト栽培の様子



共同作業による田植えの様子

【新規就農者等担い手の育成】

～関係機関と連携した新規就農者の確保・育成～

1 取組の契機、内容

田村地域は、園芸や和牛繁殖を中心とする畜産の産地を形成していますが、農業者の高齢化により年々産地は縮小しています。

平成27年度から新規就農者の確保・育成を目的とし、関係機関・団体と協議を重ね、平成28年5月に、「たむらの新・農業人サポート協議会」を設立しました。

協議会は、田村市、三春町、小野町の3市町、JA福島さくら、田村農業普及所により組織され、新規就農者向けパンフレットや支援マニュアル、ポスター等PR資材の作成、空き家及び遊休農地のリスト化、新規就農者の研修体制作りを行ってきました。

平成28年度からは、県外から就農希望者を誘導するために、新・農業人フェア等首都圏でのイベントに、3年間で11回出展し、延べ相談者は83名となりました。

フェア出展後は、相談者を対象とした現地見学会を7回開催し、22名が田村地域の新規就農者や研修施設を見学しました。

この他、県内の就農希望者の掘り起しを図るため、田村農業普及所主催の「ふくしまからチャレンジ！就農フェア」を平成30年12月2日に県農業総合センターで開催し、田村地方を含む市町村やJA等が計20ブース出展し、延べ47組60名が来場しました。

さらに、新規就農者ごとに、就農市町担当者及びJA、田村農業普及所職員がチームとなって支援を行い、栽培や経営に関する指導に加え、農地や空き家情報の提供など幅広く対応しています。



写真1 新・農業人フェアにおける相談



写真2 現地見学会の様子

2 取組の効果

関係機関一体となり、新たな取組として首都圏イベント等への出展やチーム体制での新規就農者支援を行った結果、田村地域の新規就農者数は年々増加しており、平成28年度は12名、平成29年度は14名、平成30年度は6名が就農し、定着率も95%まで向上しました。

また、トマト栽培を志向する就農希望者に対し、株式会社JAアグリサポートたむらでの研修受入れや平成31年2月には協議会で初となる就農相談イベントから一貫した支援を行い、他県からの新規就農者を輩出することができました。

現在は、就農希望者に対して、次年度からの研修の日程調整を行うなど、田村地域の新たな担い手確保に向けた取組を行っています。

3 現在の問題点及び今後の改善方向

新規就農者の確保における課題は、新規就農希望者のニーズに合った研修先の確保や提供する空き家、農地の把握及びマッチングが挙げられます。

特に、移住を伴う新規就農者の受入においては、多様な物件を確保し、希望者の要望に合った物件の紹介が必要不可欠であることから、市町や農業委員などの地域住民と連携し、空き家情報の把握を効率的に行う必要があります。

また、近年の新規就農希望者は、経営開始前に雇用による研修を希望するケースが多いことから、管内で雇用できる経営規模を持った経営体を育成することにより、研修と雇用の両面で受入できる地域作りを目指していく必要があります。

加えて、より広く就農希望者を確保するために、JAが開催する年金相談会等を活用し、就農意向アンケート調査を行うことにより、定年帰農者の把握やフォローアップに努めていきます。

【認定農業者の確保・育成】

～関係機関と連携した支援の実施～

1 取組の契機、内容

岩瀬地方及び石川地方における認定農業者数は、平成31年2月現在、940経営体となっており、毎年増加しています。その中で、新規に認定された認定農業者は20経営体となっており、定年帰農者や法人組織による新規申請のほか、他市町村での申請などがみられています。一方で、高齢化や後継者不足などによる労働力の不足や、農畜産物価格の低迷、農業資材の高騰等の要因から、認定農業者を辞退する経営体や、農業経営改善計画の達成率が低い経営体が増えている状況となっています。

そこで、認定農業者が農業経営改善計画に沿って経営改善を着実に進めることができるように、計画認定から3年目と5年目の認定農業者を対象に、フォローアップの実施を推進しています。フォローアップでは、市町村やJAと連携し、計画に記載されている内容の達成状況を把握し、達成に向けた助言や支援を行っています。管内では、須賀川市、鏡石町、天栄村、石川町、玉川村、平田村、浅川町、古殿町の8市町村全てで実施されており、平成30年度は、260経営体に対してフォローアップを実施しました。

その他、新たに認定農業者を確保するために、新規就農者を認定農業者へ誘導するとともに、各地域で行われている集落の話し合いの場に積極的に参加し、認定農業者への誘導を行っています。



座談会への出席の様子



フォローアップの様子

2 取組の効果

各関係機関・団体と連携し、認定農業者への誘導を図った結果、平成30年度は新たに20経営体が認定農業者に認定され、フォローアップの実施率は、平成27年度の68.7%に対し、平成30年度は92.2%と向上しました。

また、農業経営改善計画の達成状況（所得目標）については、平成30年度は13%となっています。達成している経営体は、畜産経営が多い状況ですが、区画整備による効率化や省力化が図られている経営体や、6次化の導入など経営の多角化が図られている経営体についても達成がみられています。

3 現在の問題点及び今後の改善方向

認定農業者の確保・育成における問題点として、高齢化や後継者不足による担い手の減少や、農業経営改善計画の達成率が低いことが挙げられます。

認定農業者を確保するために、関係機関とともに新たな担い手の掘り起こしを行う必要があります。新たな担い手に対しては、地域への受入体制の整備を行うとともに、農業技術の習得を支援するなど、認定農業者の定着を支援する必要があります。

さらに、計画の達成に向けては、収益性の向上を支援するために、新技術や省力化技術の導入を支援するとともに、農地中間管理事業の活用による農地の集積を進め、農作業の効率化を図るなど、認定農業者の経営能力を高める必要があります。

(3-1)

【農地整備の取組】

～担い手の育成・確保と一体となったほ場整備～

1 取組の契機、内容

耕作放棄により農地の利用率が低下しているが、食料生産の基礎であり、洪水調節や自然景観保全等の多目的機能を有する農地を適切に維持管理していく必要があります。

このため、管内農業の持続的発展、高生産性農業の展開に必要な農地整備事業（ほ場整備）を計画的・積極的に実施し、ほ場の大区画化と一体的に、担い手への農用地利用集積を進めていきます。

2 取組の効果

平成30年度は10地区ではほ場整備を実施し13haの整備が進み、平成30年度までのほ場整備面積は15,515ha、整備率63.6%となっています。

平成30年度実施地区

番号	事業名	地区名	所在地	着工	完了	事業量 ha	総事業費 千円	H30年度	
								まで 千円	進捗率 %
1	復興再生	マエダガワ 前田川	須賀川市	26	32	72.7	1,876,000	1,226,000	65.4
2	復興再生	ホリノウチ 堀之内	郡山市	26	31	25.1	525,000	490,000	93.3
3	復興再生	マエダ サワ 前田沢	郡山市	26	31	32.6	588,000	525,800	89.4
4	復興再生	モリジユク 森宿	須賀川市	29	36	70.5	1,315,000	291,000	22.1
5	復興再生	サワイ 沢井	石川町	29	36	88.9	1,771,000	331,930	18.7
6	加速化 ※	ナガヤ 永谷	田村市	29	34	18.0	603,100	224,000	37.1
7	加速化	ヤマグチ 山口	田村市	30	36	31.9	771,000	40,000	5.2
8	加速化	ジケンジョウ 地見城	田村市	30	36	25.2	592,000	35,000	5.9
9	加速化	カミイワイ サワ 上岩井沢	田村市	30	36	31.8	991,000	40,000	4.0
10	加速化	ニシムキ 西向	田村市	30	36	43.6	939,000	50,000	0.0

注1) 復興再生 : 農村地域復興再生基盤総合整備事業

注2) 加速化 : 農山村地域復興基盤総合整備事業【福島再生加速化交付金】

※ 永谷地区は事業メニュー「中山間地域総合整備事業」、その他は「農地整備事業」により実施

【新生プラン指標】

県中管内		県全体
目標 (H24～H32)	H30 年度末整備面積	H30 年度末整備面積
219ha	100.5ha (63.6%)	71,667.5ha (73.7%)

3 今後の取組み

管内におけるほ場整備面積(水田概ね1区画30a以上)は、農振農用地面積24,387haのうち平成30年度末で15,515ha、整備率63.6%と県全体の73.7%に対して10.1ポイント低いものとなっています。特に阿武隈山地の中山間地域に位置する石川地方では44.1%、田村地方では51.7%と整備が進んでいない現状にあります。

農業の競争力強化を図るためにはほ場整備が不可欠であることら、地元説明会を積極的に実施しており、現在7地区においてほ場整備事業実施に向けた事業計画を策定しています。今後は、関係機関及び地元受益者との調整を計画的に実施し、早期の事業着手を図っていきます。

さらに、事業を検討している地区に対しては、積極的に事業制度の説明会を行うなど、事業への理解と地元合意形成に向けた支援を行っていくこととしています。

平成30年度調査計画地区

番号	事業名	地区名	所在地	調査開始	事業着手	事業量 ha
1	競争力	ウキガネダイニ 浮金第二	小野町	28	(32)	62
2	競争力	タカクダ 高久田	鏡石町	29	(33)	59
3	機構関連	ミホタホクブ 三穂田北部	郡山市	29	(32)	66
4	機構関連	ミホタチュウブ 三穂田中部	郡山市	29	(33)	76
5	機構関連	ミホタナンブ 三穂田南部	郡山市	29	(34)	127
6	機構関連	イトヨカミ 飯豊上	小野町	31	(34)	21
7	競争力	トマキ 外楨	石川町	31	(34)	30

注1) 競争力：農山村地域復興基盤総合整備事業

注2) 機構関連：農地中間管理機構関連農地整備事業

【農畜産物の生産振興】

～岩瀬きゅうり産地の維持・発展に向けた取組～

1 背景・ねらい

須賀川岩瀬地域の野菜の主要品目であるきゅうりの歴史は古く、昭和 29 年から栽培が始まり、現在では栽培戸数 654 戸、作付面積 94.3ha、販売金額 25.3 億円の産地となっています(平成 30 年度 JA 夢みなみす

	栽培戸数(戸)	作付面積(ha)	販売金額(億円)
最盛期	2,518(S44)	331.0(S47)	50.0(H5)
H30	654	94.3	25.3

産地の推移 (JA 夢みなみすかがわ岩瀬地区)

かがわ岩瀬地区)。しかし、作型の多くが露地栽培であるため、気象変動や病害虫の影響により生産が不安定になりやすいこと、さらに栽培者の高齢化や担い手不足が進行したことで、最盛期に比べて産地規模は縮小してきました。そこで、これらの課題を解決し、産地の維持・発展を目指すため、生産基盤強化のための支援体制の整備、新技術の実証・普及、若手栽培者の育成を柱に活動を実施しました。

2 活動内容

(1) 生産基盤強化のための支援体制の整備

JA 夢みなみすかがわ岩瀬地区支援センターをはじめとした関係機関・団体と、きゅうり生産振興における課題や対策等を検討する場として、平成 29 年度から「きゅうり生産振興会議(きゅうりコア会議)」を開催しました。そこでは、施設化推進(推進資料の作成、施設化要望の掘り起こし、事業活用推進)や各種技術対策の発信、きゅうり栽培者全戸を対象とした意向調査などを実施しました。

(2) 新技術の実証・普及

環境制御技術の導入による単収向上を図るため、平成 27 年度に実証ほを設置しました。実証ほでは、炭酸ガス発生装置の導入や環境測定装置を利用したデータに基づく管理を実施しました。さらに関係機関・団体や生産者による意見交換会を開催し、実証ほの成果を活用した本技術の普及を図りました。



意見交換会の様子

(3) 若手栽培者の育成

将来的、地域の担い手となる若手栽培者を育成するため、JA や種苗会社と連携して平成 26 年から「きゅうり若手栽培者スキルアップ研修会」を開催しました。現地研修会や各種テーマを絞った勉強会のほか、先進地視察研修を実施することで、若手栽培者の知識・技術の向上と連携強化を目指しました。

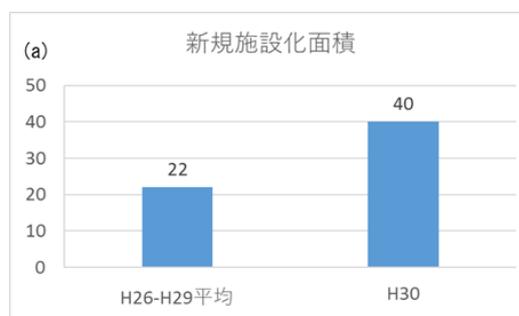


現地研修会の様子

3 活動成果

(1) 新規施設化面積の増加

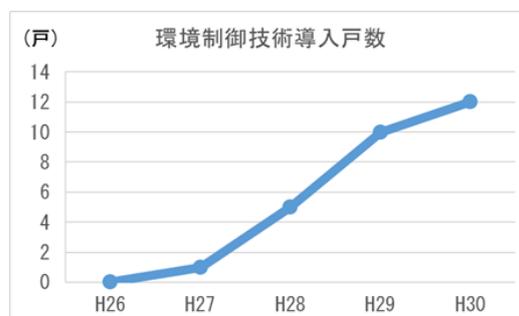
各種施設化推進の取組の結果、平成 30 年度の新規施設化面積は過去 4 カ年と比較して約 82%増加しました。



新規施設化面積の推移

(2) 環境制御技術の実証・普及

環境制御技術の実証ほにおいて、半促成栽培の単収が約 8t/10a (平成 27 年度) から約 12t/10a (平成 29 年度) まで増加しました。さらに、実証ほの成果を活用した技術の普及活動により、導入戸数は 0 戸 (平成 26 年度) から 12 戸 (平成 30 年度) まで増加しました。



環境制御技術導入戸数の推移

(3) 若手栽培者の育成

参加者の技術レベルの向上が図られたほか、参加者同士の活発な意見交換により新技術導入や施設化への取組意欲が向上しました。その結果、研修会に参加した若手栽培者の平成 30 年度の平均単収が地域平均を大きく上回ったほか、2 名の若手栽培者の環境制御技術及び新規ハウスの導入に繋がりました。

4 課題及び今後の方向性

施設化や環境制御技術の導入希望者への重点的な推進、若手栽培者の継続的な育成などの課題としてあげられます。引き続き、補助事業等を活用した施設化の推進や環境制御技術のさらなる普及、若手栽培者向け研修会の継続的な開催により、産地の発展に繋がっていきます。

【和牛の生産振興】

～規模拡大と安全な自給飼料・副産物の生産～

1 地域の概要

田村地域は古くから和牛子牛の産地であり、子牛販売価格は順調に推移していますが、原発事故の影響により、畦畔草の利用や山林を活用した放牧が出来なくなり、地域によっては、除染した牧草地の吸収抑制対策が必要になる等、畜産経営に係るコストや労力が増加しています。

特に近年、購入飼料価格が高騰しているため、収益性を上げるには、自給飼料生産拡大によるコスト削減が不可欠です。

また、畜産農業者の高齢化による労力不足や廃業農業者の増加により、和牛子牛の生産頭数が年々減少しており、生産基盤の弱体化が懸念されています。

2 普及活動経過及び今後の課題

(1) 規模拡大希望農家への支援

肉用牛農家では、新規就農者や規模拡大希望者が増えていきます。特に、和牛繁殖農家において、原子力被災 12 市町村農業者支援事業を活用した規模拡大希望者が多くなっており、

今年度については、畜産農家での事業申請が 14 件あり、機械や施設の導入、経営計画の作成、法人化等の支援を行いました。

しかし、高齢化等により畜産農家数や飼養頭数の減少に歯止めがかからないことから、引き続き農家への個別支援を行うとともに、地域クラスター協議会として関係機関と連携し、飼料生産や飼養管理の外部化の実現に向けて、地域全体で畜産生産基盤を維持するシステムづくりを構築していきます。

(2) 水田活用による飼料生産・利用支援

稲 WCS 生産組織に対し、生産技術指導(水管理や農薬散布等)や組織運営に係る支援を実施しました。今年度の稲 WCS は順調に収穫調製が行われ、高品質の製品が多く確保でき、冬季利用の飼料として評価も高まっています。しかし、組織設立後 4～5 年が経過し、栽培技術や組織運営上の課題が明確になってきており、これらを改善していくことが今後の課題です。

また、「福島県農業総合センター畜産研究所」と協力し、約1haの水田に3カ月、成牛6頭の放牧実証展示が行われました。その結果、近隣の畜産農業者は関心が高まっており、水田放牧志向和牛繁殖農家が4戸となりました。今後は、さらなる水田放牧の取組を推進していきます。

(3) 牧草地の放射性物質吸収抑制対策

管内の永年性牧草地の除染やモニタリング検査は、関係機関と円滑に遂行し、原発事故前と同様に牧草を利用できるようになりました。今年度は、永年性牧草10点、長大作物9点、稲発酵粗飼料9点、稲わら9点のモニタリング検査を実施し、放射性セシウム測定下限値未満でした。今後もモニタリング検査を実施し、飼料作物の安全性を確保していきます。

また、傾斜地や石礫が多く、除染できない草地について、利用再開の要望があることから、未除染牧草地の調査を実施しました。その結果、除染は困難であるが、利用再開を希望している草地が168haあることが分かりました。除染が困難な草地は、適正な草地管理を実施していないため、今後、現地調査を始め、具体的な対応策を検討していきます。

(4) 堆肥の利用推進

堆肥供給者リストを更新し、耕種農家に対して安全な堆肥に関する情報を提供するとともに、堆肥供給者リストの掲載者に対し、巡回指導を実施しました。

また、生産部会の指導会を通じた堆肥利用の推進を機に、肉牛経営農業者生産堆肥40tの新規利用が進みました。

しかし、飼養頭数500頭以上の大規模畜産農家では、震災後、堆肥の引取先の確保が困難になっており、地域全体で堆肥の流通を円滑に行うためのシステム作りが課題です。



写真1 稲 WCS 生産の様子



写真2 水田放牧の様子

(3-4)

【多様な需要に応じた米づくりへの支援】

～ASAKAMA I 887の取組～

1 取組の契機、内容

郡山市は、米づくりに最適な内陸型の気候と肥沃な土壌、猪苗代湖がもたらす豊かな水に恵まれ、県内有数の米産地となっています。また、郡山産のコシヒカリ、ひとめぼれの一等米は「あさか舞」としてブランド化され、消費者からも高い評価を得ています。

しかし、東日本大震災以降、郡山市産米の価格は全国平均から大きく下がり、現在も価格差は縮まっていません。

このような状況の中、郡山市産米の価値を向上させるべく、「あさか舞」コシヒカリのプレミアムブランドの確立に向けて、郡山市とJA福島さくら、県などで構成する郡山市米消費拡大推進協議会が平成27年度に（仮称）プレミアムあさか舞検討会を立ち上げ、ブランディングの検討や試験栽培などを行ってきました。

その結果、全国的にも非常に厳しい7つの基準（タンパク質含有率6.1%以下、食味値88以上、篩目2.0mm、整粒歩合80%以上、認証特別栽培、GAPへ取り組むこと、エコファーマー認定者）を設定し、ブランド名も米作りにかかる88の手間と7つの基準の「88」と「7」の数字を組み合わせた「ASAKAMA I 887」に決定し、平成30年度から生産を開始しました。



（仮称）プレミアムあさか舞検討会



試験ほ場の生育調査

2 取組の効果

(1) 生産

平成30年度は生産者21名22haで「ASAKAMA I 887」に取り組みましたが、基準達成が特に厳しい「食味値88以上」をクリアするために、肥培管理を中心とした栽培指導を行いました。その結果、6名が7つの基準をクリアし、14トンが生産されました。

また、GAPについてはFGAPに取り組むことになり、関係帳票類の作成や現地審査の対応を支援した結果、10名でGAP部会を設立し、内8名で団体認証を受けました。

(2) 販売

ASAKAMA I 887のパッケージは、精米したてのおいしさ、鮮度を長期間保てる真空パックを採用し、郡山市産杉材「と・き・め・木」製3合枡入り(450g)で、価格は税込み1,500円で決定しました。商品の発売に当たっては、11月28日に発表会が開催され、12月7日から販売を開始しました。

また、12月7～16日に郡山市西口駅前広場で、12月31日～1月4日まで開成山公園にてモニター販売が実施され、アンケートの結果からも購入者からの評価は良好でした。



ASAKAMA I 887のパッケージ

ASAKAMA I 887発表会

3 現在の問題点及び今後の改善方向

「ASAKAMA I 887」の生産量確保のため、7つの基準を満たすことができるよう、肥培管理を中心とした栽培支援とともに、FGAP取得に向けた書類の整備・農場環境点検を目的としたコンサルティングを、JA営農指導員と連携して実施します。

また、新規栽培者等に対しては、次年度のFGAP認証申請を支援します。

【生産の拡大・産地体制の強化】

～ふくしま森林再生への取組～

1 取組の契機、内容

原子力発電所の事故により、森林所有者等による自主的な森林整備等が停滞している森林について、森林の有する多面的機能を維持しながら放射性物質の低減を図るため、森林施業や路網整備と森林施業で発生する枝葉の除去等を一体的に実施し、森林の再生を図ることを目的に「ふくしま森林再生事業」を平成25年度より実施している。

初年度は郡山市、田村市、石川町、古殿町が、平成26年度は、須賀川市、天栄村、三春町、小野町が、平成27年度は、鏡石町、玉川村、平田村、浅川町が取り組み、平成29年度までに管内12市町村全てが放射性物質対策と森林整備に取り組んでいる。

また、公社造林（平成25年度）、県営林（平成25年度～）においてもこの事業により森林整備を行っている。

【対象地域】

汚染状況重点調査地域市町村（管内全市町村）、林業公社、県（県営林部分）

【補助率】

森林整備等：市町村 国 54%、県 18%（補助残分は震災復興特別交付税措置）

林業公社 国 54%、県 36%

放射性物質対策等：国 100%

2 取組の効果

森林整備、放射性物質対策、木材の搬出利用、路網の整備等に係る基本計画への助言指導、設計・積算に係る技術支援など、市町村への指導や進捗管理を行い、繰越率を15%程度圧縮することができた。

- 森林整備面積 361ha（H28 繰越 296ha＋H29 現年完了 65ha）
- 路網整備 51,825m（H28 繰越 49,322m＋H29 現年完了 2,503m）
- H30 への繰越 11市町村 繰越額 912,343千円（補助金）264ha

3 現在の問題点及び今後の改善方向

管内の森林整備面積は、原発事故の影響により森林所有者の森林整備に対する意欲が未だ回復していないことや広葉樹施業を見合わせていること

などから、回復は見られるものの平成28年度1,590haと震災前の約5割に落ち込んでいる現状であり、森林の多面的機能を維持していく上で森林整備に取り組んでいく必要がある。

当事業は、森林整備の箇所選定、森林所有者からの同意取得後の事務処理、発注業務など、市町村職員の負担は増加しているだけでなく、担当者が森林整備の発注業務に不慣れなこともあり、対応に苦慮しているところもある。

このため、市町村における森林整備の発注が進むよう、管内及び他管内の受注者情報や入札参加資格の考え方などの共有に努めるとともに、設計への技術支援や事業進捗に向けた管理指導などに引き続き取り組む。

さらに、復興庁計上予算がH32終期となっていることから、当事業の継続の必要性と今後のあり方について、各市町村の実情など踏まえながら本庁と連携して検討を進めていく。

【農林業者と消費者や他産業との絆づくり】

～「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーン

県中地方特産品プレゼント～

1 取組の概要

「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーンは、県内における県産農林水産物の販売促進を図るため、安全性やおいしさなどの魅力を県内の消費者や実需者に直接訴え、本県産の購買意欲を高めるとともに、本事業の参加者の8割以上が県産農林水産物に対し肯定的に評価することを目指し、平成25年度より、管内の「がんばろう ふくしま！」応援店に登録されている大型量販店やイベントにおいて実施しています。

本所では、当キャンペーンの一環として、直売所における県産農林水産物の消費拡大と地産地消を推進するため、平成25年度から直売所の購買者を対象としたプレゼント企画「県中地方特産品プレゼント」を実施しています。

2 平成30年度の実施状況

平成30年度は、県中管内の「がんばろう ふくしま！」応援店に登録されている常設直売所26店舗でプレゼントキャンペーンを展開しました。

各店舗でお買物をした消費者に、レシートの合計金額1,000円を1口として、店頭を設置した応募用チラシにレシートを貼付の上、当事務所まで郵送により応募していただきました。

応募期間は、第1期：平成30年6月1日～8月31日、第2期：9月1日～11月30日とし、それぞれの応募期間の終了後に当選者（各期20名ずつ）を決定する抽選会を開催しました。

県ホームページや農林ニュースへの掲載等により応募拡大に取り組んだほか、直売所との連絡を密にしてこまめに応募用チラシを補充し、前年度を上回る377名、2,901口の応募（1,2期計、H29年度：372名、2,533口）がありました。

プレゼントの内容は、1、2期とも6次化商品や県産農林水産物の「県中地方特産品詰合せ（3,000円相当）」としました。

なお、当選者の発表は、プレゼントの発送をもって代えました。



応募用チラシ

第2期当選者抽選会実施状況

(場所：郡山合庁第4会議室 抽選者：桃井農林事務所長)

3 取組の効果

当キャンペーンによる購入金額は、3,046,767円（レシートの合計額）となりました。

さらに、応募者の18%が県中以外の県内在住者（7市5町1村）、6.6%が、県外（宮城県等10都府県）の消費者となり、地産地消の推進だけでなく、当地方の農林水産物の魅力を管外消費者へ発信する効果も認められました。

また、プレゼント当選者へのアンケート調査では、継続を求める声とともに、「購入したことのない商品が味わえた」「これからも県中の農林水産物をおいしくいただきたい」等の意見が多く寄せられました。

応募者内訳

No.	応募者住所	応募者数	応募比率
1	郡山市	186	49%
2	須賀川市	45	12%
3	田村市	17	5%
4	鏡石町	1	0%
5	天栄村	5	1%
6	石川町	10	3%
7	玉川村	8	2%
8	平田村	0	0%
9	浅川町	5	1%
10	古殿町	0	0%
11	三春町	4	1%
12	小野町	3	1%
管内計		284	75.3%
13	県内（県中以外）	68	18.0%
14	県外	25	6.6%
合計		377名	100%

4 今後の取組方向

当キャンペーンは、定着し消費者より好評を得ているため、今後も魅力的なプレゼント内容を検討し、継続する予定です。一方で、郊外の直売所からの応募が少ない状況にあるため、中山間地域での農林水産物の販売促進に努めてまいります。

【農林業者と消費者や他産業との絆づくり】

～「ふくなかすい一つ」の開発と消費拡大推進～

1 概要と経過

県中農林事務所では、「新ふくしま地域産業6次化戦略」に基づく地域振興を推進するため、平成22年6月29日に「県中地方・地域産業6次化推進会議」を設置し、「県中地方・地域産業6次化ネットワーク交流会」や「県中地方・地域特産品創出クラスター分科会（以下、「クラスター分科会」）」の開催のほか、県中地方・地域産業6次化ネットワーク会員（農業者、製造業者、商業者、行政等6次化に関心のある方）への登録誘導、商品開発やPR活動への支援、各種事業の実施に取り組んでいます。東日本大震災と原発事故による影響で一時活動が停滞したものの、平成23年度後半から活動を再開し、会員数は、平成30年度末現在で371名まで増加しました。

県中地方における6次化への特徴的な取組として、「ふくなかすい一つ」の開発が挙げられます。

「ふくなかすい一つ」とは、県中地方や福島県の農林水産物を使用して県中地方で作られたお菓子の名称で、平成24年度に開始したクラスター分科会では「ふくなかすい一つ」を軸に商品開発を行っており、試作品の試食・求評、専門家による講演等によりブラッシュアップを重ねて、平成30年度までに15事業者の協力を得て34商品（※）を開発しました。

「ふくなかすい一つ」については、ロゴマークの活用、パンフレットの作成、HPへの掲載等を通じて普及促進を図っています。

※クラスター分科会では、ふくなかすい一つ以外の特産品開発も行っており、平成30年度までに全44商品（うち、ふくなかすい一つ34商品）を開発しています。

平成30年度は、「ふくなかすい一つ」の知名度向上・消費拡大を目的とした新たな取り組みとして、「ふくなかすい一つ」消費拡大キャンペーンを実施しました。管内の「ふくなかすい一つ」を販売している菓子店等23事業者（25店舗）に協力をいただき、各店舗でお買物をした消費者を対象に、合計金額1,000円を1口として、店頭を設置した応募用チラシにレシートを貼付し、当事務所まで郵送により応募していただきました。

応募期間は、第1期：平成30年7月14日～8月31日、第2期：9月1日～11月30日とし、それぞれの応募期間の終了後に、当選者を決定する抽選会を開催しました。県中農林事務所長の厳正なる抽選（くじ引）により、各期20名、計40名の当選者を決定し、「ふくなかすい一つ」の詰合せ3,000円相当をプレゼントしました。



第2期「すくなかスイーツ」消費拡大
キャンペーン当選者抽選会の様子



当選者へのプレゼント
「ふくなかすいーつ」詰め合わせ

2 取組の効果

平成30年度の「ふくなかすいーつ」消費拡大キャンペーンでは、1、2期を通じて、計162名、325口（購入金額：371,843円）の応募があり、6次化商品の消費拡大に寄与しました。

また、当選者へのアンケートでは、「県中地方の農林水産物を使ったお菓子がたくさんあることが分かった」、「食べたことのないスイーツを味わうことができ、次回購入する際の参考となった」、「県中地方のお菓子とともに、地元の農林水産物も知る機会となった」、「良い企画なので続けてほしい」等の声をいただくことができました。



平成30年度クラスター分科会成果品

手前左より：「ひと味」「一本の水路」「はやとうりの佃煮
奥左より：「かぼちゃくん」「ミックスフレック（大）（小）」

3 現状と課題と今後の方向性

平成31年度以降も、クラスター分科会やイベントでのテスト販売等を通じた商品のブラッシュアップ等により、「ふくなかすいーつ」を軸にした新商品の開発に取り組んでいく予定です。

また、「ふくなかすいーつ」消費拡大キャンペーンの継続により、「ふくなかすいーつ」のさらなる認知度の向上、消費拡大を目指します。

さらに、平成30年度には、管内で農産物加工施設のオープンが相次ぎましたが、各施設を活用した6次化商品開発等についてもネットワーク会員、市町村、6次化チーム員、イノベーター等と連携して取組を進める予定です。

【農林業者と消費者や他産業との絆づくり】

～森林づくりへの意識醸成に向けた取組～

1 取組の契機、内容

県民一人ひとりが参画する新たな森林づくりの推進を図るため、森林環境教育等に取り組む市町村を支援するとともに、公共的施設への木材製品導入や学校教育現場等における木育活動を推進し、県民の木材利用と森づくりに対する意識醸成を図った。また、地域団体等が行う里山林整備や県民を対象とした林業体験・交流活動等を支援した。

2 取組の効果

(1) 森林環境交付金事業（森林環境基本枠）

全ての県民が森林づくりに参加する機会を幅広く確保するため、市町村が行う森林環境教育等を支援し、管内全ての市町村において小学校106校、中学校41校、義務教育学校1校において取り組みが進められた。

(2) 森林環境交付金事業（地域提案重点枠）

市町村の事業提案に基づく創意工夫を凝らした森林資源活用等の取組を支援ことを目的に、郡山市、石川町、浅川町、古殿町における木材製品の導入等を支援した。

(3) 木とのふれあい創出事業

児童・生徒などが木材製品に接する機会や木材によるものづくりを学習、体験する機会を創出するため、9月に田村市立緑小学校において木工工作の出前講座を行った。

(4) 里山林整備事業

地域住民が行う身近な森林の整備や森林づくりへの意識醸成活動を推進するため、須賀川市の特定非営利活動法人竹トピアが取り組む里山林の整備を支援した。

(5) 林業研究グループ交流促進事業

地域の林業研究グループ等が取り組む特色ある活動を推進するため、NPO法人小野自然倶楽部が森林ボランティア団体と連携して10月に行った山林の草刈や苗木植栽、薪割りなどの体験活動を支援した。

3 現在の問題点及び今後の改善方向

引き続き、地域の実情に応じた市町村の創意工夫を凝らした森林環境学習の取組を支援するとともに、県産材利用の啓発に向けた木材製品の展示等、地域関係者が取り組む森林整備や普及啓発活動などの支援に積極的に取り組む。

【集落排水施設整備の取組】

～農村地域の住環境の向上と水質保全のために～

1 取組の目的、内容

県では、農村の住環境の向上と農業農村の水質保全・改善のために農業集落排水事業を推進しています。

平成 22 年度に策定した「ふくしまの美しい水環境整備構想」に基づき、最終目標は汚水処理人口普及率 100%ですが、直近の整備目標を平成 31 年度末で 87%以上として推進しています。

県中地域における農業集落排水施設の普及率は、平成 29 年度末現在で 7.5%、平成 31 年度目標に対する達成率は、平成 29 年度末現在 83.4%となっています。

2 平成 30 年度の取組み

須賀川市と石川郡玉川村で農業集落排水事業を実施しています。

その内容は以下のとおりです。

(1) 大久保地区(須賀川市)

- ・処理計画人口：1,990 人
- ・処理計画戸数： 405 戸
- ・実施予定期間：平成 30～34 年度

(2) 玉川地区(玉川村)

- ・処理計画人口：2,490 人
- ・処理計画戸数： 565 戸
- ・実施予定期間：平成 30～36 年度

3 平成 31 年度の取組み

平成 31 年度新規地区として郡山市で農業集落排水事業を実施します。

その内容は以下のとおりです。

(1) 三丁目地区(郡山市)

- ・処理計画人口：1,100 人
- ・処理計画戸数： 225 戸
- ・実施予定期間：平成 31～33 年度

4 今後の課題と対応

農業集落排水事業は市町村が事業主体であるため、県は計画的な事業推進について、指導・支援を行っております。

【豊かな農山村の形成】

～森林管理道整備の取組～

1 取り組みの概要

森林管理道は、森林の有する多面的な機能を高度に発揮させるため、地域のニーズや自然条件に応じて森林の適正な整備・保全を図るとともに、効率的かつ安定的な林業経営の確保、森林の総合利用の促進、山村の生活環境の改善、地域産業の振興にも資する林道の整備を行うものです。

このうち、須賀川市に開設している森林管理道・戸渡藤沼線の整備状況について紹介します。

起点位置：須賀川市長沼字諏訪入地内

終点位置：須賀川市勢至堂字屋敷地内

幅員：5.0m 全体計画延長：14,300m(舗装路線)

利用区域(受益)面積：672ha 内訳 民有林面積：457ha、国有林面積：215ha

事業期間：平成2年度～平成32年度(完了予定)

2 取り組みの成果

平成2年度に事業に着手し、平成30年度末現在で開設延長は11,450mで進捗率は80%となっています。

これまで開設した区間を利用した間伐等森林整備も進んでおり、県行造林や官行造林などの組織造林も多く市場までの搬出路として成果をあげています。

また、同時にアスファルト舗装も実施していることから、走行性も良好で、林道沿線には人家もあるため、地域の交通路としての役割も果たしています。

さらに、起点側には温泉付きのコテージ施設があることから、こちらへのアクセス道路としても利用されており、林業経営のみならず山村地域の生活環境改善や地域振興にも寄与しています。

3 今後の展望

林道開設工事は起点及び終点からそれぞれの工区として中間地点に向かって実施してきており、残延長が3,000mを切った段階での現場は地形が急峻であり、安全に工事を実施するために時間を要しています。

平成31年度工事では、いよいよ起点側と終点側が土工事により連絡するとともに、さらに舗装工事により1,300mがあらたに完成する予定となっています。

全線開通による利用効果は、災害時の迂回路など地域の路網としても大きな役割を果たすものと期待されており、平成32年度の事業完了を目指して今後

とも安全第一に事業を進めていきます。



【都市と農村の交流促進活動】

～グリーン・ツーリズムの推進～

1 取組の概要と経緯

県中地方では、平成15年度に「県中地方グリーン・ツーリズム推進会議（以下、「推進会議」）」を設置し、行政が主導する形で都市と農村の交流促進活動等を推進してきました。

東日本大震災と原発事故の影響により一時的に活動が停滞したものの、「郡山ふるさと田舎体験協議会」や「天栄村ふるさと子ども夢学校推進協議会」など、広域的な活動組織が設立され、他地域においても、新たにグリーン・ツーリズムに取り組む方が見られるなど、各地域の特色を生かした活動の芽が見えるようになりました。

そこで、各団体による主体的な活動を促すため、推進会議に代わる組織として平成26年3月6日に「県中地方グリーン・ツーリズムネットワーク」を設立し、当所企画部地域農林企画課が事務局としてサポートする体制となりました。

平成28年3月8日には、田村市農林課を事務局とする「田村市グリーン・ツーリズム連絡協議会」が、平成28年4月28日には、須賀川市農政課を事務局とする「須賀川市グリーン・ツーリズム推進協議会」が、平成29年10月31日には、当所企画部地域農林企画課を事務局とする「石川地方グリーン・ツーリズム推進協議会」が設立され、県中管内におけるグリーン・ツーリズム推進体制が整いました。

しかしながら、設立から期間の短い協議会については、引き続き、体験メニューの充実やブラッシュアップ等を図る必要があるため、県内の親子を対象とした体験活動の実施を通じて支援をしています。

また、農山村と都市の交流による農山村地域の活性化に資することを目的に、県中地方グリーン・ツーリズムネットワーク会員を対象とした交流会や農家民宿・民泊開設に係る講演会やセミナー、情報提供等の各種支援を行っています。

2 平成30年度の取組状況

平成30年度は、「地域創生総合支援事業 県戦略事業」内の「グリーン・ツーリズム実践者養成事業」を活用して、親子農山村体験交流バスツアーの開催や県中地方グリーン・ツーリズムネットワーク交流会の開催等に取り組みました。

親子農山村体験交流バスツアーは、平成30年8月5日、古殿町にて県内の親子を対象として開催し、22組の親子が参加しました。地元農産物を使用した伝

統食づくりや流鏑馬の里として知られる古殿町の馬とのふれあい等により、農山村の魅力や地元農産物のおいしさを体験していただき、都市農村交流を推進しました。

県中地方グリーン・ツーリズムネットワーク交流会は、平成31年2月15日に須賀川市民交流センター「tette」において開催し、34名が参加しました。農家民宿・民泊開業等に係るグリーン・ツーリズム実践者による講演や情報交換等を実施し、県中地方グリーン・ツーリズムネットワーク会員相互の交流を促進しました。

【県中農林事務所管内における取組状況】

ア 旅館業法に基づく農家民宿開業件数 24件（平成31年度末現在）

イ 住宅宿泊事業法に基づく開業件数 6件（平成31年度末現在）

※県全体29件（浜通り4件、中通り11件、会津14件）

ウ 県中地方のグリーン・ツーリズム実践者数（※）

200名（平成31年1月現在）

※各地域協議会員及び個人実践者。前年から11名増。



親子農山村体験交流バスツアー
平成30年8月5日（古殿町）



3 課題及び今後の取組方針

県中地方の中山間地域における農林業の振興と地域産業の復興に向けては、都市と農村の交流人口を拡大するため、引き続きグリーン・ツーリズムを推進していくことが必要です。また、田村市グリーン・ツーリズム連絡協議会及び石川地方グリーン・ツーリズム推進協議会は設立から期間が短いため、活動を支援する必要があります。

次年度以降も、県中地方グリーン・ツーリズムネットワーク会員や実践者への農家民宿・民泊開宿や住宅宿泊事業法等の制度に係る情報提供、交流会や講演会の開催による支援、体験交流イベントの開催等による都市住民への理解促進等の活動を推進する予定です。

3 事業実績（平成30年度）

（1） 企画部

（単位：円）

事業名	地区数	事業費	補助金額	補助金内訳		その他
				国庫	県費	
「ふくしまプライド。」販売力強化支援事業（市町村）	12	23,770,643	23,563,332	23,563,332	—	
「ふくしまプライド。」販売力強化支援事業（民間団体）	16	13,542,324	13,044,436	13,044,436	—	
学校給食等産地消推進事業	21	5,488,867	4,733,421	4,733,421	—	
農業委員会交付金等事業	12	400,611	31,355	31,355	—	
機構集積支援事業	12	12,170	10,736	10,736	—	
農地利用最適化交付金事業	12	29,636	29,636	29,636	—	
合 計	85	43,244,251	41,412,916	41,412,916	0	

（2） 農業振興普及部・田村農業普及所・須賀川農業普及所

（単位：千円）

事業名	地区数	事業費	補助金額	補助金内訳		その他
				国庫	県費	
農業系汚染廃棄物処理事業	4	252,777	252,777	252,777	—	—
産地パワーアップ事業	2	73,311	33,940	33,940	—	39,371
経営所得安定対策等推進事業	12	67,741	67,017	67,017	—	724
売れる大豆、麦、そば魅力ある産地づくり事業	1	688	238	—	238	450
ふくしまの恵み安全・安心推進事業	15	160,077	148,824	148,824	—	11,253
福島県営農再開支援事業	22	286,048	282,298	282,298	—	3,750
中山間地域等直接支払交付金	11	461,188	339,872	218,556	121,316	121,316
中山間地域等直接支払推進交付金	11	4,684	3,030	3,030	0	1,654
環境保全型農業直接支払交付金	7	16,043,260	12,032,445	8,021,630	4,010,815	—
環境保全型農業直接支払推進交付金	7	298,715	282,000	282,000	—	—
鳥獣被害防止総合対策交付金	15	63,258	57,190	48,271	8,919	6,068
東日本大震災農業生産対策交付金	8	7,948,706	2,795,076	1,194,303	1,600,773	5,153,630
原子力被災12市町村農業者支援事業	31	275,179	184,283	184,283	—	90,896
合 計	146	25,935,632	16,478,990	10,736,929	5,742,061	5,429,112

※委託料

(3) 農村整備部

(単位：千円)

事業名	全体		平成30年度	平成30年度	平成31年度	進捗率 (%)	担当課	
	地区数	事業費	事業費	まで事業費	以降事業費			
かんがい排水事業 (県営)	3	1,252,400	288,000	869,000	383,400	69.4	農村整備課	
水利施設整備事業	3	1,252,400	288,000	869,000		69.4		
ほ場整備事業 (県営)	9	8,577,000	1,048,000	3,029,730	5,547,270	35.3		
農地整備事業 (経営体育成型)	9	8,577,000	1,048,000	3,029,730		35.3		
農地防災事業 (県営)	5	4,359,233	900,000	3,179,808	1,179,425	72.9		
ため池等整備事業 (ため池整備工事)	1	1,526,633	70,000	1,516,633		99.3		
ため池等整備事業 (用排水施設整備工事)	2	1,027,900	330,000	792,650		77.1		
防災ダム事業	1	776,800	200,000	321,825		41.4		
特定農業用管水路等特別対策事業	1	1,027,900	300,000	548,700		53.4		
農地保全事業 (県営)	0	0	0	0	0	#DIV/0!		
地すべり対策事業					0	#DIV/0!		
県単農村整備事業費	1	7,732	2,000	7,732	0	100.0		
地すべり防止区域維持管理事業	1	7,732	2,000	7,732	0	100.0		
小計	18	14,196,365	2,238,000	7,086,270	7,110,095	—		
農道整備事業 (県営)	3	2,220,000	649,000	1,730,862	489,138	78.0		
農地整備事業 (通作条件整備型)	3	2,220,000	649,000	1,730,862		78.0		
農村総合整備事業 (県営)						#DIV/0!		
中山間地域総合整備事業 (※)						#DIV/0!		
農業集落排水事業 (団体営)	2	2,083,200	110,612	110,612	1,972,588	5.3		
農業集落排水事業	2	2,083,200	110,612	110,612		5.3		
農地耕作条件改善事業 (団体営)	1	6,000	567	2,004	3,996	33.4		
基盤整備事業	1	6,000	567	2,004	3,996	33.4		
農業水利施設保全管理整備事業 (団体営)	2	276,000	25,000	25,000	251,000	9.1		
地域農業水利施設ストックマネジメント事業	2	276,000	25,000	25,000	251,000	9.1		
中山間地域総合整備事業 (県営)	2	2,310,600	397,000	1,529,800	780,800	66.2		
中山間地域総合整備事業	2	2,310,600	397,000	1,529,800		66.2		
災害調査費	1	85,000	25,000	65,000	20,000	76.5		
災害調査事業	1	85,000	25,000	65,000		76.5		
小計	11	6,980,800	1,207,179	3,463,278	3,517,522	—		
土地改良施設管理事業 (団体営)	4	393,440	87,980	87,980	305,460	22.4		農地計画課
国営造成施設管理体制整備促進事業	3	381,600	76,140	76,140	(H31) 78,908	20.0		
基幹水利施設管理事業	1	11,840	11,840	11,840	(H31) 12,292	100.0		
土地改良施設等管理 (団体営)	1	49,460	11,499	49,460	0	100.0		
防災施設管理事業	1	49,460	11,499	49,460	(H31) 7,808	100.0		
経営体育成促進事業 (団体営)	10	252,666	40,947	252,666	0	100.0		
調査・調整事業	9	11,550	11,550	11,550	0	100.0		
促進事業	1	241,116	29,397	241,116	0	100.0		
農用地等集団化事業 (団体営)	2	5,051	5,051	5,051	0	100.0		
中山間ふるさと水と土指導員活動支援事業 (団体営)					0	#DIV/0!		
水土里を育む普及促進事業 (団体営)	3	439	439	439	0	100.0		
地籍調査事業 (団体営)	3	2,554,803	34,480	2,554,803	0	100.0		
多面的機能支払交付金	17	786,137	786,137	786,137	0	100.0		
農地維持・資源向上 (長寿命化を除く)	12	740,183	740,183	740,183	0	100.0		
資源向上 (長寿命化)	5	45,954	45,954	45,954	0	100.0		
農村環境整備事業実施計画費	3	52,000	52,000	52,000	0	100.0		
農業競争力強化基盤整備事業 (県営)	2	44,000	44,000	44,000	0	100.0		
農業水路等・長寿命化防災減災事業	1	8,000	8,000	8,000	0	100.0		
土地改良施設維持管理適正化事業【緊急整備型】	1	13,637	13,637	13,637	0	100.0		
調査設計事業 (団体営)	2	4,900	4,900	4,900	0	100.0		
農業集落排水事業 (最適整備構想) (団体営)	1	6,000	6,000	6,000	0	100.0		
復興基盤実施計画 (県営)	2	87,472	34,452	87,472	0	100.0		
					0	#DIV/0!		
震災対策農業水利施設整備事業 (団体営)	4	38,759	38,759	38,759	0	100.0		
小計	53	4,244,764	1,116,281	3,939,304	305,460	—		
合計	82	25,421,929	4,561,460	14,488,852	10,933,077	—		

(4) 森林林業部

(単位：千円)

事業名	地区数	事業費	補助金	補助金内訳		その他
				国庫	県費	
林業課						
ふくしま森林再生事業	12	1,961,746	1,606,286	1,377,776	228,510	355,460
ふくしま森林再生事業(県営林)	10	43,023	43,023	24,605	18,418	0
森林病虫害等防除事業(松くい虫・伐倒駆除・奨励)	2	1,234	926	617	309	309
森林病虫害等防除事業(松くい虫・空中散布)	1	2,692	2,019	1,346	673	673
森林病虫害等防除事業(松くい虫・地上散布)	2	1,901	1,426	950	475	475
森林病虫害等防除事業(カシノナガキクイムシ・樹幹注入)	1	2,014	1,511	1,007	504	504
森林病虫害等防除事業(カシノナガキクイムシ・伐倒駆除・奨励)	1	244	183	122	61	61
森林病虫害等防除事業(カシノナガキクイムシ・伐倒駆除・推進)	1	2,133	1,067		1,067	1,067
一般造林補助事業	26	378,012	154,560	113,404	41,156	223,454
保全松林健全化整備事業	6	27,335	19,134	13,667	5,467	8,200
松林保護樹林帯造成事業	2	5,459	3,821	2,730	1,092	1,638
森林環境基金森林整備事業	3	28,340	28,330	0	28,330	10
森林資源造成支援事業	8	19,100	6,112	0	6,112	12,988
森林環境交付金事業(森林環境基本枠)	12	36,582	35,873	0	35,873	709
森林環境交付金事業(地域提案重点枠)	4	10,309	5,719	0	5,719	4,590
里山林整備事業	3	2,241	2,074	0	2,074	167
間伐材搬出支援事業	2	9,472	4,995	0	4,995	4,477
市町村森林所有者情報活用推進事業	1	983	491	491		492
福島県木材加工流通施設等復旧対策事業(安全なきのこ原木等供給支援事業)	1	21,342	9,880	9,880	0	11,462
福島県森林整備担い手対策基金事業	1	2,348	1,174	0	1,174	1,174
小計	99	2,556,511	1,928,603	1,546,596	382,008	627,909
森林土木課						
森林管理道整備事業(県営)	1	120,000	87,000	54,000	33,000	33,000
林業専用道整備事業(県営)	3	155,000	107,000	75,000	32,000	48,000
林業専用道整備事業(団体営)	4	170,000	117,500	82,500	35,000	52,500
森林整備促進路網整備事業(森林環境基金)	5	21,876	18,547		18,547	3,329
復旧治山事業(30補正)	1	41,356	41,356	20,678	20,678	
予防治山事業	2	59,700	59,700	29,850	29,850	
保安林改良事業	1	2,500	2,500	1,250	1,250	
保育事業	1	5,940	5,940	1,980	3,960	
治山施設(県営)事業	2	34,569	34,569		34,569	
小計	20	610,941	474,112	265,258	208,854	136,829
合計	119	3,167,452	2,402,715	1,811,854	590,862	764,738

4 災害の状況（平成30年度）

（1）平成30年度の農林業災害の状況

県中地方では、6月以降の高温・小雨により農業被害額が27,875千円となり、大きな被害を受けました。

また、9月の台風21号では、農業被害額2,679千円、10月の24号では、農業被害額6,750千円、林業被害額20,000円となり、総額では、57,304千円となりました。

地域別に見ると、須賀川・岩瀬地域の被害額が最も大きく、30,465千円、次いで石川地域で21,364千円、田村地域が5,574千円となっています。

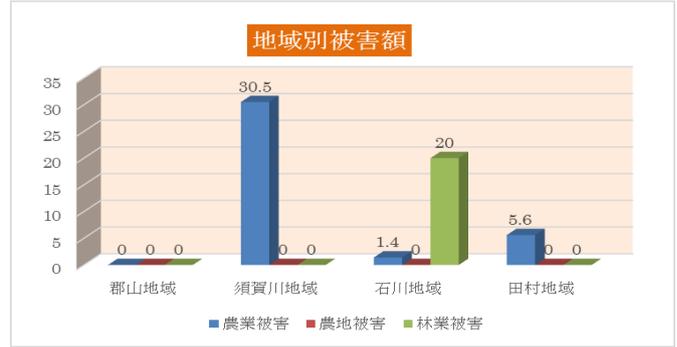
平成30年度災害発生による被害状況

被害発生日	災害名	被害額 (千円)	被害状況
【農業被害】			
6月～	高温・小雨による被害	27,875	水稲16.1ha（須賀川市、鏡石町）、きゅうり11ha（鏡石町） さやいんげん9.1ha（須賀川市、鏡石町）
9月4日	台風21号	2,679	落果：りんご6ha、日本なし6ha、西洋なし0.3ha（須賀川市） りんご2ha（鏡石町、三春町）、日本なし0.06ha（三春町） 倒木：りんご0.10ha（三春町） 風倒：ねぎ0.4ha（三春町） 水濡れ：葉たばこ0.02ha（田村市）
10月1日	台風24号	6,750	落果：りんご5ha（須賀川市、石川町）、アケビ0.1ha（田村市） 倒木：りんご0.10ha（玉川村）、りんご0.15ha（三春町） 風倒：ねぎ3.1ha（田村市、三春町） 農業施設：パイプハウス9棟 338㎡（石川町、田村市）、果樹棚1件（田村市）
小計		37,304	
【農地被害】			
小計		0	
【林業被害】			
10月1日	台風24号	20,000	山腹斜面の崩落1箇所（古殿町）
小計		20,000	
合計		57,304	

市町村別農林業被害状況

(単位：百万円)

地域名	農業被害	農地被害	林業被害	計
郡山地域	0	0	0	0
須賀川地域	30.5	0	0	30.5
石川地域	1.4	0	20	21.4
田村地域	5.6	0	0	5.6
計	37.5	0	20	57.5



市町村別農林業被害状況

上段：か所、面積 (ha)

下段：被害額 (千円)

	農業被害				農地被害			森林・林道被害				合計		地域別	
	農作物	樹体	農業施設	小計	田畑	施設	小計	森林等	林道	治山	小計	(ha)	(か所)		
	(ha)	(ha)	(か所)	(ha)	(か所)	(か所)	(か所)	(か所)	(か所)	(か所)	(か所)	(ha)	(か所)		
	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)		
郡山市	-	-	-	0.00	0	-	-	0	-	-	-	0	0.00	0	郡山地域
	-	-	-	0	-	-	0	-	-	-	0	0	0		
須賀川市	29.70	-	-	29.70	0	-	-	0	-	-	-	0	29.70	0	須賀川地域
	15,088	-	-	15,088	-	-	0	-	-	-	0	15,088	0		
田村市	0.38	-	2	0.38	2	-	-	0	-	-	-	0	0.38	2	田村地域
	1,175	-	852	2,027	-	-	0	-	-	-	0	2,027	0		
鏡石町	21.80	-	-	21.80	0	-	-	0	-	-	-	0	21.80	0	須賀川地域
	15,377	-	-	15,377	-	-	0	-	-	-	0	15,377	0		
天栄村	-	-	-	0.00	0	-	-	0	-	-	-	0	0.00	0	須賀川地域
	-	-	-	0	-	-	0	-	-	-	0	0	0		
石川町	4.00	-	1	4.00	1	-	-	0	-	-	-	0	4.00	1	石川地域
	957	-	361	1,318	-	-	0	-	-	-	0	1,318	0		
玉川村	-	0.10	-	0.10	0	-	-	0	-	-	-	0	0.10	0	石川地域
	-	46	-	46	-	-	0	-	-	-	0	46	0		
平田村	-	-	-	0.00	0	-	-	0	-	-	-	0	0.00	0	石川地域
	-	-	-	0	-	-	0	-	-	-	0	0	0		
浅川町	-	-	-	0.00	0	-	-	0	-	-	-	0	0.00	0	石川地域
	-	-	-	0	-	-	0	-	-	-	0	0	0		
古殿町	-	-	-	0.00	0	-	-	0	-	-	1	1	0.00	1	石川地域
	-	-	-	0	-	-	0	-	-	20,000	20,000	20,000	0		
三春町	3.36	0.25	-	3.61	0	-	-	0	-	-	-	0	3.61	0	田村地域
	3,331	216	-	3,547	-	-	0	-	-	-	0	3,547	0		
小野町	-	-	-	0.00	0	-	-	0	-	-	-	0	0.00	0	田村地域
	-	-	-	0	-	-	0	-	-	-	0	0	0		
合計	59.24	0.35	3.00	59.59	3	0	0	0	0	0	1.00	1.00	59.59	4	
	35,928	262	1,213	37,403	0	0	0	0	0	0	20,000	20,000	57,403	0	

5 市町村農林水産概要

(1) 農林統計一覽

市町村別概要

区分 市町村 村名	総面積 H30 (km ²)	耕地面積H30			林野面積 H29 (ha)	林野率 H29 (%)	世帯数 H31.3.1 (戸)	総人口 H31.3.1 (人)	農家人口 H27.2.1 (人)	総農家数 H27.2.1 (戸)	販売農家 H27.2.1 (戸)	内 訳				自給的 農家 H27.2.1 (戸)
		田 (ha)	畑 (ha)	計 (ha)								専 業 (戸)	兼 業 (戸)			
													総 数	1 種	2 種	
郡山市	757.20	9,880	2,400	12,300	39,942	52.7	141,682	332,232	17,873	6,139	4,372	963	3,408	615	2,793	1,767
須賀川市	279.43	5,790	1,350	7,140	11,921	42.7	27,211	76,082	12,796	3,341	2,813	571	2,242	443	1,799	528
鏡石町	31.30	1,070	278	1,350	344	11.0	4,374	12,305	1,698	469	374	97	277	84	193	95
天栄村	225.52	1,030	183	1,210	19,221	85.2	1,691	5,310	2,363	634	506	48	458	91	367	128
石川町	115.71	1,290	790	2,080	5,897	51.0	5,177	14,867	3,718	1,257	892	180	712	66	646	365
玉川村	46.67	590	330	920	2,149	46.0	2,035	6,552	2,405	727	551	100	451	49	402	176
平田村	93.42	845	612	1,460	5,837	62.5	2,021	6,052	2,514	798	626	117	509	72	437	172
浅川町	37.43	720	188	908	1,575	42.1	2,039	6,207	1,811	488	402	45	357	43	314	86
古殿町	163.29	496	320	816	13,509	82.7	1,645	4,889	1,832	651	452	73	379	30	349	199
須賀川地 域	992.77	11,831	4,051	15,884	60,453	60.9	46,193	132,264	29,137	8,365	6,616	1,231	5,385	878	4,507	1,749
田村市	458.33	2,890	2,750	5,640	30,303	66.1	12,815	36,465	10,242	3,720	2,436	441	1,995	217	1,778	1,284
三春町	72.76	619	551	1,170	2,340	32.2	6,347	17,694	2,900	1,023	675	124	551	57	494	348
小野町	125.18	849	566	1,420	8,627	68.9	3,433	9,859	2,822	858	667	116	551	80	471	191
田村地域	656.27	4,358	3,867	8,230	41,270	62.9	22,595	64,018	15,964	5,601	3,778	681	3,097	354	2,743	1,823
県中計	2,406.24	26,069	10,318	36,414	141,665	58.9	210,470	528,514	62,974	20,105	14,766	2,875	11,890	1,847	10,043	5,339
県全体	13,783.90	99,300	41,500	140,800	974,223	70.7	748,884	1,855,265	212,372	75,338	52,270	12,078	40,192	6,279	33,913	23,068
県中 シェア (%)	17.5	26.3	24.9	25.9	14.5	-	28.1	28.5	29.7	26.7	28.2	23.8	29.6	29.4	29.6	23.1

※総面積：国土地理院「全国都道府県市町新面積」、耕地面積：H30作物統計調査、林野面積・林野率：H30福島県森林・林業統計書(H29)
 ※世帯数・人口：H27国勢調査に基づく推計（福島県の推計人口H31.3.1）、農家人口：第133回福島県統計調査(H27)、農家数：2015農林業センサス

主要農林産物生産状況

区 分	作物名	作付面積 (ha)		県中シェア (%)	出荷量等 (t) *		県中シェア (%)
		県全体	県中		県全体	県中	
普通作物	水 稲	64,900	19,100	29.4%	364,100	104,880	28.8%
	きゅうり	648	188	29.0%	33,552	10,548	31.4%
	ピーマン	42	24	57.1%	1,910	1,558	81.6%
特用林産物	木 炭	-	-	-	149,022	41,301	27.7%
	生しいたけ	-	-	-	2,675	661	24.7%
	乾しいたけ	-	-	-	4	0	0.0%
	なめこ	-	-	-	1,924	1,006	52.3%

※普通作物：作物統計調査（平成30年産市町村別データ：調査年はH29）による
 （水稲は収穫量、その他は出荷量）
 ※特用林産物：平成30年福島県森林・林業統計書（調査年はH29）による（生産量）

(2) 農業従事者等の推移(販売農家)

市町村名	区分	農業従事者数(人)		基幹的農業従事者数(人)	
			65歳以上率(%)		65歳以上率(%)
郡山	市	11,985	38%	5,538	64%
須賀川	市	8,603	34%	3,980	58%
鏡石	町	1,158	33%	636	51%
天栄	村	1,479	32%	509	63%
石川	町	2,460	38%	1,072	71%
玉川	村	1,666	36%	693	69%
平田	村	1,742	34%	719	63%
浅川	町	1,269	36%	474	77%
古殿	町	1,260	38%	476	74%
須賀川地域		19,637	35%	8,559	63%
田村	市	7,074	39%	3,163	72%
三春	町	1,934	41%	852	73%
小野	町	1,956	35%	822	69%
田村地域		10,964	39%	4,837	71%
県中	H27	42,586	37%	18,934	65%
県全体		141,534	40%	65,076	68%
県中シェア(%)		30.1	—	29.1	—
県中	H7	81,121	(不明)	25,628	31%
県中	H12	77,888	(不明)	24,184	46%
県中	H17	67,290	32%	23,742	55%
県中	H22	59,176	34%	22,204	60%
県中	H27	42,586	37%	18,934	65%

※ 2015農林業センサスによる

※ 基幹的農業従事者＝農業就業人口（農業に主として従事した世帯員数）のうち、普段仕事を主とするもの。

(3) 新規就農者の確保状況

項目 区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成30年度の内訳		
							新規学卒	Uターン	新規参入
郡山市	20	14	18	25	18	15	2	7	6
須賀川市	5	1	10	8	8	2	1	0	1
鏡石町	1	0	0	4	2	3	0	3	0
天栄村	3	1	0	2	5	1	0	1	0
石川町	10	6	3	4	2	5	0	0	5
玉川村	0	0	1	1	1	1	0	1	0
平田村	0	0	0	0	0	1	0	1	0
浅川町	0	0	0	0	2	1	0	1	0
古殿町	1	1	0	0	0	2	0	1	1
須賀川地域	20	9	14	19	20	16	1	8	7
田村市	1	3	2	6	8	6	0	5	1
三春町	1	0	0	2	4	0	0	0	0
小野町	3	3	2	4	2	0	0	0	0
田村地域	5	6	4	12	14	6	0	5	1
県中計	45	29	36	56	52	37	3	20	14
県全体	224	166	212	238	211	219	34	57	128
県中シェア (%)	20.1	17.5	17.0	23.5	24.6	16.9	8.8	35.1	10.9

(4) 認定農業者の年次別認定状況

区分 市町村名	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	うち法人数		うち法人数		うち法人数		うち法人数		うち法人数		うち法人数	
郡山市	344	20	468	21	583	22	584	27	590	28	590	36
須賀川市	252	14	324	17	360	18	373	19	375	19	383	20
鏡石町	40	1	71	1	89	1	88	1	92	1	96	2
天栄村	47	1	123	1	147	1	155	1	157	1	156	3
石川町	56	4	73	5	80	6	82	9	77	8	79	11
玉川村	39	2	49	2	49	2	51	2	50	2	48	2
平田村	72	3	78	4	77	4	79	4	80	2	78	5
浅川町	19	2	30	2	34	2	37	2	36	3	36	3
古殿町	55	5	55	5	59	5	58	5	61	6	63	6
須賀川地域	580	32	803	37	895	39	923	43	928	42	939	48
田村市	89	4	152	5	168	4	182	5	185	3	278	10
三春町	22	2	38	2	47	2	47	2	49	4	51	5
小野町	30	1	33	1	32	1	37	1	37	2	37	1
田村地域	141	7	223	8	247	7	266	8	273	9	278	16
県中計	1,065	59	1,494	66	1,725	68	1,773	78	1,791	79	1,807	100
県全体	6,141	243	6,398	267	6,647	622	6,782	304	7,721	539	—	—
県中シェア (%)	17.3	24.3	23.4	24.7	26.0	10.9	26.1	25.7	23.2	14.7	—	—

(5) 家族協定締結・エコファーマー認定件数

市町村名	項目	家族用協定締結戸数	エコファーマー認定件数
郡山	市	84	348
須賀川	市	33	626
鏡石	町	12	47
天栄	村	20	136
石川	町	6	100
玉川	村	11	113
平田	村	5	65
浅川	町	6	74
古殿	町	9	238
須賀川	地域	102	1,399
田村	市	26	305
三春	町	8	136
小野	町	20	32
田村	地域	54	473
県中	計	240	2,220
県全	体	1,096	11,514
県中	シェア (%)	21.9	19.3

※ 県中農林事務所調べ（平成30年度）

● エコファーマーとは

「持続性の高い農業生産方式の導入に関する法律」に基づき、たい肥等を活用した土づくりと化学肥料・農薬の使用低減を一体的に行う農業生産技術に取り組むため、「持続性の高い農業生産方式の導入に関する計画」を作成し、県知事の認定を受けた農業者をいいます。

● 持続性の高い農業生産方式とは

「持続性の高い農業生産方式」とは、生産量や品質の水準を維持しながら、土壌の性質に由来する農地の生産力を維持・増進し、より良い営農環境を保っていくための生産方式です。

このための技術は、大きく3つに分けられ、さらにそれぞれの中には以下のような技術があります。持続性の高い農業生産方式はこれらの技術を一体的に行います。

土づくりに関する技術	化学肥料低減技術	化学農薬低減技術
<ul style="list-style-type: none"> ・たい肥等有機質資材施用技術 ・緑肥作物利用技術 	<ul style="list-style-type: none"> ・局所施肥技術 ・肥効調節型肥料施用技術 ・有機質肥料施用技術 	<ul style="list-style-type: none"> ・温湯種子消毒 ・機械除草技術 ・除草用動物利用技術 ・生物農薬利用技術 ・対抗植物利用技術 ・被覆栽培技術 ・フェロモン剤利用技術 ・マルチ栽培技術 ・抵抗性品種・台木の利用 ・熱利用土壌消毒の実施 ・光利用技術

(6) 第三者認証GAPの取得件数

(単位：件)

市町村名	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	第三者認証 GAP取得総数 (H31.3月末)
郡山市		0	0	3	3
須賀川市		0	1	2	2
鏡石町		0	0	0	0
天栄村		0	0	0	0
石川町		0	0	0	0
玉川村		0	0	0	0
平田村		0	0	0	0
浅川町		0	0	0	0
古殿町		0	0	0	0
須賀川地域		0	1	2	3
田村市		0	2	0	2
三春町		0	2	2	4
小野町		0	0	1	1
田村地域		0	4	3	7
県中計		0	5	8	13
県全体		10	52	92	154
県中シェア(%)		0	9.6	8.7	8.4

(7) 経営耕地面積規模別農家数

(単位：戸、%)

区分 市町村名	計	経営耕地面積規模別内訳						3ha以上 割合
		～0.5	0.5～1.0	1.0～3.0	3.0～5.0	5.0～10.0	10.0ha以上	
郡山市	4,372	537	1,171	1,986	372	214	92	16%
須賀川市	2,813	198	605	1,422	386	166	36	21%
鏡石町	374	22	47	172	77	48	8	36%
天栄村	506	37	108	263	58	33	7	19%
石川町	892	172	339	301	55	20	5	9%
玉川村	551	88	232	214	14	3	0	3%
平田村	626	103	210	258	34	21	0	9%
浅川町	402	31	116	209	27	19	0	11%
古殿町	452	124	171	143	8	5	1	3%
須賀川地域	6,616	775	1,828	2,982	659	315	57	16%
田村市	2,436	542	985	767	88	44	10	6%
三春町	675	149	282	215	23	6	0	4%
小野町	667	111	250	250	34	20	2	8%
田村地域	3,778	802	1,517	1,232	145	70	12	6%
県中計 H27	14,766	2,114	4,516	6,200	1,176	599	161	13%
県全体	52,270	7,671	15,275	22,017	4,276	2,249	782	14%
構成比(%)	28.2	27.6	29.6	28.2	27.5	26.6	20.6	-
県中 H7	25,883	3,764	8,030	12,248	1,478	339	24	7%
県中 H12	23,614	3,655	7,658	10,491	1,367	400	43	8%
県中 H17	20,952	3,092	6,972	9,049	1,333	443	63	9%
県中 H22	18,609	2,503	5,872	8,216	1,362	553	103	11%
県中 H27	14,766	2,114	4,516	6,200	1,176	599	161	13%

※2015年農林業センサスによる。

(8) 品目別栽培農家数及び家畜飼養農家数

品目別栽培農家数

(単位：戸)

区分 市町村名	トマト	なす	ピーマン	きゅうり	いちご	りんご	ぶどう	日本なし	もも	うめ	花き類 (切り花類)
	郡山市	526	631	135	699	24	15	33	60	13	54
須賀川市	139	202	39	524	18	179	38	159	136	26	65
鏡石町	29	37	9	149	16	33	2	9	21	5	3
天栄村	34	52	11	84	1	6	—	—	2	6	7
石川町	55	62	18	66	3	17	1	11	7	4	8
玉川村	64	76	16	101	2	6	—	—	6	7	17
平田村	27	41	14	39	—	2	—	—	—	1	8
浅川町	12	10	2	15	—	1	—	—	—	1	5
古殿町	34	35	9	43	1	—	—	—	—	4	4
須賀川地域	394	515	118	1,021	41	244	41	179	172	54	117
田村市	121	106	151	91	3	11	5	3	6	11	43
三春町	65	75	91	67	8	5	1	1	2	4	26
小野町	26	29	25	28	—	—	—	—	—	1	6
田村地域	212	210	267	186	11	16	6	4	8	16	75
県中計	1,132	1,356	520	1,906	76	275	80	243	193	124	277
県全体	3,852	4,210	1,376	5,836	490	2,129	575	1,167	3,197	584	1,281
県中シェア (%)	29.4	32.2	37.8	32.7	15.5	12.9	13.9	20.8	6.0	21.2	21.6

※表中に使用した記号は、右記のとおり。「—」：事実がないもの。「0」：単位に満たないもの。「x」：秘密保護上統計数値を公表しないもの。
※2015農林業センサスによる。

家畜飼養農家数及び飼養頭端数

(単位 農家数：戸 頭数：頭 羽数：羽)

区分 市町村名	乳用牛		肉用牛		豚		採卵鶏	
	飼養農家数	飼養頭数	飼養実農家数	飼養頭数	飼養農家数	飼養頭数	飼養農家数	飼養羽数
郡山市	59	1,416	172	X	5	X	8	79,725
須賀川市	10	163	63	X	—	—	4	74
鏡石町	7	363	7	X	1	X	2	X
天栄村	3	X	7	X	—	—	—	—
石川町	22	611	118	X	1	X	4	556
玉川村	11	77	47	X	2	X	4	67
平田村	31	571	150	X	2	X	4	548,025
浅川町	11	136	66	X	1	X	2	X
古殿町	15	292	94	X	—	—	1	X
須賀川地域	110	2,213	552	—	7	—	21	548,722
田村市	53	1,604	354	X	1	X	6	655,617
三春町	8	100	61	X	—	—	1	X
小野町	37	705	87	X	—	—	1	X
田村地域	98	2,409	502	—	1	—	8	655,617
県中計	267	6,038	1,226	0	13	0	37	1,284,064
県全体	559	15,083	2,210	50,868	68	68,344	164	3,210,200
県中シェア (%)	47.8	40.0	55.5	0.0	19.1	0.0	22.6	40.0

※表中に使用した記号は、右記のとおり。「—」：事実がないもの。「x」：秘密保護上統計数値を公表しないもの。
※2015農林業センサスによる。

(9) 農業産出額

■ 平成30年の市町村別農業産出額(※)

(単位：1,000万円)

区分 市町村名	農業 産出額	種											畜産								加工 農産物
		耕種計	米	麦類	雑豆	穀類	いも類	野菜	果実	花き	工芸 農作物	種苗木 その他	畜産計	肉用牛	乳牛	生乳	豚	鶏	鶏卵	その他 畜産物	
郡山市	1,666	1,366	932	X	5	17	338	40	15	17	X	300	165	88	69	7	39	36	1	-	
須賀川市	1,229	1,090	524	X	2	5	362	158	35	1	X	138	128	11	9	-	0	0	0	-	
鏡石町	247	207	95	X	0	1	83	27	X	-	0	39	2	23	18	X	0	X	X	-	
天栄村	152	131	87	-	0	2	37	3	X	0	X	21	19	2	X	-	-	-	0	-	
石川町	278	194	95	X	0	3	62	25	4	4	X	84	45	39	31	X	0	0	X	-	
玉川村	252	105	50	X	0	2	46	3	3	0	X	147	20	5	4	X	0	0	X	-	
平田村	452	83	49	X	0	2	19	0	2	11	X	369	68	37	31	X	254	251	X	-	
浅川町	182	72	61	X	0	0	9	0	X	1	0	109	23	9	7	X	74	X	X	-	
古殿町	108	54	25	X	0	8	20	0	X	0	0	54	36	18	14	-	0	X	0	-	
須賀川地域	2,900	1,936	986	0	2	23	638	216	44	17	0	961	341	144	114	0	328	251	0	0	
田村市	893	333	139	X	1	3	123	4	10	52	X	560	148	98	73	-	314	300	1	-	
三春町	149	116	37	X	0	4	60	4	4	8	X	33	17	7	6	-	9	X	0	-	
小野町	221	92	54	X	0	1	23	0	X	12	0	130	82	46	40	-	0	X	1	-	
田村地域	1,263	541	230	0	1	8	206	8	14	72	0	723	247	151	119	0	323	300	2	0	
県中計	5,829	3,843	2,148	0	8	48	1,182	264	73	106	0	1,984	753	383	302	7	690	587	3	0	
県全体(億円)	2,050	1,566	748	X	8	14	458	249	63	15	1	483	140	96	75	41	166	138	2	0	
県中シェア(%)	28.4	24.5	28.7	-	10.0	34.3	25.8	10.6	11.6	70.7	0.0	41.1	53.8	39.9	40.3	1.7	41.6	42.5	15.0	0.0	

※表中に使用した記号は、右記のとおり。「-」：事実がないもの。「0」：単位に満たないもの。「X」：秘密保護上統計数値を公表しないもの。
 ※農林水産業センサスを活用した市町村別農業産出額の推計結果(H30)

(10) 主要農作物の作付面積

(単位 面積：a)

区分 市町村名	計	類別 作付面積								
		稲	麦類	雑穀	いも類	豆類	工芸農作物	野菜類	花き類・花木	その他の作物
郡山市	815,200	717,899	681	17,186	2,170	10,339	X	X	4,392	6,499
須賀川市	493,185	467,355	X	2,848	676	1,665	X	X	4,583	1,197
鏡石町	98,169	84,686	-	X	143	125	-	X	X	310
天栄村	89,580	X	-	697	X	194	X	X	X	X
石川町	90,865	77,173	105	364	354	704	1,191	X	X	2,777
玉川村	41,500	X	89	839	255	729	X	X	295	X
平田村	54,236	X	65	1,229	218	338	X	X	140	X
浅川町	53,756	49,362	-	X	X	X	X	X	X	220
古殿町	31,765	X	63	X	1,018	472	X	X	X	254
須賀川地域	953,056	678,576	322	5,977	2,664	4,227	1,191	-	5,018	4,758
田村市	179,231	107,578	187	417	395	1,157	11,878	X	X	5,386
三春町	44,243	28,366	X	33	453	307	X	X	X	X
小野町	58,940	45,824	295	351	X	278	2,794	X	X	1,331
田村地域	282,414	181,768	482	801	848	1,742	14,672	-	-	6,717
県中計	2,050,670	1,578,243	1,485	23,964	5,682	16,308	15,863	0	9,410	17,974
県全体	7,904,814	6,005,976	19,577	283,477	17,354	103,646	39,518	373,891	84,300	135,876
県中シェア (%)	25.9	26.3	7.6	8.5	32.7	15.7	40.1	0.0	11.2	13.2

※表中に使用した記号は、右記のとおり。「-」：事実がないもの。「X」未公表のもの。

※2015農林業センサスによる。

(11) 中山間地域等直接支払事業

1 目的

中山間地域において、水資源の涵養等の多面的機能を確保するため、耕作放棄地の発生防止等の適切な農業生産活動に対して、一定の条件の下で直接支払を実施する。

2 対象農用地

特定農山村法、山村振興法、過疎法の指定地域及び特認地域の農振農用地区域内における一団の農用地（1ha以上）で、次のいずれかの要件を満たすもの

- (1) 急傾斜農用地（勾配が田1/20以上、畑等15度以上）
- (2) 自然条件により小区画・不整形な田
- (3) 市町村長の判断により対象となる農用地
 - ・ 緩傾斜農用地（勾配が田1/100以上1/20未満、畑等8度以上15度未満）
 - ・ 高齢化率及び耕作放棄地率の高い集落農地

3 交付単価

地目	区分	体制整備単価	基礎単価
		単価（円/10a）	単価（円/10a）
田	急傾斜	21,000	16,800
	緩傾斜	8,000	6,400
畑	急傾斜	11,500	9,200
	緩傾斜	3,500	2,800
草地	急傾斜	10,500	8,400
	緩傾斜	3,000	2,400
採草牧草地	急傾斜	1,000	800
	緩傾斜	300	240

4 平成30年度実施状況

区分 市町村名	集落協定締結数			個別協定締結数			合計		
	協定締結数	協定参加者数 (人)	実施面積 (ha)	協定締結数	協定参加者数 (人)	実施面積 (ha)	協定締結数	協定参加者数 (人)	実施面積 (ha)
郡山市	34	978	822				34	978	822
須賀川市	33	475	186				33	475	186
天栄村	19	712	760				19	712	760
石川町	32	608	290				32	608	290
玉川村	18	593	206				18	593	206
平田村	44	327	183				44	327	183
浅川町	8	193	76				8	193	76
古殿町	53	655	338				53	655	338
須賀川地域	207	3,563	2,039	0	0	0	207	3,563	2,039
田村市	56	928	569				56	928	569
三春町	30	1,469	882				30	1,469	882
小野町	4	22	7				4	22	7
田村地域	90	2,419	1,458	0	0	0	90	2,419	1,458
県中計	331	6,960	4,319	0	0	0	331	6,960	4,319
県全体	1,171	—	15,229	29	29	146	1,200	29	15,375

※ 実施面積は、市町村ごとに数値をラウンドした。

※ 実施面積の県全体合計値は四捨五入の関係で一致しない。

(12) 環境保全型農業直接支払交付金

1 事業の趣旨

農業が本来有する自然循環機能を維持・増進するため、自然環境の保全に資する農業の生産方式を導入した農業生産活動の実施を推進する事業を実施する農業者団体等に対し、国・県・市町村が支援を行うものです。

2 事業概要

本事業は、取組団体等が化学肥料・化学合成農薬の使用を県の慣行レベルから原則5割以上低減する営農活動と合わせて行う取組や、それを推進するための活動（推進活動）について記載した営農活動計画書を作成し、これに基づき活動を実施した場合に交付金（国費1/2、県費1/4、市町村費1/4）が予算の範囲内で支給されます。

(1) 交付単価

	取組名	単価（円/10a）
全国共通取組	カバークロープの作付 (うち、ひえを使用する場合)	8,000 7,000
	堆肥の施用	4,400
	有機農業 (うち、そば等雑穀・飼料作物)	8,000 3,000
	福島県 地域特認取組	
福島県 地域特認取組	リビングマルチ (小麦、大麦、イタリアンライグラス以外) (小麦、大麦、イタリアンライグラス)	8,000 5,000
	草生栽培	5,000
	冬期湛水管理	
	有機質肥料施用、畦補強等実施	8,000
	有機質肥料施用、畦補強等未実施	7,000
	有機質肥料未施用、畦補強等実施	5,000
	有機質肥料未施用、畦補強等未実施	4,000
	総合的病害虫管理(IPM)と組み合わせた 畦畔除草及び秋耕の実施	4,000
総合的病害虫管理(IPM)と組み合わせた 交信攪乱剤による害虫防除	8,000	

3 平成30年度実施状況

市町村名	取組件数 (件)	取組 農業者数 (人)	取組面積 ※ (a)	交付金 (国+県+市長村) (円)
郡山市	3	5	1,958	1,190,200
須賀川市	8	31	9,009	5,549,980
鏡石町	—	—	—	—
天栄村	1	65	14,293	6,767,480
石川町	2	29	3,036	1,357,080
玉川村	—	—	—	—
平田村	2	16	1,293	592,320
浅川町	—	—	—	—
古殿町	—	—	—	—
須賀川地域	13	141	27,631	14,266,860
田村市	1	4	443	247,000
三春町	2	10	424	33,920
小野町	—	—	—	—
田村地域	3	14	867	586,200
県中計	19	160	30,456	16,043,260

※複数取組の面積を含む

県全体	673	37,856	1,547,949
県中シェア(%)	2.8	0.4	2.0

※ラウンドのため、市町村計、農業普及部(所)と農林事務所計が一致しないことがある。

(13) 多面的機能支払交付金

1 事業の趣旨

農業の持続的発展と多面的機能の健全な発揮に不可欠な農地・農業用水等の資源については、過疎化・高齢化・混住化等の進行に伴う集落機能の低下により、適切な保安全管理が困難になっていることから、多面的機能の維持・発揮のための農業者等が行う共同活動や農村集落維持を目的とした地域資源の質的向上を図る多面的機能の増進に寄与する共同活動を支援する。

2 事業概要

(1) 農地維持支払交付金

市町村が認定した事業計画に基づく多面的機能を支える共同活動を行う活動組織に対し、市町村を通じて交付金を交付する。

農地維持支払交付金（10a当たりの交付額）

地目区分	農地維持支払 円
水田	3,000
畑	2,000
草地	250

(2) 資源向上支払交付金

市町村が認定した事業計画に基づく地域資源（農地、水、農道等）の質的向上を図る共同活動を行う活動組織に対し、市町村を通じて交付金を交付する。

資源向上支払交付金（10a当たりの交付額）

地目区分	資源向上支払 (共同活動) 円	資源向上支払 (長寿命化) 円
水田	2,400	4,400
畑	1,440	2,000
草地	240	400

※交付単価は、農地維持と資源向上(共同活動)及び資源向上(共同活動)を併せて取り組む場合は変更となります。また、農地・水・環境保全向上対策等以前から5年間以上継続している農用地は交付単価に0.75を乗じた額となります。

3 平成30年度実施状況

市町村名	組織数	対象面積 (ha)	交付金(円)			合計
			農地維持 支払	資源向上 支払 (共同活動)	資源向上 支払 (長寿命化)	
郡山市	115	6,175	175,808	95,157	3,113	274,078
須賀川市	44	4,141	111,893	52,405		164,298
田村市	44	798	23,155	3,369		26,524
鏡石町	8	1,171	32,735	9,783	22,966	65,484
天栄村	18	722	21,603	13,130	11,406	46,139
石川町	25	1,199	30,766	18,014		48,780
玉川村	11	667	17,060	9,251		26,311
平田村	18	724	21,732	13,039		34,771
浅川町	13	481	13,946	8,745	6,606	29,297
古殿町	44	264	7,801	0		7,801
三春町	28	869	21,492	16,341		37,833
小野町	15	519	13,253	9,708		22,961
県中計	383	17,730	491,244	248,942	44,091	784,277
県全体	1,416	63,513	1,798,540	954,059	306,177	3,058,776
県中シェア(%)	27.0	27.9	27.3	26.1	14.4	25.6

※端数処理の関係で合計と合わない場合がある。

※ラウンドのため、市町村計、農業普及部(所)と農林事務所計が一致しないことがある。

(14) 直播栽培の年次別実施状況

(単位：h a)

区分 市町村名	平成24年度					平成25年度					平成26年度				
	WCS以外		WCS		合計	WCS以外		WCS		合計	WCS以外		WCS		合計
	乾田直播	湛水直播	乾田直播	湛水直播		乾田直播	湛水直播	乾田直播	湛水直播		乾田直播	湛水直播	乾田直播	湛水直播	
郡山市	9.9	34.8		0.3	45.0	18.7	47.4		0.3	66.4	9.5	60.1		0.3	69.9
須賀川市		1.3			1.3		15.9			15.9					
鏡石町		0.5			0.5		1.6			1.6		3.9			3.9
天栄村		1.1		3.7	4.8				4.9	4.9					
石川町		4.3		8.1	12.4		1.9		27.3	29.2		40.9		6.5	47.4
玉川村		18.9			18.9		18.9			18.9		12.7			12.7
平田村		0.6		8.9	9.5				10.2	10.2				9.9	9.9
浅川町		9.3		0.4	9.7		7.6		0.6	8.2					
古殿町															
須賀川地域		36.0		21.1	57.1		45.9		43.0	88.9		57.5		16.4	73.9
田村市		1.6		4.8	6.4		1.1		10.8	11.9		1.1		10.9	12.0
三春町				5.9	5.9										
小野町									4.7	4.7		4.7			4.7
田村地域		1.6		10.7	12.3		1.1		15.5	16.6		5.8		10.9	16.7
県中計	9.9	72.4		32.1	114.4	18.7	94.4		58.8	171.9	9.5	123.4		27.6	160.5
県計	9.9	690.5		155.3	855.7	765.2	22.2	147.3		934.7	23.9	880.1		139.0	1,043.0

区分 市町村名	平成27年度					平成28年度					平成29年度				
	WCS以外		WCS		合計	WCS以外		WCS		合計	WCS以外		WCS		合計
	乾田直播	湛水直播	乾田直播	湛水直播		乾田直播	湛水直播	乾田直播	湛水直播		乾田直播	湛水直播	乾田直播	湛水直播	
郡山市		90.9		0.3	91.2	0.4	111.1		0.3	111.8		125.8		0.3	126.1
須賀川市		21.9			21.9		26.8			26.8		23.6			23.6
鏡石町		5.1			5.1		4.7			4.7		4.7			4.7
天栄村							1.1		7.2	8.3		1.1		7.2	8.3
石川町		51.5		5.8	57.3		50.2		0.2	50.4		42.7		6.1	48.8
玉川村		21.3			21.3		21.3			21.3		21.7			21.7
平田村		5.0		11.7	16.7		1.9		7.9	9.8				1.4	1.4
浅川町		7.8			7.8		5.0			5.0		5.0			5.0
古殿町												3.2		2.5	5.7
須賀川地域		112.6		17.5	130.1		111.0		15.3	126.3		102.0		17.2	119.2
田村市		1.0		10.6	11.6		1.9		13.4	15.3		1.0		25.1	26.1
三春町															
小野町				5.3	5.3				5.2	5.2					
田村地域		1.0		15.9	16.9		8.8		18.6	20.5		1.0		25.1	26.1
県中計		204.5		33.7	238.2	0.4	230.9		34.2	258.6		228.8		42.6	271.4
県計	38.5	1,296.0		1,334.5	2,669.0	39.0	1,566.3		1,605.3	3,210.6	53.6	1,847.7		170.7	2,072.0

区分 市町村名	平成30年度				
	WCS以外		WCS		合計
	乾田直播	湛水直播	乾田直播	湛水直播	
郡山市		96.9			96.9
須賀川市		22.0			22.0
鏡石町		3.1			3.1
天栄村		0.6		7.3	7.9
石川町		43.9		10.1	54.0
玉川村		20.0			20.0
平田村					
浅川町		3.3			3.3
古殿町		6.8			6.8
須賀川地域		99.5		17.5	117.0
田村市		7.5		30.8	38.3
三春町					
小野町					
田村地域		7.5		30.8	38.3
県中計		203.9		48.3	252.2
県計	84.9	1,686.4		167.5	1,938.8

※ラウンドのため、市町村計、農業普及部(所)と農林事務所計が一致しないことがある。

(15) 耕作放棄地面積の状況

区分 市町村名	①経営耕地面積 (a)				②耕作放棄地面積 (a)				耕作放棄地率(②/(①+②)×100) (%)			
	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年
郡山市	1,143,556	1,065,355	1,040,583	934,600	117,654	103,498	106,408	166,176	9.3	8.9	9.3	15.1
須賀川市	684,438	642,635	647,316	617,700	50,555	59,650	52,066	81,434	6.9	8.5	7.4	11.6
鏡石町	128,710	123,327	120,861	110,700	5,184	6,293	6,329	12,991	3.9	4.9	5.0	10.5
天栄村	123,245	116,328	117,839	109,400	9,670	10,348	8,495	16,992	7.3	8.2	6.7	13.4
石川町	176,522	152,391	143,965	123,600	33,347	40,082	42,146	63,101	15.9	20.8	22.6	33.8
玉川村	80,651	72,290	71,764	60,900	20,112	20,141	16,335	27,010	20.0	21.8	18.5	30.7
平田村	139,121	114,590	109,307	93,800	18,314	16,543	17,372	34,915	11.6	12.6	13.7	27.1
浅川町	81,366	75,815	77,238	67,200	11,821	12,765	10,249	14,771	12.7	14.4	11.7	18.0
古殿町	72,001	65,220	58,713	49,400	13,667	16,449	17,993	30,159	16.0	20.1	23.5	37.9
須賀川地域	1,486,054	1,362,596	1,347,003	1,232,700	162,670	182,271	170,985	281,373	9.9	11.8	11.3	18.6
田村市	426,339	400,844	400,844	292,700	90,561	97,439	105,619	200,504	17.5	19.6	20.9	40.7
三春町	96,245	95,844	95,844	73,900	41,459	46,111	42,590	69,181	30.1	32.5	30.8	48.4
小野町	112,882	114,941	114,941	89,800	16,860	18,694	17,612	35,971	13.0	14.0	13.3	28.6
田村地域	635,466	611,629	611,629	456,400	148,880	162,244	165,821	305,656	19.0	21.0	21.3	40.1
県中計	3,265,076	3,039,580	2,999,215	2,623,700	429,204	448,013	443,214	753,205	11.6	12.8	12.9	22.3
県計	13,377,904	12,392,758	12,048,655	10,027,900	1,565,086	1,615,383	1,569,594	2,522,605	10.5	11.5	11.5	20.1
県中シェア (%)	24.4	24.5	24.9	26.2	27.4	27.7	28.2	29.9	—	—	—	—

※2015農林業センサスによる

※耕作放棄地：過去1年間に作付けされず今後作付けする意思のない土地

※経営耕地面積：農家が経営している耕地で、土地台帳上の地目や面積に関係ない実際の地目別の面積

※耕作放棄地率＝耕作放棄地面積(総農家)／(耕作放棄地面積(総農家)＋経営耕地面積)×100

(16) ほ場整備の年次別実施状況

(単位：h a)

区分 市町村名	耕地面積 (H29) (A)		ほ場整備面積											
	水田	畑	平成18年度まで		平成19年度		平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度	
			水田	畑	水田	畑	水田	畑	水田	畑	水田	畑	水田	畑
郡山市	10,000	2,420	6,460.8	1,729.0	18.8	0.4	2.4	0.8						
須賀川市	5,880	1,360	3,520.3	856.0	17.8	0.5	7.3	1.3	7.8	1.0	6.2	0.5		
鏡石町	1,080	277	564.1	44.3					0.4		0.2	0.1		
天栄村	1,030	183	843.0	135.0										
石川町	1,310	848	481.4	402.0										
玉川村	593	338	295.0	216.0										
平田村	855	651	241.0	33.0	5.1	0.4	8.9	0.9	11.0	1.1				
浅川町	721	187	554.6	76.7										
古殿町	516	348	166.0	48.0										
須賀川地域	11,985	4,192	6,665.4	1,811.0	22.9	0.9	16.2	2.2	19.2	2.1	6.4	0.6		
田村市	2,940	2,850	1,371.4	828.0	7.9	0.3	7.2	1.5	12.0	2.1	11.6	1.3	3.2	
三春町	647	552	365.1	869.2										
小野町	870	611	427.2	154.1										
田村地域	4,457	4,013	2,163.7	1,851.3	7.9	0.3	7.2	1.5	12.0	2.1	11.6	1.3	3.2	
県中計	26,442	10,625	15,289.9	5,391.3	49.6	1.6	25.8	4.5	31.2	4.2	18.0	1.9	3.2	
県全体	99,700	42,000	72,261.0	16,672.6	212.0	4.6	200.4	9.7	188.8	9.0	96.1	5.3	88.9	5.2

区分 市町村名	ほ場整備面積													
	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成29年度まで	
	水田	畑	水田	畑	水田	畑								
郡山市									18.4	0.1	37.6	0.3	6,538.0	1,730.6
須賀川市									3.9		25.1	0.8	3,588.4	860.1
鏡石町													564.7	44.4
天栄村													843.0	135.0
石川町													481.4	402.0
玉川村													295.0	216.0
平田村													266.0	35.4
浅川町													554.6	76.7
古殿町													166.0	48.0
須賀川農業普及所計									3.9		25.1	0.8	6,759.1	1,817.6
田村市													1,413.3	833.2
三春町													365.1	869.2
小野町													427.2	154.1
田村農業普及所計													2,205.6	1,856.5
県中計									22.3	0.1	62.7	1.1	15,502.7	5,404.7
県全体	0.4				367.0		300.5		592.7		651.5		74,959.3	16,706.4

区分 市町村名	ほ場整備面積				平成30年度までの整備率 (%) (B/A)	
	平成30年度		平成30年度まで (B)		水田	畑
	水田	畑	水田	畑		
郡山市			6,538.0	1,730.6	65.4%	71.5%
須賀川市	12.5	0.7	3,600.9	860.8	61.2%	63.3%
鏡石町			564.7	44.4	52.3%	16.0%
天栄村			843.0	135.0	81.8%	73.8%
石川町			481.4	402.0	36.7%	47.4%
玉川村			295.0	216.0	49.7%	63.9%
平田村			266.0	35.4	31.1%	5.4%
浅川町			554.6	76.7	76.9%	41.0%
古殿町			166.0	48.0	32.2%	13.8%
田村市			1,413.3	833.2	11.8%	19.9%
三春町			365.1	869.2	12.4%	30.5%
小野町			427.2	154.1	66.0%	27.9%
県中計	12.5	0.7	15,515.2	5,405.4	58.7%	50.9%
県全体	478.0		75,437.3	16,706.4	75.7%	39.8%

■ ふくしま農林水産業新生プラン上の指標 (ほ場整備率：水田) (単位：h a)

整備対象面積 (農振農用地)	平成30年度までの整備面積	平成30年度までの整備率 (%)
24,387	15,515.2	63.6

※整備対象面積は「平成21年度福島県の農地管理」による。

(注) 1 耕地面積は、農林水産統計年報(平成29、30年度)による。
 2 整備済面積は、新制度(昭和38年度ほ場整備事業が創設されてから実施されたもの)により、標準区画(30a)で整備した実績を集計したもの。
 3 森林総合研究所事業(平成16年度～平成20年度実施分)を加えている。

(17) 農業集落排水処理施設普及状況

(単位：人、%)

区分 市町村名	住民基本台帳人口 (H30.3月末) ①	汚水処理人口 普及率 (H30.3月末)	内	
			農集排供用可能人口 (整備人口 /H30.3月末) ②	農集排普及率 (H30.3月末) ②/①
郡山市	324,423	89.3%	12,504	3.9
須賀川市	76,767	80.9%	12,203	15.9
鏡石町	12,691	93.5%	998	7.9
天栄村	5,714	97.0%	4,045	70.8
石川町	15,571	60.9%	0	0.0
玉川村	6,802	74.8%	2,887	42.4
平田村	6,219	65.2%	2,024	32.5
浅川町	6,529	69.3%	89	1.4
古殿町	5,371	74.4%	1,625	30.3
田村市	37,460	66.8%	293	0.8
三春町	17,301	63.3%	2,551	14.7
小野町	10,376	51.4%	0	0.0
県中計	525,224	—	39,219	7.5
県全体	1,843,923	—	131,224	7.1

市町村別汚水処理人口普及率の 県平均値 (%)	82.6
----------------------------	------

※福島県土木部下水道課及び農林水産部農村環境整備課調べ

(18) 森林環境基金・交付金事業の取組状況

1 目 的

水源のかん養、県土の保全等県民福祉の向上に資する森林の有する公益的機能の重要性にかんがみ、森林環境の保全及び森林をすべての県民で守り育てる意識を醸成する。

2 平成30年度実績

(面積：ha 事業費・交付金：千円)

区分 市町村名	森林環境基金森林整備事業							森林環境交付金事業				
	整備目標面積(a)	28年度整備実績(b)	29年度整備実績(c)	30年度整備実績(d)	30年度末累計(e)	進捗率(e)/(a)	30年度事業費	基本枠		重点枠		計
								事業内容	交付金額	事業内容	交付金額	
郡山市	263	42.0	47.9	33.4	123	46.9	10,020	①市民等を対象とした森林整備体験学習等の開催 ②森林整備実施予定箇所の調査 ③小中学校で森林環境学習の実施 ④本数調整伐等	8,600	②地元の木材を使用した教卓を導入した。 ②市役所内にパンフレットラックを導入した。 ②図書館に木製書架を導入した。	1,393	9,993
須賀川市	103	0.0	1.7	0.0	2	1.7		③小学校で森林環境学習の実施 ①市民等を対象としたトレッキング等	3,190			3,190
鏡石町	9	0.0	0.0	0.0	0	0.0		①小学生を対象とした森林体験学習の実施 ①町民等を対象とした自然観察等 ④桜の剪定	1,204			1,204
天栄村	92	6.8	7.9	0.0	15	16.0		③小中学校で森林環境学習の実施 ④危険木伐採	3,087			3,087
石川町	4	12.3	1.3	0.0	14	339.8		③小中学校で森林環境学習の実施 ④森林整備及びもみじの植栽	1,574	①机イスを学校に導入した。	1,458	3,032
玉川村	16	0.0	0.0	0.0	0	0.0		①村民等を対象としたトレッキング。 ③小中学校で森林環境学習の実施 ④下刈り	1,857			1,857
平田村	259	6.6	0.0	25.8	32	12.5	6,630	③小中学校で森林環境学習の実施 ④危険木伐採・路網整備等	2,514			2,514
浅川町	57	0.0	4.9	0.0	5	8.6		③小学校で森林環境学習を実施	1,830	②机イスを小学校に導入した。	1,598	3,428
古殿町	387	42.8	43.0	20.4	106	27.4	4,894	①古殿スギのPR活動等を実施 ②森林認証の維持審査、COC認証の勉強会を実施 ③小中学校で森林環境学習の実施 ④下刈り	2,902	②公園の木製防護柵の材料を購入した。 ②公園に木製ベンチを導入した。	1,269	4,171
田村市	818	35.1	26.7	15.8	78	9.5	4,569	①市民等を対象とした木工教室等の開催 ③小中学校で森林環境学習の実施 ④危険木伐採、植栽	4,792			4,792
三春町	16	0.0	0.9	0.6	2	9.7	160	③小中学校で森林環境学習の実施 ④間伐、階段整備	1,746			1,746
小野町	446	35.3	9.3	5.5	50	11.3	1,512	①町民等を対象とした森林環境学習の実施 ③小中学校で森林環境学習の実施 ④危険木伐採	2,577			2,577
県中計	2,470	1,209.9	143.8	101.5	1,455	58.9	27,785	県 中 計	35,873		5,719	41,592
県 計	9,000		1,518			0.0		県 計	74,555		193,552	268,107
県中シェア	27.4		9.5					県中シェア	48.1		3.0	15.5

注1：整備目標面積は平成28年度から平成32年度までの5年間の目標

注2：平成22年度事業費は、事前調査と森林整備の合計額である。なお、市町村毎にラウンドしているため「県中計」に一致しない。

注3：整備実績は、市町村ごとにラウンドしている。

注4：森林環境交付金事業の事業内容の番号について

<基本枠>

- ① 県民参画の推進
- ② 森林の適正管理の推進
- ③ 森林環境学習の推進
- ④ 森林整備の推進

<重点枠>

- ① 森林整備の推進
- ② 県産間伐材の利活用推進
- ③ 木質バイオマスの利活用推進
- ④ その他

(19) ふくしま森林再生事業取組状況

1 目的

原子力発電所の事故により、森林所有者等による自主的な森林整備等が停滞している森林について、森林の有する多面的機能を維持しながら放射性物質の低減を図るため、森林施業や路網整備と森林施業で発生する枝葉の除去等を一体的に実施し、森林の再生を図る

2 制度の概要

(1) 対象地域

汚染状況重点調査地域市町村（管内全市町村）、林業公社、県（県営林部分）

(2) 補助率

森林整備等：市町村（国54%、県18%、補助残分は震災復興特別交付税措置）
林業公社（国54%、県36%）

放射性物質対策等：国100%

3 H30実績（見込み）及びH31計画

区分	予算	補助先名	計画作成 ha	森林整備 ha	路網整備 m	H29執行額（円）		H30への繰越 （補助金）	備考
						事業費	補助額		
H29 完了 実績	H29 繰越	郡山市	21	15	6,000	56,698,223	44,974,000	—	完了
		須賀川市	36	9	849	70,596,360	67,377,008	—	完了
		田村市	150	100	8,000	264,057,445	211,440,560	—	年度内完了予定
		鏡石町	5	0	0	17,667,720	17,667,720	—	完了
		天栄村	80	46	13,544	323,560,509	288,287,276	—	年度内完了予定
		石川町	16	12	3,749	70,000,000	60,200,000	—	年度内完了予定
		平田村	19	11	2,892	85,498,200	76,175,812	—	完了
		浅川町	9	0	0	14,299,200	14,299,200	—	完了
		古殿町	65	10	2,783	79,530,400	75,653,088	—	年度内完了予定
		三春町	24	6	2,095	34,212,813	31,809,480	—	完了
		小野町	44	17	1,391	89,273,440	75,890,728	—	完了
		県営林		70	8,019	188,854,200	—	—	年度内完了予定
	小計（H29繰越）	467	296	49,322	1,294,248,510	963,774,872	—		
	H29	郡山市	0	65	2,503	146,469,480	123,383,960	—	
	合計（H29実績）	467	361	51,825	1,440,717,990	1,087,158,832	—		
H30 に 繰越	H29	須賀川市	30	28	6,620	138,704,950	115,863,684	76,967,164	
		田村市	0	54	11,932	107,670,284	78,754,604	70,402,604	
		鏡石町	0	5	830	36,720,000	31,409,856	22,000,256	
		天栄村	74	65	12,000	403,169,000	342,689,000	323,991,000	
		石川町	13	13	2,800	70,000,000	60,200,000	60,200,000	
		玉川村	22	19	2,776	137,083,908	105,335,920	55,018,580	
		平田村	22	0	0	28,000,000	28,000,000	20,160,000	
		浅川町	20	9	1,762	50,000,000	43,700,000	37,762,400	
		古殿町	50	41	10,470	204,045,000	171,690,160	141,682,712	
		三春町	47	18	4,000	106,338,960	91,394,352	66,498,472	
		小野町	0	12	1,113	45,810,950	37,659,604	37,659,604	
			小計（H29繰越）	278	264	54,303	1,327,543,052	1,106,697,180	912,342,792
H30 計 画	H30 要 望 額	郡山市	0	85	7,700	199,000,000	158,680,000	—	
		須賀川市	0	45	6,800	118,764,000	97,865,000	—	
		田村市	100	170	16,000	336,200,000	264,464,000	—	
		鏡石町	10	0	0	21,634,000	21,634,000	—	
		天栄村	35	44	5,550	187,321,000	158,965,000	—	
		石川町	14	14	3,500	80,000,000	68,800,000	—	
		玉川村	62	22	3,782	108,909,000	92,951,000	—	
		平田村	20	19	4,595	107,470,000	91,860,000	—	
		浅川町	40	20	2,000	73,500,000	64,820,000	—	
		古殿町	20	50	15,000	178,823,000	142,750,000	—	
		三春町	60	33	9,240	203,718,000	172,533,000	—	
		小野町	30	20	2,449	74,000,000	64,844,000	—	
		県営林	30	31	3,150	43,024,000	—	—	
			小計（H30計画）	421	553	79,766	1,732,363,000	1,400,166,000	—
	H29現年比	152%	168%	140%	118%	114%			
	H30事業量合計	699	817	134,069	3,059,906,052	2,506,863,180			

(20) 民有林林道の現況

区分 市町村名	民有林面積 (ha) (A)	林道の幅員別延長									
		～2.7m		2.8m～		3.0m～		3.6m～		4.0m～	
		路線数	延長(m)	路線数	延長(m)	路線数	延長(m)	路線数	延長(m)	路線数	延長(m)
郡山市	29,900	3	5,414.2			5	9,766.9	30	60,879.6	30	101,465.8
須賀川市	9,115					3	5,160.4	11	17,652.0	26	42,212.4
鏡石町	342							1	2,567.7	7	9,081.3
天栄村	4,727					1	2,548.0	9	8,096.0	8	15,601.0
石川町	5,724	1	1,000.0					1	599.0	1	1,600.0
玉川村	1,435							5	5,889.0	6	7,770.0
平田村	4,476					1	771.3	3	4,438.3	8	9,263.8
浅川町	1,534					3	2,146.0	3	1,326.9	7	6,409.1
古殿町	7,237			1	4,377.2	7	10,145.0	6	8,003.2	20	43,417.7
田村市	20,323	1	817.0	1	1,414.8	2	560.0	26	37,372.6	8	21,112.6
三春町	2,334					5	9,270.9	14	11,413.2	15	18,735.1
小野町	7,732							3	3,602.4	8	8,668.5
県中計	95,400	5	7,231.2	2	5,792.0	27	44,797.1	100	155,531.1	174	348,967.0
						2	560.0	26	23,238.4	59	104,256.4

区分 市町村名	民有林面積 (ha) (A)	林道の幅員別延長								密度 (B)/(A) (m/ha)
		5.0m～		6.0m～		7.0m～		計		
		路線数	延長(m)	路線数	延長(m)	路線数	延長(m)	路線数	延長(m)	
郡山市	29,964	5	24,166.4			1	1,698.5	74	203,391.4	6.79
須賀川市	9,175	1	12,945.8	2	269.7	1	504.0	26	67,346.3	2.25
鏡石町	344	1	11,450.2	1	129.7	1	504.0	44	78,744.3	8.58
天栄村	4,775	3	1,650.0	1	1,324.0			11	23,732.9	2.59
石川町	5,897	3	1,650.0	1	1,324.0			4	2,974.0	8.65
玉川村	1,458	1	3,341.8			1	4,376.2	4	2,974.0	8.65
平田村	4,484	1	2,745.0			1	4,376.2	21	33,963.0	7.11
浅川町	1,575	1	1,235.8					4	9,320.2	1.95
古殿町	7,316							13	15,894.8	2.70
田村市	20,416							4	3,974.6	2.73
三春町	2,340	3	2,298.1					1	352.3	0.24
小野町	7,656	3	2,298.1					15	16,771.5	3.74
県中計	95,400	3	2,298.1					13	10,034.1	2.24
								4	5,099.0	3.24
								1	2,953.0	1.87
		1	2,544.0			1	3,130.7	36	71,617.8	9.79
		1	2,544.0			1	3,130.7	12	27,347.3	3.74
		5	10,625.1	2	5,078.5			98	172,348.1	8.44
		5	10,625.1	2	5,078.5			36	45,851.9	2.25
								11	12,270.9	5.24
								2	1,758.0	0.75
		1	891.0			1	1,194.4	16	22,543.0	2.94
		1	891.0			1	1,194.4	6	4,209.0	0.55
		22	59,698.0	5	6,672.2	5	10,903.8	340	639,592.4	6.70
		20	50,388.2	4	6,532.2	5	10,903.8	116	195,879.0	2.05

※福島県民有林林道の現況（平成29年4月1日現在）

路線数及び延長の欄の上段は実路線数及びその延長で、下段はその内舗装してある路線数及びその延長

(21) 水産業の概要

1 内水面養殖業

コイ養殖

単位：t

		平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
コイ収穫量 (t)	全 国	3,256	3,131	3,015	2,932
	福島県	932	912	871	846
	県中地方	603	583	562	494
県中シェア(対全国、%)		18.5	18.6	18.6	16.8
県中シェア(対県、%)		64.7	63.9	64.5	58.4

※調査期間：毎年1月1日～12月31日。

※全国、全県は農林水産省、県中は福島県水産課調べ。

2 内水面漁業

県中地方の稚魚等放流実績

魚種	平成27年			平成28年			平成29年			平成30年		
	阿武隈川	大川	猪苗代湖	阿武隈川	大川	猪苗代湖	阿武隈川	大川	猪苗代湖	阿武隈川	大川	猪苗代湖
コイ (kg)	0	—	40	0	—	20	0	—	40	0	—	40
フナ (kg)	0	—	600	0	—	400	0	—	600	0	—	600
アユ (kg)	0	—	—	0	—	—	0	—	—	0	—	—
ウグイ (尾)	0	—	76,667	0	4,000	66,667	0	—	84,667	0	—	285
イワナ (尾)	0	—	11,000	0	5,778	7,000	0	5,889	7,000	0	—	7,000
ヤマメ (尾)	0	—	12,000	0	—	5,000	0	—	7,000	0	—	7,000
ワカサギ (万粒)	0	3,000	—	0	2,000	—	0	2,400	—	0	1,700	—
ウナギ (kg)	0	—	15	0	—	10	0	—	10	0	—	13

※調査期間：毎年1月1日～12月31日。

※福島県水産課調べ。

※関係漁協 阿武隈川：阿武隈川漁業協同組合

大川(羽鳥湖、天栄村湯本地区)：南会東部非出資漁業協同組合

猪苗代湖(湖南地区)：猪苗代・秋元非出資漁業協同組合

※「0」：放流の予定はあったが、実績が0となったもの。「—」：放流予定がなかったもの。

Ⅲ 県中農林事務所の組織体制と管内関係機関

1 県中農林事務所の組織体制及び業務内容

(1) 組織体制

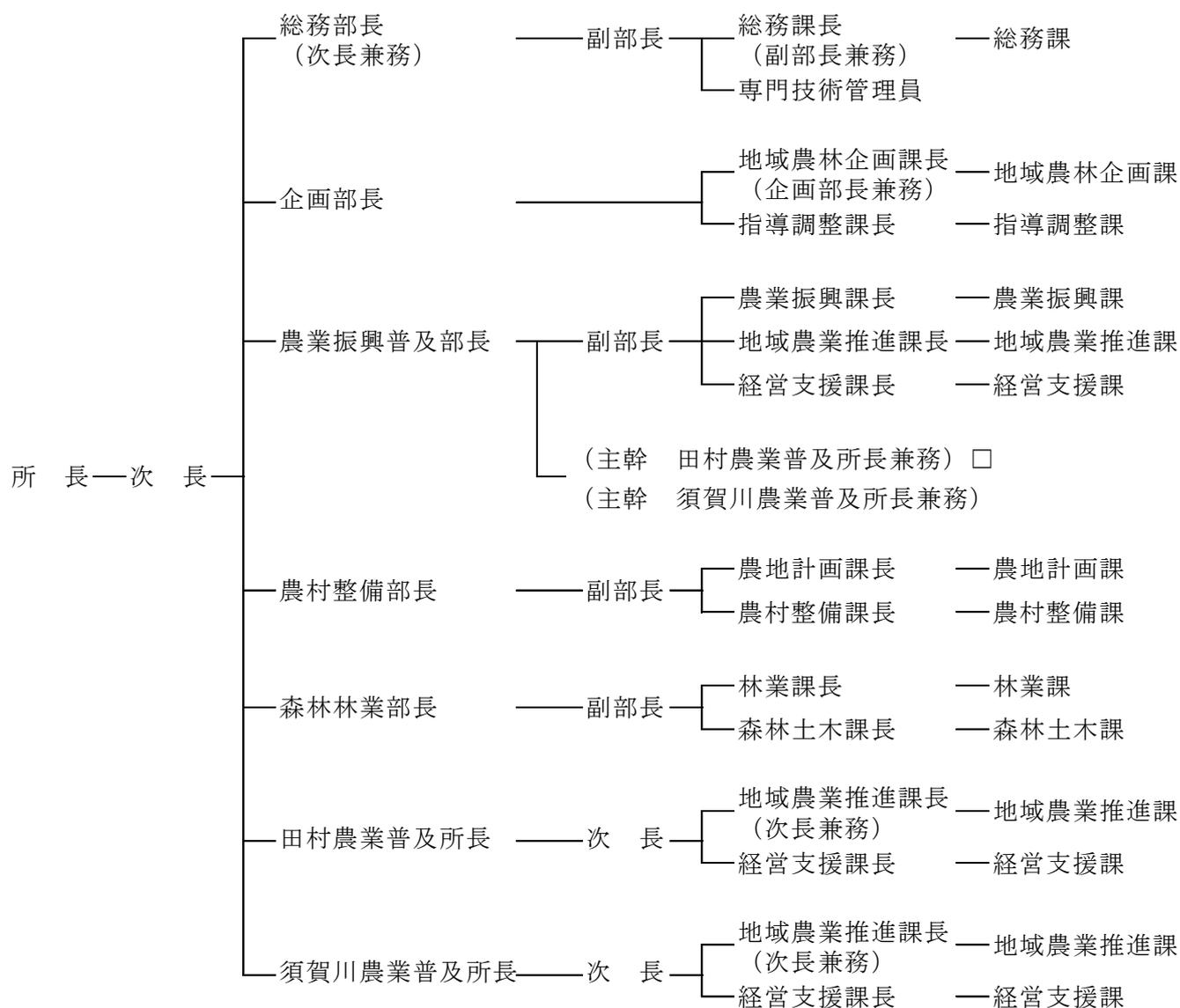
平成10年4月、県中地方における農林業・農山村振興の拠点として、農政事務所、農地事務所及び林業事務所を「県中農林事務所」として統合し、地域農業改良普及センターが農林事務所の内部組織に位置づけられました。

平成13年4月、郡山、田村、須賀川地域農業改良普及センターを農業普及部及び農業普及所とする行政組織の改正が行われました。

平成20年4月、農業振興部及び農業普及部の統合、企画部を総務部及び企画部へ分離するなどの組織再編を行い、5部2所体制となりました。

平成22年4月、工事に係る技術的指導や入札関連業務を担当するため、専門技術管理員が総務部に配置されました。

平成24年4月、農村整備に関する公共事業部門の一体的かつ効率的な業務執行のため、農村整備部農業基盤整備課と農村環境整備課を統合し農村整備課となりました。



(2) 業務内容

部名・課等名	電話番号	主な分掌事務
総務部		
総務課	024-935-1508	経理・庶務等
専門技術管理員	024-935-1507	入札関連業務等
企画部		
地域農林企画課	024-935-1510	農林業振興の企画・調整、管内農林業の情報提供 地域産業6次化の推進・6次化相談窓口の開設 グリーン・ツーリズムの総合窓口、農家民宿の推進 地産地消・食育の推進、農林地除染の総合窓口 産業共進会褒賞等
指導調整課	024-935-1303	農業団体等の指導検査、農地転用許可、農振変更協議等 食品表示法に基づく食品表示、米トレーサビリティ法等
農業振興普及部		
農業振興課	024-935-1308	農業振興・奨励、中山間地域等直接支払 水田農業改革・生産調整の推進、農業経営基盤強化促進対策 農業用使用済みプラスチックの減量推進、農業制度資金等
地域農業推進課	024-935-1310	集落営農の推進、新規就農の支援、中山間地域農業の推進 制度資金活用支援等
経営支援課	024-935-1321	農業担い手の育成、地域特性を生かした作物の産地化 環境と共生する農業の推進、認証GAPの推進 農作物の放射性物質モニタリング等
農村整備部		
農地計画課	024-935-1333	土地改良事業の法手続、土地改良財産の管理及び処分 換地業務、調査業務、国土調査、用地取得 多面的機能支払交付金等
農村整備課	024-935-1342	かんがい排水、ほ場整備、農地等保全管理、農道整備 農業集落排水整備、農地及び農業用施設の災害復旧事業
森林林業部		
林業課	024-935-1362	林業振興、林業団体の強化育成、林業後継者育成、緑化の啓発 森林病虫害の防除、山火事防止、特用林産物の生産振興 認証GAPの推進、林産物の放射性物質モニタリング
森林土木課	024-935-1372	山地災害の防止と復旧、保安林等の保全、林地開発の調整 林道整備
田村農業普及所（田村市・田村郡）		
地域農業推進課	0247-62-3113	集落営農の推進、営農再開地域の支援、農業担い手の育成 制度資金活用支援等
経営支援課		地域特性を生かした作物の産地化、農業担い手の育成 環境と共生する農業の支援、認証GAPの推進 鳥獣被害対策の支援、農作物の放射性物質モニタリング等
須賀川農業普及所（須賀川市・岩瀬郡・石川郡）		
地域農業推進課	0248-75-2180	集落営農の推進、農業担い手の育成、新規就農の支援等
経営支援課	0248-75-2181	地域特性を生かした作物の産地化、認証GAPの推進 中山間地域農業の推進、環境と共生する農業の支援 制度資金活用支援等、農作物の放射性物質モニタリング等

2 管内関係機関・団体の一覧

(1) 企画部

名 称	郵便番号	住 所	TEL・FAX	代 表 者		組 合 員 数 ・ 会 員 数
				職 名	氏 名	
J A 全 農 福 島 郡 山 営 農 事 業 所	963-0725	郡山市田村町金屋字川久保23	TEL 024-983-0520 FAX 024-956-0405	所 長	野 本 五 郎	
J A 全 農 福 島 郡 山 営 農 事 業 所 園 芸 セ ン タ ー	963-0531	郡山市日和田町高倉字杉下1-1	TEL 024-968-1231 FAX 024-968-2780	セ ン タ ー 長	鈴 木 雄 士	
福 島 さ く ら 農 業 協 同 組 合	963-8502	郡山市朝日二丁目14-7	TEL 024-922-3733 FAX 024-923-8904	代 表 理 事 組 合 長	結 城 政 美	38,974
夢 み な み 農 業 協 同 組 合	962-0813	須賀川市大町85	TEL 0248-72-5211 FAX 0248-72-7801	代 表 理 事 組 合 長	橋 本 正 和	19,002
田 村 畜 産 農 業 協 同 組 合	963-4602	田村市常葉町常葉字上野2	TEL 0247-77-2005 FAX 0247-77-4030	代 表 理 事 組 合 長	石 井 俊 一	549
福 島 県 酪 農 業 協 同 組 合 県 中 支 所	963-0201	郡山市大槻町字古屋敷41-1	TEL 024-951-3361 FAX 024-951-1516	支 所 長	原 田 久 男	38 (田村事業所を 除く)
福 島 県 酪 農 業 協 同 組 合 県 中 支 所 田 村 事 業 所	963-3401	田村郡小野町大字小野新町 字宿ノ後124	TEL 0247-61-5226 FAX 0247-61-5227	田 村 事 業 所 担 当	郡 司 小 百 合	64
福 島 県 農 業 共 済 組 合 郡 山 田 村 支 所	963-8025	郡山市桑野二丁目1-15	TEL 024-933-3307 FAX 024-933-0143	支 所 長	岩 谷 樹 雄	8,718
福 島 県 農 業 共 済 組 合 い わ せ 石 川 支 所	963-6311	石川郡玉川村大字岩法寺字湯神前11-1	TEL 0247-37-1003 FAX 0247-37-1181	支 所 長	関 根 浩	9,807
県 中 地 方 ・ 地 域 産 業 6 次 化 推 進 会 議	963-8540	郡山市麓山一丁目1番1号 (事務局 企画部)	TEL 024-935-1510 FAX 024-935-1314	会 長	県 中 農 林 事 務 所 長	29
ふくしまから はじめよう。 「食」と「ふるさと」新生 運動」県中地方推進本部	963-8540	郡山市麓山一丁目1番1号 (事務局 企画部)	TEL 024-935-1510 FAX 024-935-1314	本 部 長	県 中 農 林 事 務 所 長	55
県 中 地 方 グ リ ー ン ・ ツ ー リ ズ ム ネ ッ ト ワ ー ク	963-8540	郡山市麓山一丁目1番1号 (事務局 企画部)	TEL 024-935-1510 FAX 024-935-1314	-	-	208
郡 山 市 農 業 委 員 会	963-8601	郡山市朝日一丁目23-7	TEL 024-924-2481 FAX 024-924-3090	会 長	新 田 幾 男	
須 賀 川 市 農 業 委 員 会	962-0053	須賀川市八幡町135	TEL 0248-88-9165 FAX 0248-72-9845	会 長	和 田 博 文	
田 村 市 農 業 委 員 会	963-4312	田村市船引町船引字畑添76-2	TEL 0247-81-1216 FAX 0247-81-1210	会 長	村 上 好 徳	
鏡 石 町 農 業 委 員 会	969-0492	岩瀬郡鏡石町字不時沼345	TEL 0248-62-2146 FAX 0248-62-6553	会 長	菊 地 榮 助	
天 栄 村 農 業 委 員 会	962-0592	岩瀬郡天栄村大字下松本字原畑78	TEL 0248-82-2102 FAX 0248-82-2718	会 長	内 山 正 勝	
石 川 町 農 業 委 員 会	963-7851	石川郡石川町字長久保185-4	TEL 0247-26-9129 FAX 0247-26-4148	会 長	佐 藤 晴 夫	
玉 川 村 農 業 委 員 会	963-6392	石川郡玉川村大字小高字中畷9	TEL 0247-57-4628 FAX 0247-57-3952	会 長	阿 部 金 四 郎	
平 田 村 農 業 委 員 会	963-8292	石川郡平田村大字永田字切田116	TEL 0247-55-3115 FAX 0247-55-3513	会 長	村 上 信 一	
浅 川 町 農 業 委 員 会	963-6204	石川郡浅川町大字浅川 字背戸谷地112-15	TEL 0247-36-2323 FAX 0247-36-2895	会 長	生 田 目 源 一	
古 殿 町 農 業 委 員 会	963-8304	石川郡古殿町大字松川字新桑原31	TEL 0247-53-4614 FAX 0247-53-3154	会 長	水 野 和 徳	
三 春 町 農 業 委 員 会	963-7796	田村郡三春町字大町1-2	TEL 0247-62-2112 FAX 0247-62-3300	会 長	大 内 明 喜	
小 野 町 農 業 委 員 会	963-3492	田村郡小野町大字小野新町 字館廻92	TEL 0247-72-6935 FAX 0247-72-3121	会 長	長 谷 川 栄 伸	

注：組合員数・会員数は、総会時の員数（以下同様）。

(2) 農業振興普及部

名 称	郵便番号	住 所	TEL・FAX	代 表 者		組員数 ・会員数
				職名	氏 名	
南東北たばこ耕作組合 (協 議 会)	963-4312	田村市船引町船引字上江172-21	TEL 0247-82-0707 FAX 0247-82-1234	組 合 長	佐 藤 正 則	1,276 (県中790)
県中地方農業経営基盤 強化促進対策会議	963-8540	郡山市麓山一丁目1番1号 (事務局 農業振興普及部)	TEL 024-935-1307 FAX 024-935-1514	会 長	県中農林事務所長	38
県中地方園芸特産 推 進 本 部	963-8540	郡山市麓山一丁目1番1号 (事務局 農業振興普及部)	TEL 024-935-1307 FAX 024-935-1514	本 部 長	農業振興普及部長	25
県中地方持続性の高い農業生 産方式導入計画認定委員会	963-8540	郡山市麓山一丁目1番1号 (事務局 農業振興普及部)	TEL 024-935-1307 FAX 024-935-1514	委 員 長	農業振興普及部長	21
県 中 地 方 水 田 農 業 改 革 推 進 会 議	963-8540	郡山市麓山一丁目1番1号 (事務局 農業振興普及部)	TEL 024-935-1307 FAX 024-935-1514	会 長	県中農林事務所長	62
石 川 地 方 農 業 振 興 協 議 会	963-7826	石川郡石川町字当町109-8	TEL 0247-26-3101 FAX 0247-26-3703	会 長	高 原 喜 國	10
岩 瀬 地 方 農 業 振 興 推 進 協 議 会	962-0402	須賀川市仁井田字大谷地379-4	TEL 0248-72-5238 FAX 0248-72-5222	会 長	嶋 原 力	10
県中地方遊休農地 活用推進会議	963-8540	郡山市麓山一丁目1番1号 (事務局 農業振興普及部)	TEL 024-935-1307 FAX 024-935-1514	会 長	県中農林事務所長	37
県中地方畜産振興 推 進 会 議	963-8540	郡山市麓山一丁目1番1号 (事務局 農業振興普及部)	TEL 024-935-1307 FAX 024-935-1514	会 長	農業振興普及部長	28
県中地方環境と共生する 農 業 推 進 会 議	963-8540	郡山市麓山一丁目1番1号 (事務局 農業振興普及部)	TEL 024-935-1310 FAX 024-935-7030	会 長	農業振興普及部長	30
県 中 地 方 農 産 物 輸 出 促 進 連 絡 会 議	963-8540	郡山市麓山一丁目1番1号 (事務局 農業振興普及部)	TEL 024-935-1307 FAX 024-935-7030	会 長	農業振興普及部長	25
福島県高病原性鳥インフル エンザ県中地方対策本部	963-8540	郡山市麓山一丁目1番1号 (事務局 農業振興普及部)	TEL 024-935-1307 FAX 024-935-7030	本 部 長	県中農林事務所長	26
福 島 県 口 蹄 疫 県 中 地 方 連 絡 会 議	963-8540	郡山市麓山一丁目1番1号 (事務局 農業振興普及部)	TEL 024-935-1307 FAX 024-935-7030	本 部 長	農業振興普及部長	27
郡山市指導農業士会	963-8540	郡山市麓山一丁目1番1号 (連絡先 農業振興普及部)	TEL 024-935-1321 FAX 024-935-7030	会 長	佐 久 間 俊 一	14
郡山市青年農業士会	963-8540	郡山市麓山一丁目1番1号 (連絡先 農業振興普及部)	TEL 024-935-1321 FAX 024-935-7030	会 長	池 上 慎 一 郎	12
福島県国際農友会 郡 山 支 部	963-8540	郡山市麓山一丁目1番1号 (連絡先 農業振興普及部)	TEL 024-935-1321 FAX 024-935-7030	支 部 長	安 田 良 裕	71
郡 山 生 活 研 究 グ ル ー プ 連 絡 協 議 会	963-8540	郡山市麓山一丁目1番1号 (連絡先 農業振興普及部)	TEL 024-935-1321 FAX 024-935-7030	会 長	高 野 文 恵	17
郡山地域農業改良 普 及 推 進 懇 談 会	963-8540	郡山市麓山一丁目1番1号 (事務局 農業振興普及部)	TEL 024-935-1321 FAX 024-935-7030	座 長	農業振興普及部長	14

(3) 農 村 整 備 部

名 称	郵便番号	住 所	TEL・FAX	代 表 者		組合員数 ・会員数
				職名	氏 名	
福島県土地改良事業団体連 合会(水土里ネット福島)	960-8502	福島市南中央三丁目36番地	TEL 024-535-0371 FAX 024-535-1200	会 長	若 松 昭 雄	
西 田 町 土 地 改 良 区	963-0921	郡山市西田町鬼生田 字菅野沢253番地の1	TEL 024-971-3344	理 事 長	石 井 昇	65
安 積 疏 水 土 地 改 良 区	963-8851	郡山市開成2丁目22番2号	TEL 024-922-4595 FAX 024-922-9949	理 事 長	本 田 陸 夫	8,575
熱 海 土 地 改 良 区	963-1303	郡山市熱海町玉川字横川65番地	TEL 024-984-2630 FAX 024-984-3108	理 事 長	齋 藤 裕	93
郡 山 市 多 田 野 土 地 改 良 区	963-0213	郡山市逢瀬町多田野字南原3番地	TEL 024-957-3268 FAX 024-957-3268	理 事 長	橋 本 幸 一	508
郡 山 市 東 部 土 地 改 良 区	963-1151	郡山市田村町金沢 字大六146番地81	TEL 024-965-1551 FAX 024-955-5182	理 事 長	馬 場 猪 吉	2,734
郡 山 市 河 内 土 地 改 良 区	963-0212	郡山市逢瀬町河内字籠原3番地 (有)みずほ郡山ライスセンター内)	TEL 024-967-0007 FAX 024-967-0011	理 事 長	遠 藤 喜 一	207
郡 山 市 喜 久 田 土 地 改 良 区	963-0542	郡山市喜久田町原3丁目108番地1	TEL 024-953-6815 FAX 024-953-6818	理 事 長	佐 藤 幸 次	107
須 賀 川 市 土 地 改 良 区	962-0831	須賀川市八幡町135番地 (須賀川市役所内)	TEL 0248-88-9177 FAX 0248-88-9177	理 事 長	小 抜 勲	1,290
江 花 川 沿 岸 土 地 改 良 区	962-0292	須賀川市長沼字金町85番地 (須賀川市長沼市民サービスセンター内)	TEL 0248-67-2225 FAX 0248-67-2225	理 事 長	橋 本 明	797
岩 瀬 土 地 改 良 区	962-0392	須賀川市柱田字中地前22番地 (須賀川市岩瀬サービスセンター内)	TEL 0248-65-3662 FAX 0248-65-2190	理 事 長	相 楽 健 雄	916
広 戸 川 沿 岸 防 災 溜 池 土 地 改 良 区	962-0503	岩瀬郡天栄村大字下松本字原畑78番地 (天栄村役場内)	TEL 0248-82-2825 FAX 0248-82-2834	理 事 長	添 田 勝 幸	730
赤 羽 新 屋 敷 土 地 改 良 区	963-7825	石川郡石川町大字沢井 字大池下77番地の1	TEL 0247-26-8133 FAX 0247-26-8133	理 事 長	江 尻 滋	181
母 畑 地 区 土 地 改 良 区	963-7857	石川郡石川町字当町12番地の1	TEL 0247-26-3024 FAX 0247-26-8298	理 事 長	車 田 次 夫	2,836
浅 川 町 土 地 改 良 区	963-6204	石川郡浅川町大字浅川字背戸谷地112番地の15 (浅川町農政商工課内)	TEL 0247-36-1183 FAX 0247-36-2895	理 事 長	須 藤 一 夫	846
玉 川 村 土 地 改 良 区	963-6392	石川郡玉川村大字小高字中畷9番地 (玉川村産業振興課内)	TEL 0247-57-4627 FAX 0247-57-3952	理 事 長	藤 田 守	1,017
三 春 町 土 地 改 良 区	963-7796	田村郡三春町字大町1番地の2 (三春町産業課内)	TEL 0247-62-2112 FAX 0247-62-3300	理 事 長	鈴 木 義 孝	525
小 野 町 土 地 改 良 区	963-3401	田村郡小野町大字小野新町字箱廻92番地 (小野町産業振興課内)	TEL 0247-72-6935 FAX 0247-71-3121	理 事 長	大 和 田 昭	751
大 越 町 土 地 改 良 区	963-4192	田村市大越町上大越字水神宮62番地1 (田村市大越行政局産業建設課内)	TEL 0247-79-2193 FAX 0247-79-2953	理 事 長	橋 本 紀 一	764
石 川 地 域 農 道 農 地 整 備 事 業 促 進 協 議 会	963-7854	石川郡石川町字高田234番地の1 (石川地方町村会内)	TEL 0247-26-2648 FAX 0247-26-4742	会 長	塩 田 金 次 郎	4
新 安 積 地 区 かんがい排水 事 業 促 進 協 議 会	963-8851	郡山市開成二丁目22番2号 (安積疏水土地改良区内)	TEL 024-922-4595 FAX 024-922-9949	会 長	本 田 陸 夫	16
国 営 郡 山 東 部 地 区 営 農 推 進 協 議 会	963-1151	郡山市田村町金沢字大六146-81 (郡山東部土地改良区内)	TEL 024-965-1551 FAX 024-955-5182	会 長 職務代理者	副 会 長 馬 場 猪 吉	26
国 営 母 畑 地 区 営 農 推 進 連 絡 会	963-7857	石川郡石川町字当町12番1号 (母畑土地改良区内)	TEL 0247-26-3024 FAX 0247-26-8298	—	—	15機関
新 安 積 地 区 営 農 支 援 連 絡 会	963-8851	郡山市開成二丁目22番2号 (安積疏水土地改良区内)	TEL 024-922-4595 FAX 024-922-9949	—	—	12機関
国 営 限 戸 川 地 区 営 農 推 進 連 絡 会	969-0272	西白河郡矢吹町曙町377 (矢吹原土地改良区内)	TEL 0248-42-3121 FAX 0248-42-3122	—	—	18機関
県 中 農 林 事 務 所 管 内 工 事 安 全 協 議 会	963-8852	郡山市台新1丁目33-15 (福島県土地改良建設協会県中支部)	TEL 024-955-2677 FAX 024-955-6345	会 長	県 中 農 林 事 務 所 長	45

(4) 森林林業部

名 称	郵便番号	住 所	TEL・FAX	代 表 者		組合員数 ・会員数
				職名	氏 名	
郡山市森林組合	963-0213	郡山市逢瀬町多田野字本郷228	TEL 024-957-2850 FAX 024-957-2851	代表理事 組 合 長	村 田 久 男	2,647
ふくしま中央森林組合	963-3401	田村郡小野町大字小野新町 字知宗59-2	TEL 0247-71-0755 FAX 0247-71-0756	代表理事 組 合 長	水 野 郁 夫	8,550
田村森林組合	963-4603	田村市常葉町西向字堂ヶ入62-7	TEL 0247-67-1101 FAX 0247-67-1171	代表理事 組 合 長	矢 吹 盛 一	4,308
田村森林組合 木材加工センター	963-4603	田村市常葉町西向字堂ヶ入62-3	TEL 0247-67-1017 FAX 0247-67-1018	代表理事 組 合 長	矢 吹 盛 一	4,308
郡山地区木材製材 協 同 組 合	963-1151	郡山市田村町金沢字大六149-10	TEL 024-965-1270 FAX 024-965-1277	代表理事	小野塚 昇 一	17
郡山地区木材木工 工業団地協同組合	963-0112	郡山市安積町成田字三渡24	TEL 024-945-2480 FAX 024-945-5598	代表理事	小 松 昭 人	8
福島県木造技術開発 協 同 組 合	963-0724	郡山市田村町上行合字西川原35	TEL 024-956-6610 FAX 024-943-3878	代表理事	松 岡 泰 仁	6
県中地方林業協会	963-0112	郡山市安積町成田字西島坂1 (事務局 阿武隈川流域林業活性化センター)	TEL 024-973-6941 FAX 024-973-6942	会 長	小 野 町 長 大和田 昭	55
阿武隈川流域林業 活性化センター	963-0112	郡山市安積町成田字西島坂1	TEL 024-973-6941 FAX 024-973-6942	理 事 長	天 栄 村 長 添 田 勝 幸	35
(財)ふくしまフォレスト・ エコ・ライフ財団	969-1302	安達郡大玉村大字玉井字長久保68番地 (ふくしま県民の森フォレストパークあだたら)	TEL 0243-48-2040 FAX 0243-68-2060	理 事 長	菊 池 壯 藏	
阿武隈川流域林業 活性化協議会	963-0112	郡山市安積町成田字西島坂1	TEL 024-973-6941 FAX 024-973-6942	会 長	県北森林組合代表理事組合長 井 上 賢 治	28
(財)福島県都市公園・緑化協会 逢瀬公園緑化センター管理事務所	963-0212	郡山市逢瀬町河内長倉1-3	TEL 024-957-2221 FAX 024-957-2219	理 事 長	秋 元 正 國	

(5) 田村農業普及所

名 称	郵便番号	住 所	TEL・FAX	代 表 者		組合員数 ・会員数
				職名	氏 名	
田 村 地 方 農 業 士 協 議 会	963-7704	田村郡三春町大字熊耳字下荒井176-5 (連絡先 田村農業普及所)	TEL 0247-62-3113 FAX 0247-62-6069	会 長	渡 辺 義 輝	14
田 村 「 農 」 ネ ッ ト ワ ー ク	963-7704	田村郡三春町大字熊耳字下荒井176-5 (連絡先 田村農業普及所)	TEL 0247-62-3113 FAX 0247-62-6069	代 表	渡 辺 好 幸	34
田 村 地 方 農 業 普 及 推 進 懇 談 会	963-7704	田村郡三春町大字熊耳字下荒井176-5 (事務局 田村農業普及所)	TEL 0247-62-3113 FAX 0247-62-6069	座 長	田村農業普及所長	20

(6) 須賀川農業普及所

名 称	郵便番号	住 所	TEL・FAX	代 表 者		組合員数 ・会員数
				職 名	氏 名	
須 賀 川 地 域 指 導 農 業 士 会	962-0823	須賀川市花岡34 (事務局 須賀川農業普及所)	TEL 0248-75-2180	会 長	大 野 一 宏	14
須 賀 川 地 域 青 年 農 業 士 会	962-0823	須賀川市花岡34 (事務局 須賀川農業普及所)	TEL 0248-75-2180	会 長	横 田 雄 二	10
福 島 県 国 際 農 友 会 須 賀 川 支 部	962-0823	須賀川市花岡34 (連絡先 須賀川農業普及所)	TEL 0248-75-2180	支 部 長	圓 谷 正 幸	54
須 賀 川 4 H ク ラ ブ	962-0823	須賀川市花岡34 (事務局 須賀川農業普及所)	TEL 0248-75-2180	会 長	安 藤 雅 巳	14
須 賀 川 地 域 農 業 改 良 普 及 推 進 懇 談 会	962-0823	須賀川市花岡34 (事務局 須賀川農業普及所)	TEL 0248-75-2180	座 長	須賀川農業普及所長	21

(7) 市 町 村

市町村名	担 当 課			所 在 地
	農 政	農村整備事業	林 業	
郡山市	農業政策課 園芸畜産振興課 TEL(024) (924-2201) (924-3761) (961-1140) FAX(024) (938-3150) (938-3150) (961-1124)	総合地方卸売市場管理事務所 農地課 下水道保全課 (924-3921) (924-2791) (938-3150) (938-2920)	林業振興課 (924-2231) (938-3150)	〒963-8601 郡山市朝日一丁目23-7 nougyouseisaku@city.koriyama.fukushima.jp
須賀川市	農政課(農産振興係) TEL(0248) (88-9138) FAX(0248) (72-9845)	(農地林務係) (88-9138) (72-9845)	(農地林務係) (88-9138) (72-9845)	〒962-8601 須賀川市八幡町135 nousei@city.sukagawa.lg.jp
田村市	農林課 TEL(0247) (81-2511) FAX(0247) (81-1210)	農林課 (81-2511) (81-1210)	農林課 (81-2511) (81-1210)	〒963-4393 田村市船引町畑添76-2 nourin@city.tamura.lg.jp
滝根行政局	産業建設課 TEL(0247) (78-1204) FAX(0247) (78-3837)	産業建設課 (78-1204) (78-3837)	産業建設課 (78-1204) (78-3837)	〒963-3692 滝根町神俣字閑場118 ta-sanken@city.tamura.lg.jp
大越行政局	産業建設課 TEL(0247) (79-2193) FAX(0247) (79-2115)	産業建設課 (79-2193) (79-2115)	産業建設課 (79-2193) (79-2115)	〒963-4192 大越町上大越字水神宮62-1 og-sanken@city.tamura.lg.jp
都路行政局	産業建設課 TEL(0247) (75-3550) FAX(0247) (75-2844)	産業建設課 (75-3550) (75-2844)	産業建設課 (75-3550) (75-2844)	〒963-4701 都路町古道字本町33-4 mi-sanken@city.tamura.lg.jp
常葉行政局	産業建設課 TEL(0247) (77-2371) FAX(0247) (77-2115)	産業建設課 (77-2371) (77-2115)	産業建設課 (77-2371) (77-2115)	〒963-4692 常葉町常葉字町裏1 to-sanken@city.tamura.lg.jp
鏡石町	産業課 TEL(0248) (62-2118) FAX(0248) (62-6553)	産業課 都市建設課 (62-2118) (62-2116) (62-6553) (62-2144)	産業課 (62-2118) (62-6553)	〒969-0492 岩瀬郡鏡石町不時沼345 sangyo@town.kagamiishi.lg.jp
天栄村	産業課 TEL(0248) (82-2117) FAX(0248) (82-2718)	産業課 建設課 (82-2117) (82-2113) (82-2718) (82-2477)	産業課 建設課 (82-2117) (82-2113) (82-2718) (82-2477)	〒962-0592 岩瀬郡天栄村大字下松本字原畑78 sangyouka@vill.tenei.lg.jp
石川町	産業振興課 TEL(0247) (26-9126) FAX(0247) (26-0360)	産業振興課 (26-9126) (26-0360)	産業振興課 (26-9126) (26-0360)	〒963-7893 石川郡石川町字長久保185-4 sangyou@town.ishikawa.lg.jp
玉川村	産業振興課 TEL(0247) (57-4627) FAX(0247) (57-3952)	産業振興課 地域整備課 (57-4627) (57-4626) (57-3952) (57-3952)	産業振興課 地域整備課 (57-4627) (57-4626) (57-3952) (57-3952)	〒963-6392 石川郡玉川村大字小高字中畷9 sangyo@vill.tamakawa.fukushima.jp
平田村	産業課 TEL(0247) (55-3115) FAX(0247) (55-3513)	産業課 地域整備課 (55-3115) (55-3116) (55-3513) (55-3246)	産業課 地域整備課 (55-3115) (55-3116) (55-3513) (55-3246)	〒963-8292 石川郡平田村大字永田字切田116 sangyou@vill.hirata.fukushima.jp
浅川町	農政商工課 TEL(0247) (36-1183) FAX(0247) (36-2895)	農政商工課 (36-1183) (36-2895)	農政商工課 (36-1183) (36-2895)	〒963-6292 石川郡浅川町大字浅川字背戸谷地112-15 nouseisyokou@town.asakawa.fukushima.jp
古殿町	産業振興課 TEL(0247) (53-4613) FAX(0247) (53-3154)	地域整備課 (53-4612) (53-3154)	産業振興課 地域整備課 (53-4613) (53-4612) (53-3154) (53-3154)	〒963-8304 石川郡古殿町大字松川字新桑原31 nousei@town.furudono.fukushima.jp
三春町	産業課 TEL(0247) (62-2112) FAX(0247) (62-3300)	産業課 建設課 (62-2112) (62-2115) (62-3300) (62-3300)	産業課 建設課 (62-2112) (62-2115) (62-3300) (62-3300)	〒963-7796 田村郡三春町字大町1-2 norin@town.miharu.lg.jp
小野町	産業振興課 企画政策課 TEL(0247) (72-6935) (72-6939) FAX(0247) (72-3121) (71-3121)	産業振興課 地域整備課 (72-6935) (72-6937) (72-3121) (72-3121)	産業振興課 地域整備課 (72-6935) (72-6937) (72-3121) (72-3121)	〒963-3492 田村郡小野町大字小野新町字館廻92 sangyousinkouka@town.fukushima-ono.jp

※平成30年4月1日現在

(8) 国 機 関

名 称	郵便番号	住 所	TEL・FAX	代 表 者	
				職 名	氏 名
東北地方整備局 郡山国道事務所	963-0117	郡山市安積荒井一丁目5番地	TEL 024-946-0333 FAX 024-946-5448	所 長	赤 森 充
東北農政局 福島県拠点	960-8073	福島市南中央3-36	TEL 024-534-4141 FAX 024-533-8293	地方参事官	石 橋 大 彦
東北農政局福島県拠点 郡山庁舎	963-8013	郡山市神明町4-22	TEL 024-922-1614 FAX 024-934-5419	—	—
東北農政局阿武隈 土地改良調査管理事務所	960-0241	福島市笹谷字稲場38-7	TEL 024-555-3780 FAX 024-555-3783	所 長	家 元 隆 佳
東北農政局阿武隈土地改良調査 管理事務所羽鳥ダム管理所	962-0623	岩瀬郡天栄村大字羽鳥字水上5-1	TEL 0248-84-2211 FAX 0248-84-2702	所 長	杉 山 元 章
関東森林管理局 福島森林管理署	960-8055	福島市野田町7-10-4	TEL 024-535-0121 FAX 024-535-6514	署 長	香 月 英 伸
関東森林管理局福島森林 管理署郡山森林事務所	963-8061	郡山市富久山町福原字水尾沢18-8	TEL 024-923-4458 FAX 024-923-4478	地域統括森林官	古 川 登
関東森林管理局福島森林 管理署小野町森林事務所	963-3401	田村郡小野町大字小野新町字中通129-10	TEL 0247-72-2034 FAX 0247-72-2034	森林官	山 内 辰 美
関東森林管理局福島森林 管理署常葉森林事務所	963-4602	田村市常葉町常葉字本坊116-2	TEL 0247-77-2027 FAX 0247-77-2027	森林官	根 内 三 夫
関東森林管理局福島森林 管理署都路森林事務所	963-4701	田村市都路町古道字新町72-1	TEL 0247-75-2006 FAX 0247-75-2006	森林官	加 藤 貴 明
郡山労働基準監督署	963-8025	郡山市桑野二丁目1-18	TEL 024-922-1370 FAX 024-922-7723	署 長	塩 原 哲 朗
須賀川労働基準監督署	962-0834	須賀川市旭町204-1	TEL 0248-75-3519 FAX 0248-75-3520	署 長	渡 辺 満



ホウレンソウ収穫機の現地検討会



「おいしい ふくしま いただきます！」
キャンペーン県産農林水産物PR

県中農林事務所

【企画部 地域農林企画課】

県中地方の農林業と事業概要

検索



第69回全国植樹祭郡山PR会場
ヤマツツジ苗木配布



福島県優良建設工事表彰式のほ場整備部門
で表彰された前田沢地区のほ場